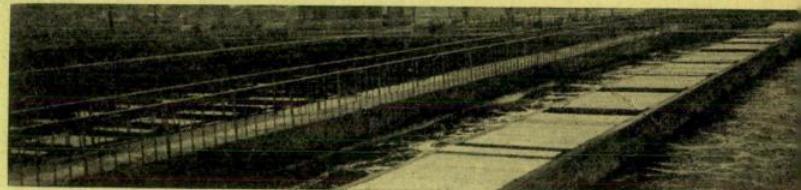


東京都 下水道事業年報

昭和 36 年度



東京都下水道局

昭和36年度

東京都下水道事業年報

東京都下水道局

東京下水道年報

この年報は、本都下水道事業が、まだ
水道局所管当時の実績にもとづくもの
で、本来は水道局において作成すべき
性質のものであるが、昭和37年4月より
下水道局が独立した事情にかんがみ、
下水道局において作成・刊行するもので
ある。

東京都下水道事業年報

目 次

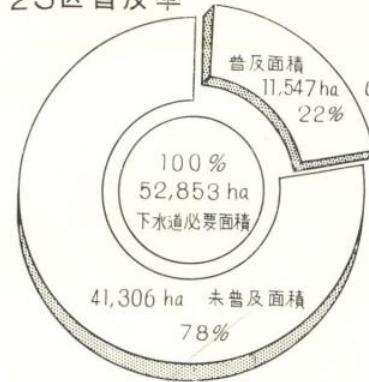
統 計 図

第1章 総 説	1
第1節 序 説	1
第2節 組 織	2
第3節 下水道事業の概要	5
第4節 昭和36年度事業概況	9
第2章 財 務	16
第1節 財 政	16
第2節 固 定 資 産	34
第3章 下 水 道 計 画	37
第1節 東京都市計画下水道	37
第2節 東京都市計画下水道事業	37
第3節 東京都市計画下水道並びに同下水道事業及びその執行年度割の概要	38
第4章 下 水 道 事 業 経 過	46
第1節 下水道事業認可関係	46
第2節 施行済の事業	49
第5章 営 業	52
第1節 営 業 一 般	52
第2節 下水道使用件数	52
第3節 下水道使用水量	56
第4節 下 水 道 料 金	58
第5節 排 水 設 備	60
第6章 設 備	63
第1節 管 渠	63
第2節 ポ ン プ 所	64
第3節 下 水 处 理 場	83
第4節 尿 尿 消 化 槽	97

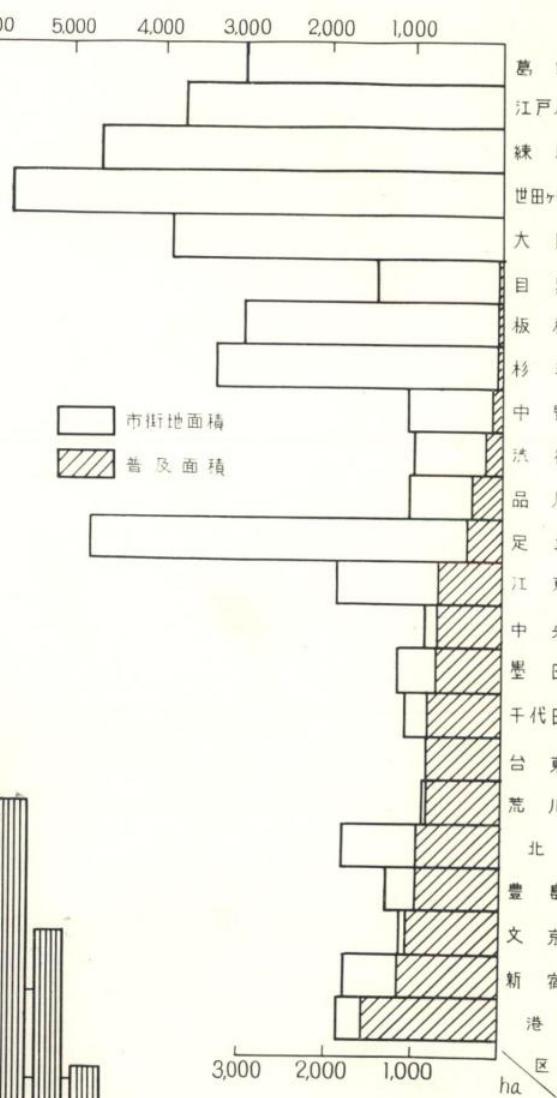
第7章 作業	99
第1節 管渠	99
第2節 ポンプ所	100
第3節 下水処理場	101
第4節 水質試験	103
第5節 降水量	106
第6節 汚泥処理	109
第7節 処理水の利用	110
第8節 尿尿消化槽	110
第8章 工事施行状況	111
第1節 拡張工事	111
第2節 改良工事	123
第3節 設備補修工事	126
第4節 その他の工事	131
昭和36年度主要事業年誌	135

統計表図表

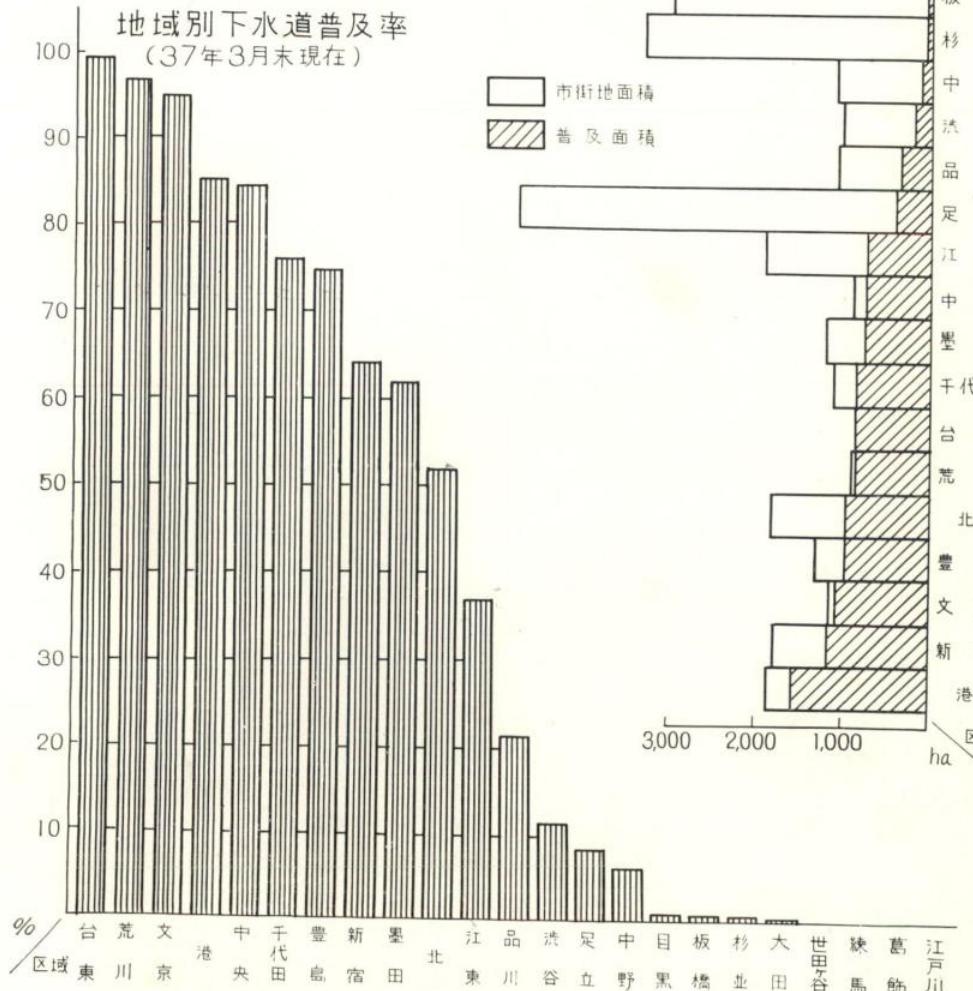
23区普及率



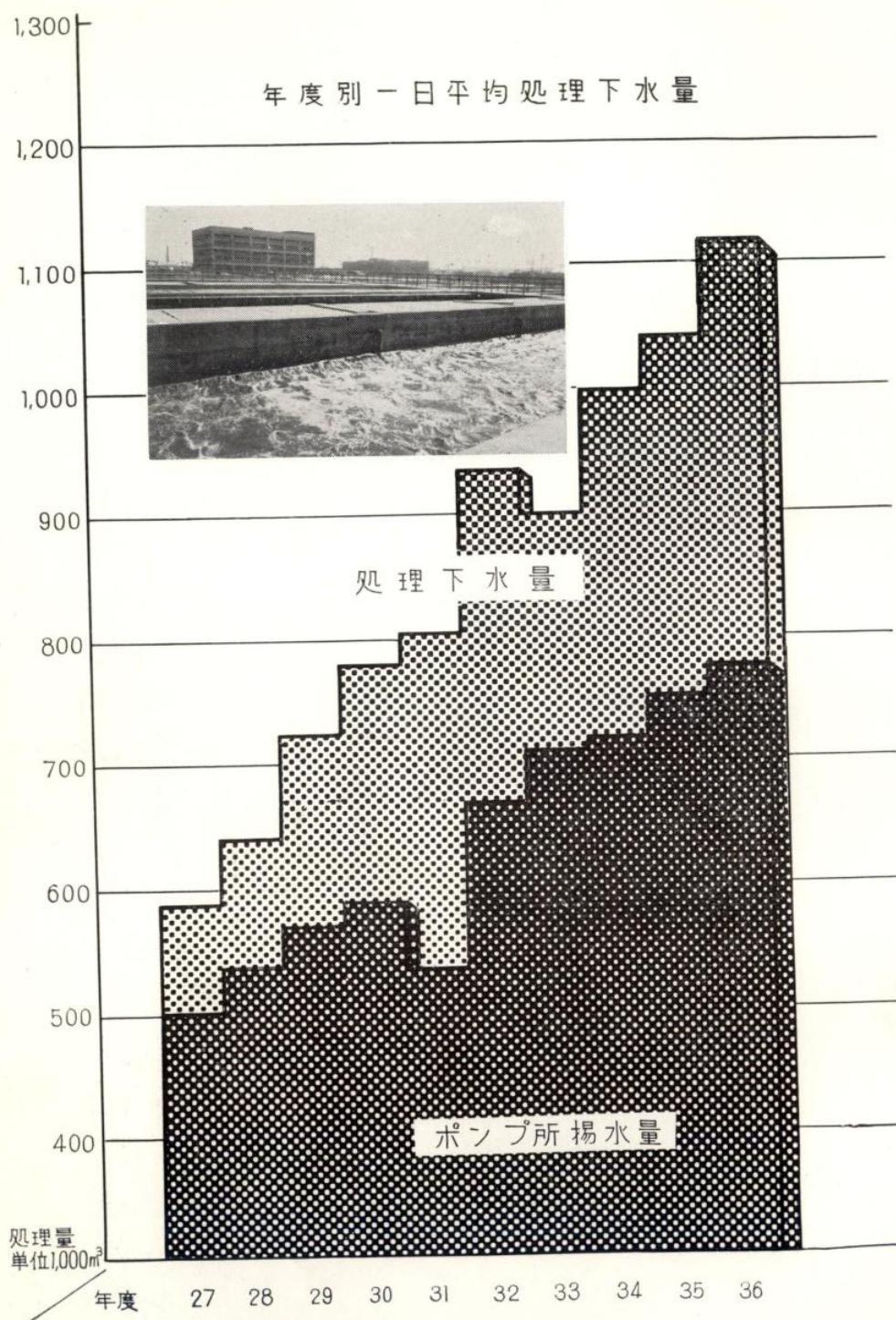
地域別下水道普及状況(37年3月末現在)



地域別下水道普及率 (37年3月末現在)

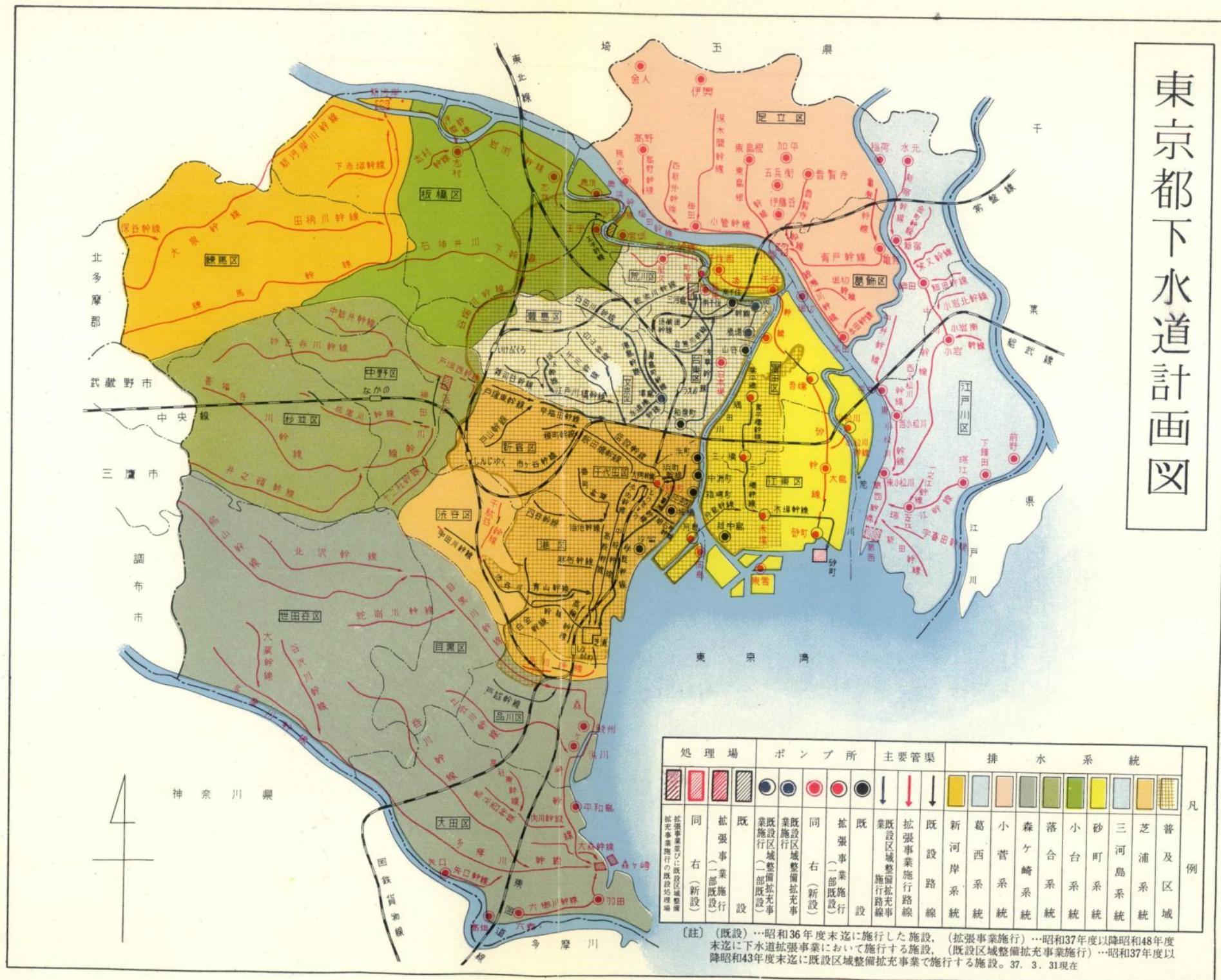


年度別一日平均処理下水量

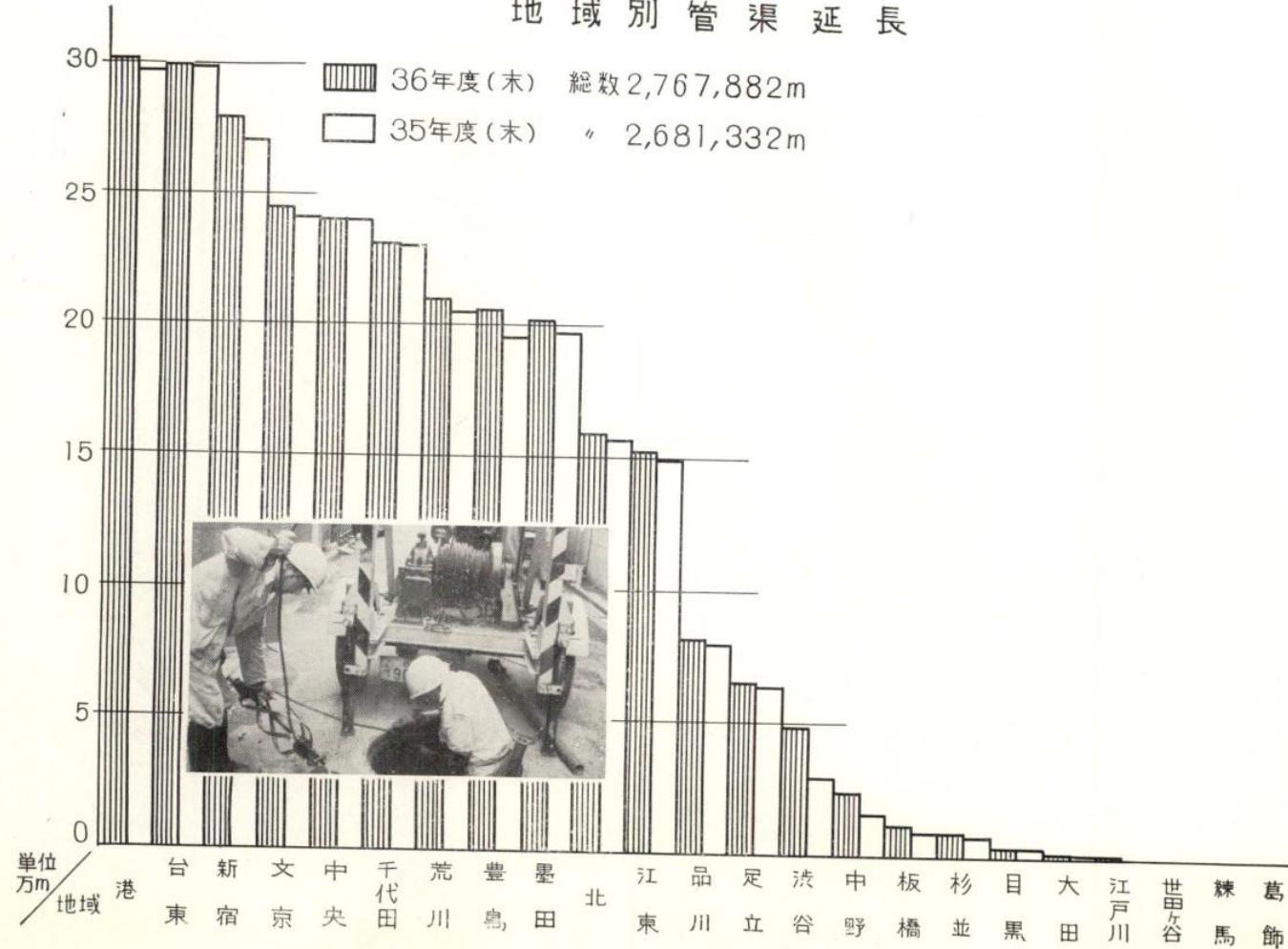


注。ポンプ所揚水量は雨水を含む。

東京都下水道計画図

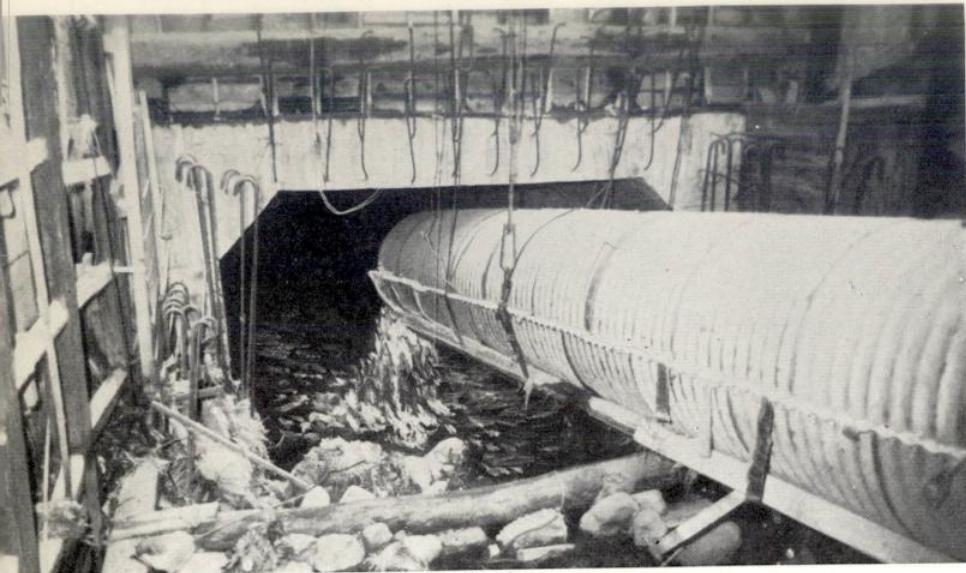


地域別管渠延長



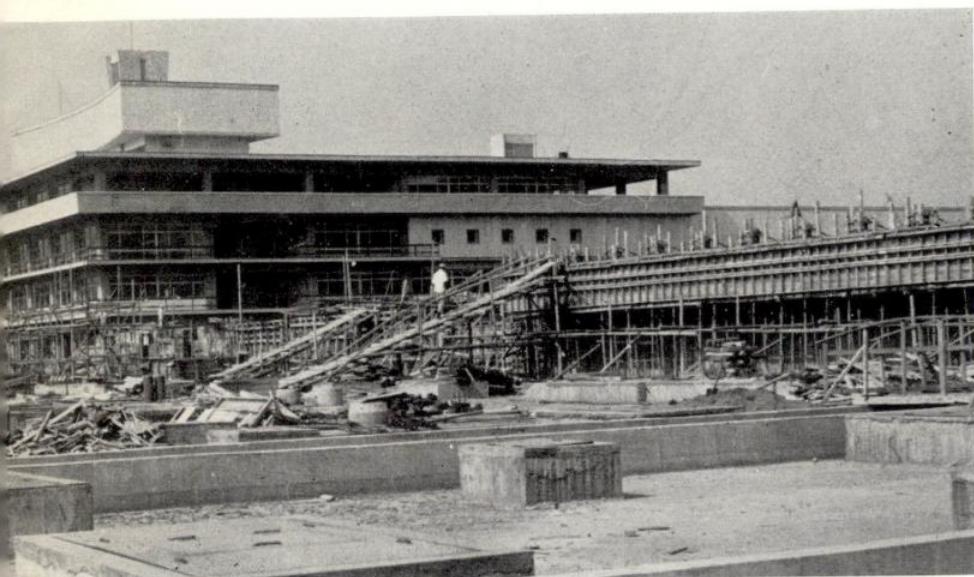
建設中の宇田川幹線

宇田川を下水幹線にする工事。完成後、上は道路として利用される。コルゲートパイプにより排水しながら工事が進められている。



落合処理場建設工事

三十八年度末には一部運転の予定である。正面のビルは処理場本館。



真空沪過機

九月十二日に竣工した芝浦汚泥処理工場。この脱水機で汚泥の科学的な処理がされる。



第1章 総 説

第1節 序 説

下水道は、近代的な都市生活にとって、上水道とともに欠くことのできないものである。すなわち、汚水・雨水を合理的に排除し、処理することにより、住民の保健衛生のためにいちじるしい貢献をするばかりでなく、低湿地の災害防除、土地の有効利用、道路の保護、都市美観の保持などのために、はかり知れないはたらきをするのが、下水道である。

しかるに、東京においては、これが普及ははなはだしく遅れており、面積にして23区のやつと22%，主として旧市内と隣接の一部区域のみをカバーする程度の現況である。

これは、東京の特殊な成長条件と、わが国の特殊な肥料事情から貯蔵式便所が普及していたことから、一般に上水道・道路・建築等の急施を要する都市施設に優先権が与えられ、目立たない下水道は、おおむね後まわしにされがちだつた事情に由る。現在の施設と能力のあらましはつぎのとおりである。

管渠延長	2,767,882m
処理場	3カ所（芝浦、三河島、砂町）
高級処理能力	昭和37年度早々、小台処理場が一部運転開始の予定
ポンプ所	1,125,400m ³ /日
排水面積	22カ所
	11,547ヘクタール
	$ \begin{aligned} & \text{（甲地区} & 9,392\text{ヘクタール} \\ & \text{乙地区} & 2,155\text{ヘクタール} \end{aligned} $

かかる状況のため、都内の大部分の地域では、どぶ・小河川を通じて汚水を直接川または港湾に流すため、隅田川のごときはBODが時には100 P.P.M以上という有様となり、環境衛生上も美観上も、憂慮にたえない現状である。また都民の大部分がまだ汲み取り便所にたよつており、低地帯の汚水・雨水の氾らんも稀な現象ではない。

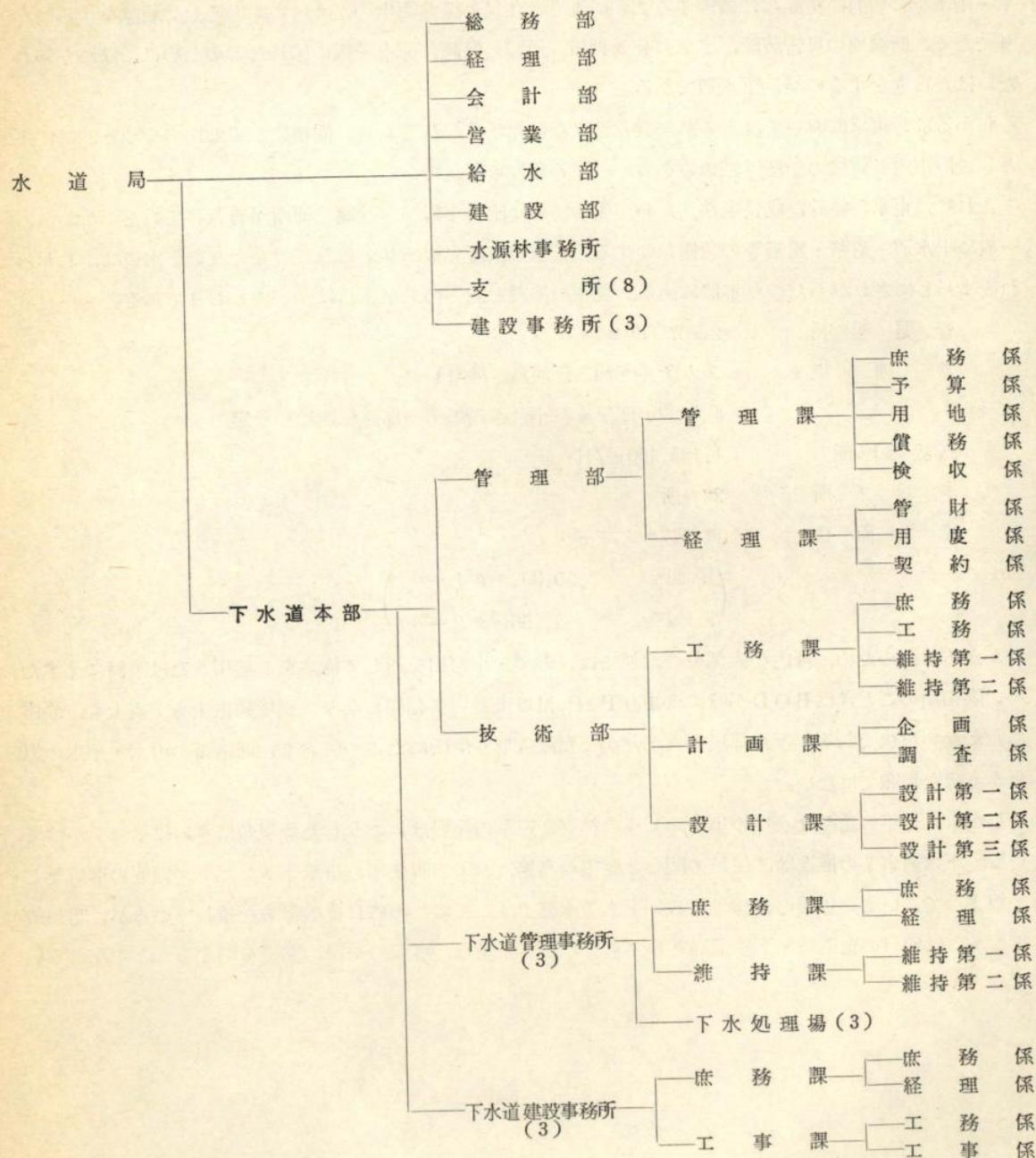
しかも、近年の急激な人口の集中、ビルの林立、産業の発展は、こうした悪現象にさらに拍車をかけている。下水道事業の推進は、住民の関心と要望の高揚、および明後年の東京オリンピック開催の事情などと相まって、いまや焦眉の要務である。下水道本部では、このために日夜の努力を重ねているが、昭和37年度からは独自の企業局・下水道局としてあたらしく発足し、事業の一段の進展を期することになつている。

第2節 組織

1. 機構

(1) 事務組織

(37年3月末現在)



(2) 事業所所在地と所管区域

部別	事業所名	所在地	所管区域
本局	総務部		
	経理部		
	会計部		
	営業部		
	給水部	千代田区丸の内3—5	
	建設部		
	下水道本部		
	管理部		
中部下水道管理事務所	技術部		
	千代田区大手町2—8		芝浦系統に属する千代田、中央、港、新宿、文京、渋谷、豊島各区の大部及び台東、品川、目黒、世田谷、北、荒川各区の一部
芝浦下水処理場	港区芝高浜町2		落合系統に属する中野、杉並各区の大部及び新宿、世田谷、渋谷、豊島各区の一部
	台東区浅草小島町1—33		森ヶ崎系統に属する品川、目黒、世田谷各区の大部及び渋谷、杉並各区の一部
北部下水道管理事務所	三河島下水処理場	荒川区荒川8—25	三河島系統に属する台東、荒川各区の大部及び千代田、文京、北各区の一部
	江東区深川豊住町3—2		小台系統に属する北、板橋各区の大部及び豊島、練馬、足立各区の一部
東部下水道管理事務所	砂町下水処理場	江東区南砂町9—2, 473	砂町系統に属する墨田、江東各区及び中央、足立、江戸川各区の一部
	千代田区大手町2—8		千代田、中央、港、文京、品川、目黒、大田、世田谷、渋谷各区
第一下水道建設事務所	第二下水道建設事務所	荒川区荒川8—32—41	台東、墨田、江東、荒川、足立、江戸川各区
	新宿区上落合1—196		新宿、中野、杉並、豊島、北、板橋各区
第三下水道建設事務所			

2. 職 制

(1) 事務分掌

局の部課			分掌事務
下水道本部	管理部	管理課	1. 文書の收受発送編集及び保存に関する事。 2. 公印の管掌に関する事。 3. 人事及び給与に関する事。 4. 予算に関する事。 5. 下水道施設の維持管理の事務に関する事。 6. 用地の管理に関する事。 7. 用地の買収に関する事。 8. 物品、材料及び請負工事等の検査に関する事。 9. 本部内他の部課に属しない事。
			1. 固定資産の管理に関する事。 2. 貯蔵品に関する事。 3. 労力、物件の調達に関する事。 4. 工事請負その他の契約に関する事。
			1. 下水道施設の維持管理の技術に関する事。 2. 工事の起工及び変更に関する事。 3. 工事の監理に関する事。 4. 檢査に関する事。 5. 部内他の課に属しない事。
			1. 下水道施設の建設及び改良計画に関する事。
			1. 下水道施設の建設及び改良工事の設計に関する事。
	下水道管理事務所		1. 下水道管渠及びポンプ所の維持管理に関する事。 2. 下水処理場の維持管理に関する事。
			1. 下水道の拡張及び改良工事の施工に関する事。 2. 特命工事の施行に関する事。

(2) 人員配置

(37年3月末現在)

職別 所属	事務 員	技術 員	主 事 補	技 師 補	巡 視	事 務 助 手	技 術 助 手	作 業 員	工 員	用 務 員	計	定数外		
												結 休	未 帰 還	休 職
管理部	40	6	16	16		6		1			85	1	1	1
技術部	8	72	7	62		4	3	2			158	1		
中部 下水道管理事務所	12	41	12	76	3	11	6	102	74		337	2		
北部 //	13	45	7	50	3	12	1	47	70	1	249	3		
東部 //	11	50	12	79	3	3	3	51	130		342	1		2
第一 下水道建設事務所	9	29	8	82		7	4	4			143			
第二 //	7	31	6	73		9	6	4			136			
第三 //	6	20	7	76		10	3	9			131	1		1
計	106	294	75	514	9	62	26	220	274	1	1,581	8	1	4

第3節 下水道事業の概要

1. 沿革

東京における下水道施設の起源は、明治5年の大火後、銀座煉瓦街に洋風の溝渠が設けられたのに始まる。しかし近代式下水道施設の緊急性が問題化したのは、明治10年市内にコレラが流行したことに端を発するもので、明治16年～19年にわたり神田の一部に分流式下水道が敷設されるにいたつた。ただし、これらの施設は部分的なものであり、また在来下水の修築、あるいはその一部を暗渠式に改良した程度の不完全なもので、その他の区域はいまだに江戸時代以来の在来溝渠、濠池により排水をしていた。

総合的計画に基づく下水道設計の調査は明治32年市区改正委員会により着手され、同41年3月にいたり現在の本都計画の基礎となつてゐる東京市下水道改良事業基本計画が内閣の認可をえて決定し、明治44年6月下水改良事務所を設置し、第1期工事として下谷、浅草方面より着工、大正12年にはほぼ完了した。なお、大正11年より三河島下水処理場も一部操業を開始するにいたつた。

その後第2期工事等を逐次実施し、昭和7年には市域拡張にともない郊外12カ町の事業を引き継ぎ、新旧両市域にわたり継続工事を実施中のところ、第二次大戦のために事業は事実上中止するにいたり、旧市域の約8割と隣接新市域の一部を施行したままとなつた。

戦後においては直ちに戦災復旧をはかるとともに、文化的、衛生的首都の復興再建の段階から、さらに首都整備の一環として下水道の促進がとりあげられ、事業量も次第に増加してきた。その経過は次のとおりである。

まず昭和23～26年度当時は、戦後の大混乱からようやく脱脚しようと努めた時期で、昭和23年度から下水道の拡張事業を開始したが、当初の23、24年度は下水道増補改良事業に含めて実施した。また、下水道促進に対する認識も次第に深まつてきたが、財政的な極度の制約から拡張財源である起債が制限されて、予算額の約半分程度の事業実績をみたにすぎなかつた。しかし、昭和25年7月には戦後の下水道の基本計画ともいべき「東京都市計画下水道」が決定し、拡張事業を進めて行く基礎が確立された。

昭和25年6月には首都建設法が制定され、翌26年12月には首都建設緊急5カ年計画がたてられ、下水道も重点施策として盛りこまれ、同じ内容が昭和28年10月には都市計画事業として決定されるにいたつた。他方、財政面をみると、昭和27年10月地方公営企業法の全面適用による下水道事業会計の設定、昭和30年4月以降は失業対策事業の導入による失業対策費の繰り入れ、昭和31年6月地方税法改正により都市計画税収入財源の繰り入れがなされた。

昭和31年4月には、首都圈整備法が首都建設法にかわつて制定され、都市施設の整備が強く推進されることになつたが、首都圈整備計画の一つとして当局では下水道拡張10カ年計画をたて、下水道築造認可をえて昭和32年度より着手した。政府においても昭和32年に建設省に下水道課を新設、翌33年下水道法が制定され、全国的に下水道築造が促進される傾向となつた。本都においても急増する事業量の執行体制を強化すべく、昭和34年12月1日下水道本部を設置して、事業の遂行に力を傾けている。さらに周辺区部の発展や、昭和39年の東京オリンピック開催決定とともに、本都の都市施設の整備、とりわけ下水道については今後ますます拡張事業の推進を要するが、これに対して、36年1月には昭和48年度完成を目指とする区部全域の下水道整備計画を府議で決定した。

こえて翌37年3月には、この100%普及計画を骨子とする45年度70%普及計画が、新らしい「都市計画」として、都市計画地方審議会で決定をみ、3月31日には、建設省告示第1,092号「東京都市計画下水道」、「東京都市計画下水道事業及びその執行年度割の変更」として告示された。

これによると、対象区域約37,314ヘクタール(100%計画、52,853ヘクタール)計画人口751万人(100%計画980万人)、管渠延長7,608km、ポンプ所42カ所、処理場6カ所となつていて。

前記100%普及計画の残る30%についても、ひきつづき認可を求めるとなつていて。

2. 施設概況

1. 旧15区内を芝浦、三河島、砂町の3系統に分割する。

築造認可年月	明治41年3月	排水開始年月	大正10年12月
排水方法	合流式、一部分流式	排水区域面積	6,992ヘクタール
予定排水人口	3,000,000人	予定1人1日最大汚水量	250立 最大降水量 50t
工種	起工	竣工	工費
創設(第1期下水道改良工事)	明治44年	大正12年	14,618,123円
第1回拡張(下水渠一部(速成工事))	大正5年	大正9年	2,497,989円
第2回拡張(第2期下水道(改良工事))	大正9年	大正12年	4,311,283円
第3回拡張(帝都復興下水道(改良工事))	大正12年	昭和6年	39,603,453円
第4回拡張(継続都市計画(速成工事))	大正14年	昭和9年	5,600,286円
第5回拡張(管渠移転工事)	大正14年	昭和5年	2,310,518円
第6回拡張(下水道応急(整理工事))	大正15年	昭和4年	948,402円
第7回拡張(失業救済工事(昭和2年度))	昭和2年	昭和3年	340,415円
第8回拡張(失業救済工事(昭和3年度))	昭和3年	昭和3年	428,477円
第9回拡張(失業救済工事(昭和4年度))	昭和4年	昭和5年	1,711,460円
第10回拡張(昭和5年(速成工事))	昭和5年	昭和7年	2,674,854円
第11回拡張(昭和5・6年度(第2改良速成工事))	昭和6年	昭和8年	7,561,665円
第12回拡張(失業救済工事(昭和6年度))	昭和6年	昭和7年	455,538円
第13回拡張(失業救済工事(昭和7年度))	昭和7年	昭和8年	461,219円
第14回拡張(継続都市計画(完成(第1期)工事))	昭和8年	昭和19年 *(昭和21年)	27,688,297円 *(38,500,000円)

(注) *昭和19年戦時に際し打切、() 内は全体計画を示す。以下各項目につき同じ。

2. 旧大崎町一円

築造認可年月	大正12年3月(第1期) 昭和5年9月及び同11年6月(第2期)	排水開始年月	大正14年
排水方法	合流式	排水区域面積	305ヘクタール
予定1人1日最大汚水量	167立	予定1時間最大降水量	50t

工種	起工	竣工	工費
創設(大崎町下水道)(事業第1期)	大正13年	昭和6年	746,263円
第1回拡張(大崎町下水道)(事業第2期)	昭和5年	昭和10年	793,764円

(注)昭和7年10月以降は市郡併合により東京市施行。以下各項目につき同じ

3. 旧高田町一円

築造認可年月	昭和6年5月	排水開始年月	昭和6年	工費
排水方法	合流式	排水区域面積	254ヘクタール	予定排水人口 78,000人
予定1人1日最大汚水量	167立		予定1時間最大降水量 50t	
工種	起工	竣工		

創設(高下水道事業)	昭和5年	昭和19年 (昭和21年)	1,638,867円 (2,118,000円)
------------	------	------------------	----------------------------

4. 旧西巣鴨町一円

築造認可年月	昭和7年3月	排水開始年月	昭和7年	工費
排水方法	合流式	排水区域面積	455ヘクタール	予定排水人口 166,000人
予定1人1日最大汚水量	167立		予定1時間最大降水量 50t	
工種	起工	竣工		

創設(西下水道事業)	昭和6年	昭和6年 (昭和21年)	1,595,529円 (2,910,000円)
------------	------	-----------------	----------------------------

5. 旧巣鴨町一円

築造認可年月	昭和5年3月	排水開始年月	昭和5年	工費
排水方法	合流式	排水区域面積	187ヘクタール	予定排水人口 70,000人
予定1人1日最大汚水量	167立		予定1時間最大降水量 50t	
工種	起工	竣工		

創設(巣下水道事業)	昭和4年	昭和10年	1,076,609円
------------	------	-------	------------

6. 旧王子町一円

築造認可年月	昭和4年3月	排水開始年月	昭和4年	工費
排水方法	合流式	排水区域面積	521ヘクタール	予定排水人口 90,000人
予定1人1日最大汚水量	167立		予定1時間最大降水量 50t	
工種	起工	竣工		

創設(王子下水道事業)	昭和3年	昭和19年 (昭和21年)	1,778,423円 (3,135,207円)
-------------	------	------------------	----------------------------

7. 旧尾久町一円

築造認可年月	昭和3年1月(第1期) 昭和7年7月(第2期)	排水開始年月	昭和3年	工費
排水方法	合流式	排水区域面積	228ヘクタール	予定排水人口 164,000人
予定1人1日最大汚水重	167立		予定1時間最大降水量 50t	
工種	起工	竣工		

創設(尾久町下水道)(事業第1期)	昭和2年	昭和7年	779,144円
第1回拡張(尾久町下水道)(事業第2期)	昭和7年	昭和15年	1,254,738円

8. 旧南千住町、日暮里町、三河島町一円

築造認可年月	昭和6年5月	排水開始年月	昭和7年
--------	--------	--------	------

排水方法	合流式	排水区域面積	543ヘクタール	予定排水人口	227,000人
予定1人1日最大汚水量	167立			予定1時間最大降水量	50吨
工種		起工		竣工	工費
創設 (南千住町, 日暮里町)		昭和 6年		昭和 19年 (昭和 21年)	4,336,851円 (5,380,000円)

9. 旧大久保町一円

築造認可年月	昭和3年10月 (第1期) 昭和7年9月 (第2期)	排水開始年月	昭和4年
排水方法	合流式	排水区域面積	200ヘクタール
予定1人1日最大汚水量	167立	予定1時間最大降水量	50吨
工種		起工	竣工
創設 (大久保町下水道事業第1期)		昭和 3年	昭和 6年
第1回拡張 (大久保町下水道事業第2期)		昭和 8年	昭和 19年

10. 旧滝野川町一円

築造認可年月	昭和8年12月	排水開始年月	昭和9年
排水方法	合流式	排水区域面積	451ヘクタール
予定1人1日最大汚水量	167立	予定1時間最大降水量	50吨
工種		起工	竣工
創設 (滝野川町下水道事業)		昭和 8年	昭和 19年 (昭和 21年)

11. 足立区, 江戸川区, 墨田区の各一部

築造認可年月	昭和11年3月	排水開始年月	昭和18年
排水方法	合流式	排水区域面積	2,193ヘクタール
予定1人1日最大汚水量	250立	予定1時間最大降水量	50吨
工種		起工	竣工
創設 (郊外下水道事業の一部)		昭和 11年	昭和 19年 (昭和 21年)

12. 旧南千住町一円

築造認可年月	大正11年2月 (第1期) 昭和2年12月 (第2期)	排水開始年月	大正11年
排水方法	合流式	排水区域面積	245ヘクタール
予定1人1日最大汚水量	167立	予定1時間最大降水量	50吨
工種		起工	竣工
創設 (千住町下水道事業第1期)		大正 10年	大正 15年
第1回拡張 (千住町下水道事業第2期)		昭和 2年	昭和 7年

13. 千代田区他20区

築造認可年月	昭和34年3月		
排水方法	合流式	排水区域面積	22,315ヘクタール
予定1人1日最大汚水量	320立	予定1時間最大降水量	50吨
工期	自昭和32年	至昭和41年	工費 36,600,000,000円

第4節 昭和36年度事業概況

1. 総括事項

昭和36年度における下水道事業運営の重点は、現下の下水道整備の緊急性に鑑み、昭和36年1月府議決定による23区全域を対象とした「下水道計画」を強力に推進することであった。

幸い各方面の協力により、企業債・一般会計繰入金等の拡張事業資金がほぼ予定どおり確保され、飛躍的に増大した事業量に対しては完全に消化すべく努力を行なつた結果、事業の全般的な進展をみることができた。

経営

下水管渠および処理施設の整備拡充による下水道使用区域の拡大に伴い、下水道使用件数は前年度に比して2万1千余件の増加となり、当年度末において52万余件となつた。

損益収支面でみると、三河島処理場の散気式曝気槽、芝浦処理場の汚泥処理工場が当年度より運転を開始するなど下水処理の高級化に伴う電力料等経費の増加傾向が著しいことと、既設区域内の人口増加および生活水準の向上に伴う汚水量の増大に対処する施設の整備拡充資金確保のため、やむをえず下水道料金の改正を行なつた、一方事務諸経費については極力節減をはかつたので、健全な事業経営を行なうことができた。

当年度の経営上における事業実施のおもなものは、次のとおりである。

年間汚水処理量	408,748,345立方メートル
年間ポンプ所揚水量	282,709,165立方メートル
管渠管理延長	2,767,882メートル
管渠掃除量	
作業延長	961,288メートル
汚泥量	26,922立方メートル

建設および改良

当年度の建設改良工事の概況のうち、改良工事では年々増大する汚水量に対処すべく管渠および処理場沈でん池等の諸施設を積極的に改良し処理能力の改善に努め、建設工事では新たな構想による「下水道計画」により当年度の年度割額は大幅に増額されたので、全力をあげてその執行に当つた。

まず、処理場建設工事では森ヶ崎、砂町両処理場用地の一部及び落合処理場用地の残部、合計31,376平方メートルの買収を行ない、工事面では小台処理場の第一期工事を完成、37年度から運転のはこびとなるほか、芝浦処理場の汚泥処理工場が計画処理量の50パーセントの処理を開始、砂町処理場の汚泥処理工場も竣工するなど前年度に引き継いで既設2処理場の拡張、新設2処理場の建設工事を実施した。

管渠およびポンプ所関係工事では管渠幹線5,123メートル、枝線71,575メートルを敷設し、小松川等8ポンプ所の建設拡張工事を行なつた。

このほか、既設区域内の施設の整備拡充工事として管渠幹線1,137メートルを敷設し、雨水吐の新設等を実施した。

経 理

(1) 損 益 収 支

収益総額は3,553,734,385円で、これに対応する費用は3,499,362,864円となり、差引当年度純利益54,371,521円となつてゐる。

(2) 資 本 的 収 支

収入総額は8,889,552,113円で、支出総額は10,277,404,937円となり、差引不足額は1,387,852,824円となつてゐるが、なお地方公営企業法第26条の規定による翌年度への繰越工事77,988,000円の資金を留保繰越したので資金不足額は1,465,840,824円となる。

この資金不足額については前年度からの繰越工事資金、繰越利益剰余金および損益勘定留保資金をもつて充当した。

2. 議会議決事項

(1) 予 算 関 係

議決年月日	種 別	議案番号	件 名
36. 6. 12	第2回定例会	第 321 号	昭和36年度東京都下水道事業会計追加予算
36. 10. 5	第3回定例会	第 350 号	昭和36年度東京都下水道事業会計追加予算
36. 12. 18	第4回定例会	第 490 号	昭和36年度東京都下水道事業会計追加予算
37. 3. 13	第1回定例会	第 184 号	昭和36年度東京都下水道事業会計更正予算
37. 3. 31	第1回定例会	第 78 号	昭和37年度東京都下水道事業会計予算

(2) 起 債 関 係

議決年月日	種 別	議案番号	件 名
36. 10. 5	第3回定例会	第 355 号	東京都下水道事業会計起債について
37. 3. 31	第1回定例会	第 87 号	東京都下水道事業会計起債について

(3) 決算認定

議決年月日	種別	件名
37. 3. 31	第1回定例会	昭和35年度東京都下水道事業会計の決算の認定について

(4) 条例関係

議決年月日	種別	議案番号	件名
36. 7. 12	第2回定例会	第 245 号	東京都下水道条例の一部を改正する条例
36. 7. 3	第2回定例会	第 326 号	東京都公営企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例
36. 10. 5	第3回定例会	第 371 号	臨時東京都水道料金及び下水道料金制度調査会条例
37. 3. 31	第1回定例会	第 98 号	東京都公営企業組織条例の一部を改正する条例
37. 3. 31	第1回定例会	第 100 号	東京都公営企業に従事する職員で労働組合を結成し、又はこれに加入することができない者の範囲に関する条例の一部を改正する条例
37. 3. 31	第1回定例会	第 101 号	東京都水道局職員及び下水道局職員共済組合に関する条例
37. 3. 31	第1回定例会	第 131 号	東京都工業用水道事業の基本計画を定めるための東京都水道事業及び下水道事業基本計画の一部改正について

(5) 工事請負契約

議決年月日	種別	議案番号	件名
36. 6. 12	第2回臨時会	第 223 号	芝浦下水処理場電気設備工事請負契約
36. 6. 12	第2回臨時会	第 224 号	小台下水処理場電気設備工事請負契約
36. 7. 11	第2回定例会	第 296 号	宇田川幹線その2工事請負契約
36. 7. 11	第2回定例会	第 297 号	宇田川幹線その3工事請負契約
36. 7. 11	第2回定例会	第 298 号	砂幹線その9工事請負契約
36. 7. 11	第2回定例会	第 299 号	王子幹線工事請負契約
36. 7. 11	第2回定例会	第 300 号	白山幹線雨水吐その2工事請負契約
36. 7. 11	第2回定例会	第 301 号	谷田川幹線放流渠その2工事請負契約
36. 7. 11	第2回定例会	第 302 号	予算外義務の負担について（第303号に関連して）

議決年月日	種別	議案番号	件名
36. 7. 11	第2回定例会	第 303 号	日本堤ポンプ所雨水ポンプ設備その1工事請負契約
36. 7. 11	第2回定例会	第 304 号	予算外義務の負担について（第305号に関連して）
36. 7. 11	第2回定例会	第 305 号	日本堤ポンプ所建設その2工事請負契約
36. 7. 11	第2回定例会	第 306 号	藍染ポンプ所ポンプ井放流渠及び上家下部工事請負契約
36. 7. 11	第2回定例会	第 307 号	芝浦下水処理場曝氣槽散気設備その2工事請負契約
36. 7. 11	第2回定例会	第 308 号	芝浦下水処理場第2沈殿池その他工事請負契約
36. 7. 11	第2回定例会	第 309 号	芝浦下水処理場高速曝氣沈殿槽工事請負契約
36. 7. 11	第2回定例会	第 310 号	砂町下水処理場電気設備工事請負契約
36. 7. 11	第2回定例会	第 311 号	砂町下水処理場曝氣槽散気設備その2工事請負契約
36. 7. 11	第2回定例会	第 312 号	小台下水処理場建設その5工事請負契約
36. 7. 11	第2回定例会	第 313 号	小台下水処理場消化槽、調整槽等機械設備及び管弁工事請負契約
36. 7. 11	第2回定例会	第 314 号	予算外義務の負担について（第315号に関連して）
36. 7. 11	第2回定例会	第 315 号	落合下水処理場建設その2工事請負契約
36. 7. 11	第2回定例会	第 316 号	砂町下水処理場送風機その2工事請負契約
36. 10. 5	第3回定例会	第 424 号	予算外義務の負担について（第425号に関連して）
36. 10. 5	第3回定例会	第 425 号	小台下水処理場建設その6工事請負契約
36. 10. 5	第3回定例会	第 426 号	予算外義務の負担について（千駄ヶ谷幹線その1工事）
36. 12. 18	第4回定例会	第 522 号	予算外義務の負担について（芝浦下水処理場拡張工事）
36. 12. 18	第4回定例会	第 523 号	予算外義務の負担について（芝浦下水処理場拡張工事）
36. 12. 18	第4回定例会	第 524 号	予算外義務の負担について（芝浦下水処理場拡張工事）
36. 12. 18	第4回定例会	第 525 号	予算外義務の負担について（芝浦下水処理場拡張工事）
36. 12. 18	第4回定例会	第 526 号	予算外義務の負担について（砂町下水処理場拡張工事）

議決年月日	種別	議案番号	件名
36. 12. 18	第4回定例会	第 527 号	予算外義務の負担について（砂町下水処理場拡張工事）
36. 12. 18	第4回定例会	第 528 号	予算外義務の負担について（砂町下水処理場拡張工事）
37. 3. 31	第1回定例会	第 236 号	千駄ヶ谷幹線その2工事請負契約
37. 3. 31	第1回定例会	第 237 号	渋谷川幹線その15工事請負契約
37. 3. 31	第1回定例会	第 238 号	砂幹線その10工事請負契約
37. 3. 31	第1回定例会	第 239 号	岩淵幹線その8工事請負契約
37. 3. 31	第1回定例会	第 240 号	岩淵幹線その9工事請負契約
37. 3. 31	第1回定例会	第 241 号	石神井川下幹線その9工事請負契約
37. 3. 31	第1回定例会	第 242 号	宇田川幹線その4工事請負契約
37. 3. 31	第1回定例会	第 243 号	墨田区吾嬬町東3,5丁目付近枝線工事請負契約
37. 3. 31	第1回定例会	第 244 号	江東区大島町6丁目付近枝線その1工事請負契約
37. 3. 31	第1回定例会	第 245 号	藍染ポンプ所上家その他工事請負契約
37. 3. 31	第1回定例会	第 246 号	大島ポンプ所上家新築工事請負契約
37. 3. 31	第1回定例会	第 247 号	芝浦下水処理場高速曝氣沈澱槽その2工事請負契約
37. 3. 31	第1回定例会	第 248 号	予算外義務の負担について（第249号に関連して）
37. 3. 31	第1回定例会	第 249 号	日本堤ポンプ所雨水ポンプ設備その2工事請負契約

(6) 購入契約

議決年月日	種別	議案番号	件名
36. 7. 11	第2回定例会	第 295 号	森ヶ崎下水処理場用地の買収について
37. 3. 13	第1回定例会	第 129 号	砂町下水処理場拡張用地の買収について

3. 行政官庁許認可事項

該当事項なし

4. 職員に関する事項

(1) 昭和37年3月31日現在の職員は2,020名で、その内訳はつきのとおりである。

種別 科 目	事務職員	技術職員	雇員	傭員	休養者	休職者	未帰還者	総計
経営部門	174名	154名	522名	548名	6名	4名	1名	1,409名
建設改良部門	44	157	336	71	2	1	0	611
計	218	311	858	619	8	5	1	2,020

(注) 本表の職員数は、下水道事業会計で負担する水道局所属職員を含む。

(2) 職員構成表

(イ) 勤続年数別職員構成表

職種別 年数別	事務職員	技術職員	その他	臨時職員	計
1年未満	29名	121名	名	37名	187名
1年以上～3年未満	125	510	4	112	751
3〃～5〃	59	184	4	78	325
5〃～7〃	39	95		21	155
7〃～10〃	70	90		5	165
10〃～15〃	156	170	1	20	347
15〃～20〃	34	42			76
20〃～25〃	32	75			107
25〃～30〃	30	36			66
30〃～40〃	30	73			103
40年以上	2	9			11
計	606	1,405	9	273	2,293
総勤続年数	6,564	11,664.5	36.5	991.5	19,256.5

(ロ) 年令別職員構成表

職種別 年令別	事務職員	技術職員	その他	臨時職員	計
20才以下	29名	155名	名	6名	190名
21才～25才	76	275		72	423
26〃～30〃	142	227	1	68	438
31〃～35〃	123	231	1	35	390
36〃～40〃	70	135	4	17	226
41〃～45〃	44	90	1	16	151
46〃～50〃	34	77		13	124
51〃～55〃	43	75	1	12	131
56〃～60〃	30	83		12	125
61才以上	15	57	1	22	95
計	606	1,405	9	273	2,293
総令年(才)	21,481	48,366	370	9,467	79,684

(3) 職員の給料について

国家公務員の給与改訂に伴い、「東京都水道局職員の給与に関する規程」の一部を改正して、昭和36年10月1日から給料月額の引上げを行なつた。

5. 料金その他供給条件の設定変更に関する事項

昭和36年6月30日開会の第2回東京都議会定例会に提案された上下水道料金等の改正に関する条例改正案は7月12日に一部修正のうえ、水道料金の合理的体系を確立するため学識経験者を加えた水道料金調査会を速やかに設置して、業態別料金の不均衡を是正すること等の付帯決議を付されて可決、昭和36年8月分より実施した。

改 正 料 金 表

区 分	一 般 用 営 業 用 浴 場 用 共	甲 地 区		乙 地 区	
		新 料 金	旧 料 金	新 料 金	旧 料 金
水道汚水		水道料金の 3 — 10	水道料金の 3 — 10	水道料金の 2 — 10	水道料金の 2 — 10
井戸の汚水 その他	浴 場	排出量1立方メートルにつき 4円50銭	排出量1立方メートルにつき 3円60銭	排出量1立方メートルにつき 3 円	排出量1方立メートルにつき 2円40銭
	そ の 他	〃 5円	〃 4円	〃 3円30銭	〃 2円70銭
し 尿	水洗式大便器	1個1カ月につき 20円 (据置)	1個1カ月につき 20円		
	水洗式小便器	〃 20円	〃 10円		

備考 水道汚水については、徴収率の変更はないが、水道料金の改正に伴つて増収となるので、今回の下水道料金の改正を総合すれば120.74パーセントの改正率となる。

第2章 財務

第1節 財政

1. 昭和36年度 東京都下水道事業予算決算対照表

(1) 収益的収入及び支出

収入

区分	予算額(A)	決算額(B)	差引予算残額	執行率(B/A)
第1款 下水道事業収益	3,620,690,000	3,553,734,385	66,955,615	98.2
第1項 営業収益				
下水道会計繰入金	2,794,881,000	2,698,589,695	96,291,305	96.6
一般会計繰入金	1,795,694,000	1,787,933,363	7,760,637	99.6
受託その他営業収益	523,781,000	489,933,500	33,847,500	93.5
	177,500,000	170,927,710	6,572,290	96.3
	297,906,000	249,795,122	48,110,878	83.9
第2項 営業外収益	825,809,000	855,144,690	△ 29,335,690	103.6
受取物件収入	20,440,000	33,742,387	△ 13,302,387	165.1
土地一般会計繰入金	11,947,304	16,862,875	△ 4,915,571	141.1
雜	765,037,000	763,874,341	1,162,659	99.8
	28,384,696	40,665,087	△ 12,280,391	143.3
計	3,620,690,000	3,553,734,385	66,955,615	98.2

支出

区分	予算額(A)	決算額(B)	差引予算残額	執行率(B/A)
第1款 下水道管理費	3,620,690,000	3,499,362,864	121,327,136	96.6
第1項 営業費用				
管渠場事業費	2,656,876,000	2,546,789,945	110,086,055	95.9
ボンボ受託事業費	589,236,000	544,898,145	44,337,855	92.5
理場事業費	202,435,000	197,647,916	4,787,084	97.6
受託事業費	504,106,000	474,707,957	29,398,043	94.2
	177,500,000	170,598,873	6,901,127	96.1
業務係費	287,952,000	270,565,864	17,386,136	94.0
減価償却費	218,558,000	212,397,004	6,160,996	97.2
資本の他営業費用	556,000,000	555,833,135	166,865	100.0
	112,000,000	111,689,244	310,756	99.7
	9,089,000	8,451,807	637,193	93.0
第2項 営業外費用	962,814,000	952,572,919	10,241,081	98.9
支払利息及び下水道債取扱諸費用	765,287,000	763,874,341	1,412,659	99.8
繰延勘定費	4,000,000	4,000,000	0	100.0
雜自己資本造成費	14,000,000	5,171,578	8,828,422	36.9
	179,527,000	179,527,000	0	100.0
第3項 予備費	1,000,000	0	1,000,000	0.0
計	3,620,690,000	3,499,362,864	121,327,136	96.6

(2) 資本的収入及び支出

収 入

区 分	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	差引予算残額	執行率(B/A)
第1款 下 水 道 債	円	円	円	%
第1項 下 水 道 債	6,130,000,000	5,596,000,000	534,000,000	91.3
下 水 道 債	6,130,000,000	5,596,000,000	534,000,000	91.3
	6,130,000,000	5,596,000,000	534,000,000	91.3
第2款 一 般 会 計 繰 入 金	3,145,045,000	2,985,469,775	159,575,225	94.9
第1項 一 般 会 計 繰 入 金	3,145,045,000	2,985,469,775	159,575,225	94.9
下水道債元金償還資補給金	137,155,000	137,154,500	500	100.0
下水道拡張事業費補給金	2,000,000,000	2,000,000,000	0	100.0
失業対策下水施設費繰入金	205,700,000	47,018,311	158,681,689	22.9
特別失業対策下水施設費繰入金	200,000,000	200,000,000	0	100.0
下水道整備拡充事業費繰入金	602,190,000	601,296,964	893,036	99.9
下水道整備拡充事業費繰入金	350,684,000	350,684,000	0	100.0
汐留、接橋ポンプ所建設繰入金	251,506,000	250,612,964	893,036	99.6
第3款 国 庫 補 助 金	500,000,000	290,000,000	210,000,000	58.0
第1項 国 庫 補 助 金	500,000,000	290,000,000	210,000,000	58.0
国 庫 補 助 金	500,000,000	290,000,000	210,000,000	58.0
第4款 固 定 資 産 売 却 収 入	14,712,000	603,425	14,108,575	4.1
第1項 固 定 資 産 売 却 収 入	14,712,000	603,425	14,108,575	4.1
固 定 資 産 売 却 収 入	14,712,000	603,425	14,108,575	4.1
第5款 貸 付 金 返 還 還 金	6,000,000	6,000,000	0	100.0
第1項 貸 付 金 返 還 金	6,000,000	6,000,000	0	100.0
貸 付 金 返 還 金	6,000,000	6,000,000	0	100.0
第6款 そ の 他 資 本 収 入	12,000,000	11,478,913	521,087	95.7
第1項 そ の 他 資 本 収 入	12,000,000	11,478,913	521,087	95.7
そ の 他 資 本 収 入	12,000,000	11,478,913	521,087	95.7
計	9,807,757,000	8,889,552,113	918,204,887	90.6

支 出

区 分	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	差引予算残額	執行率(B/A)
第1款 建 設 改 良 費	円	円	円	%
第1項 下 水 道 改 良 費	11,097,774,166	10,134,250,437	963,523,729	91.3
管 水 費	517,573,660	467,914,394	49,659,266	90.4
渠 場 施 設 費	192,783,660	158,890,483	33,893,177	82.4
下 水 道 施 設 費	39,440,000	34,332,238	5,107,762	87.0
下 水 道 施 設 費	199,250,000	195,777,973	3,472,027	98.3
下 水 道 施 設 費	86,100,000	78,913,700	7,186,300	91.7
第2項 下 水 道 拡 張 費	10,580,200,506	9,666,336,043	913,864,463	91.4
施 工 費	9,415,910,506	8,805,196,087	610,714,419	93.5
失 業 対 策 下 水 施 設 費	132,100,000	104,744,631	27,355,369	79.3
特 别 失 業 対 策 下 水 施 設 費	220,000,000	215,683,756	4,316,244	98.0
下 水 道 整 備 拡 充 費	812,190,000	540,711,569	271,478,431	66.6
第2款 下 水 道 債 債 還 金	137,155,000	137,154,500	500	100.0
第1項 下 水 道 債 債 還 金	137,155,000	137,154,500	500	100.0
下 水 道 債 債 還 金	137,155,000	137,154,500	500	100.0
第3款 貸 付 金	6,000,000	6,000,000	0	100.0
第1項 貸 付 金	6,000,000	6,000,000	0	100.0
職 員 共 濟 組 合 貸 付 金	6,000,000	6,000,000	0	100.0
計	11,240,929,166	10,277,404,937	963,524,229	91.4

1. 資本的支出予算残額のうち、建設改良工事の繰越は次のとおりである。

内訳	{ 下水道改良費 下水道拡張費	17,988,000円 60,000,000円
----	--------------------	----------------------------

2. 資本的収入合計 8,889,552,113円と資本的支出合計10,277,404,937円との収入不足額 1,387,852,824円に、翌年度への繰越工事に対する資金留保額77,988,000円を加えた資金不足額 1,465,840,824円については、次のとおり補てんした。

内訳	{ (1) 前年度からの繰越工事資金 (2) 繰越利益剰余金処分額 (3) 損益勘定留保資金	577,022,166円 16,000,000円 872,818,658円
----	--	---

2. 昭和36年度 東京都下水道事業損益計算書

(自 昭和36年4月1日 至 昭和37年3月31日)

1 営業収益

(1) 下水道料金	1,787,933,363円
(2) 一般会計繰入金	489,933,500
(3) 受託事業収益	170,927,710
(4) その他営業収益	<u>249,795,122</u>
	2,698,589,695円

2 営業費用

(1) 管渠費	544,898,145
(2) ポンプ場費	197,647,916
(3) 処理場費	474,707,957
(4) 受託事業費	170,598,873
(5) 業務費	270,565,864
(6) 総係費	212,397,004
(7) 減価償却費	555,833,135
(8) 資産減耗費	111,689,244
(9) その他営業費用	<u>8,451,807</u>
	<u>2,546,789,945</u>

営業総利益

151,799,750円

3 営業外収益

(1) 受取利息	33,742,387
(2) 土地物件収益	16,862,875
(3) 一般会計繰入金	763,874,341
(4) 雑取収	<u>40,665,087</u>
	<u>855,144,690</u>

当年度総利益

1,006,944,440

4 営業外費用

(1) 支払利息及下水道債取扱諸費	763,874,341円
(2) 繰延勘定償却	4,000,000
(3) 雑支出	5,171,578
(4) 自己資本造成費	<u>179,527,000</u>
	<u>952,572,919円</u>

当年度純利益

54,371,521円

損 益 計 算 書

借 方

貸 方

營業費用	管渠費	544,898,145円	營業収益	
	ポンプ場費	197,647,916円		
受託事業費	処理場費	474,707,957円	受託事業収益	
	受託事業費	170,598,873円		
業務費	業務費	270,565,864円	一般会計繰入金	
	総係費	212,397,004円		
減価償却費	減価償却費	555,833,135円	一般会計繰入金	
	資産減耗費	111,689,244円		
その他営業費用		8,451,807円	その他営業収益	
25億4千678万9千945円			26億9千858万9千695円	
(71.66%)			(75.94%)	
營業外費用	受取利息	33,742,387円	營業外収益	
	土地物件収益	16,862,875円		
一般会計繰入金	一般会計繰入金	763,874,341円	自己資本造成費	
	雑 収	40,665,087円		
9億5千257万2千919円			8億5千514万4千690円	
(26.81%)			(24.06%)	
		(1.53%)		
	當年度純利益	5千437万1千521円		

3. 昭和36年度 東京都下水道事業剩余金計算書

(自 昭和36年4月1日 至 昭和37年3月31日)

利益剩余金の部

I 減債積立金

1 前年度末残高	900,000円
2 前年度繰入額	<u>500,000</u>
3 当年度末残高	1,400,000円
II 建設改良積立金	
1 前年度末残高	0
2 当年度繰入額	16,000,000
3 当年度処分額	<u>16,000,000</u>
4 当年度末残高	0
積立金合計	<u>1,400,000円</u>

III 未処分利益剩余金

1 前年度未処分利益剩余金	25,044,776
2 前年度利益剩余金処分額	
(1) 減債積立金	<u>500,000</u>
繰越利益剩余金	24,544,776
3 繰越利益剩余金処分額	<u>16,000,000</u>
4 繰越利益剩余金減少高	16,000,000
(1) 過年度損益修正	<u>14,419,661</u>
繰越利益剩余金年度末残高	△ 5,874,885
当年度純利益	<u>54,371,521</u>
当年度未処分利益剩余金	<u>48,496,636</u>

資本剩余金の部

I 国庫補助金

1 前年度末残高	348,320,000
2 当年度発生額	<u>290,000,000</u>
3 当年度末残高	638,320,000

II 受贈財産評価額

1 前年度末残高	1,204,488,112
2 当年度発生額	<u>1,129,592,324</u>
3 当年度末残高	2,334,080,436

III 事業施設建設受入寄付金

1 前年度末残高	76,139,092円
2 当年度発生額	<u>11,358,913</u>
3 当年度末残高	87,498,005円
IV 保険差益	
1 前年度末残高	<u>237,653</u>
2 当年度末残高	<u>237,653</u>
資本剩余金合計	<u>3,060,136,094円</u>
翌年度繰越資本剩余金	<u>3,060,136,094</u>

4. 昭和36年度 東京都下水道事業剩余金処分計算書

I 当年度未処分利益剩余金	48,496,636円
II 利益剩余金処分額	
1 減債積立金	2,500,000円
2 建設改良積立金	<u>45,000,000</u>
III 翌年度繰越利益剩余金	<u>47,500,000円</u>
	<u>996,636</u>

5. 昭和36年度 東京都下水道事業貸借対照表

(昭和37年3月31日)

資 産 の 部

I 固 定 資 産

1 有形固定資産

(1) 土 地	2,840,912,934円
(2) 立 木	5,149,136
(3) 建 物	2,993,260,292円
減価償却引当金	<u>122,255,959</u> 2,871,004,333
(4) 構 築 物	28,852,209,727
減価償却引当金	<u>2,744,117,213</u> 26,108,092,514
(5) 機 械 及 装 置	5,262,933,015
減価償却引当金	<u>332,506,847</u> 4,930,426,168
(6) 車両運搬具	91,275,099
減価償却引当金	<u>32,680,727</u> 58,594,372
(7) 器 具 備 品	97,043,100
減価償却引当金	<u>33,993,375</u> 63,049,725
(8) 建 設 仮 勘 定	<u>6,498,680,704</u>
有形固定資産合計	43,375,909,886円

2 無形固定資産

(1) 電気ガス供給施設利用権	17,765,015
(2) 借 地 権	<u>4,750,595</u>
無形固定資産合計	22,515,610

3 投 資 資 産

(1) 長期共済組合貸付金	4,000,000
(2) 投資有価証券	<u>5,650,000</u>
投資資産合計	<u>9,650,000</u>
固定資産合計	43,408,075,496

II 流動資産

1 現 金 及 預 金

(1) 預 金	1,546,791,751
---------	---------------

2 未 収 金		
(1) 営 業 未 収 金	182,529,013円	
(2) 営 業 外 未 収 金	345,225,320	
(3) そ の 他 未 収 金	<u>1,334,032,601</u>	1,861,786,934円
3 貯 蔵 品		
(1) 材 料	140,781,265	
(2) 消 耗 工 器 具 備 品	2,002,870	
(3) 消 耗 品	<u>463,109</u>	143,247,244
4 仮 払 金		
(1) 前 渡 金	966,000	
(2) 概 算 金	<u>3,651,220</u>	<u>4,617,220</u>
流 動 資 産 合 計		<u>3,556,443,149円</u>
資 産 合 計		<u>46,964,518,645</u>

負 債 の 部

III 固 定 負 債

1 引 当 金		
(1) 退 職 給 与 引 当 金	<u>49,381,605</u>	
固 定 負 債 合 計		49,381,605

IV 流 動 負 債

1 未 払 金		
(1) 営 業 未 払 金	132,518,119	
(2) 工 事 未 払 金	2,496,294,932	
(3) そ の 他 未 払 金	<u>43,017,438</u>	2,671,830,489
2 未 払 費 用		
(1) 未 払 費 用		60,306,129
3 前 受 金		
(1) 営 業 前 受 金	2,220,989	
(2) そ の 他 前 受 金	<u>313,827</u>	2,534,816
4 預 り 金		
(1) 預 り 保 証 金	15,030,000	
(2) そ の 他 預 り 金	<u>131,576</u>	<u>15,161,576</u>
流 動 負 債 合 計		<u>2,749,833,010</u>
負 債 合 計		<u>2,799,214,615</u>

資 本 の 部

V 資 本 金

1 自 己 資 本 金	
(1) 自 己 資 本 金	26,035,849,900円
2 借 入 資 本 金	
(1) 企 業 債	15,019,421,400
資 本 金 合 計	41,055,271,300円

VI 剰 余 金

1 資 本 剰 余 金

(1) 国 庫 補 助 金	638,320,000円
(2) 受 贈 財 產 評 価 額	2,334,080,436
(3) 事 業 施 設 建 設 受 入 寄 付 金	87,498,005
(4) 保 険 差 益	237,653
資 本 剰 余 金 合 計	3,060,136,094

2 利 益 剰 余 金

(1) 減 債 積 立 金	1,400,000
(2) 当 年 度 未 处 分 利 益 剰 余 金	
継 越 利 益 剩 余 金	△ 5,874,885円
年 度 末 残 高	
当 年 度 純 利 益	54,371,521 48,496,636
利 益 剩 余 金 合 計	49,896,636
剩 余 金 合 計	3,110,032,730
資 本 合 計	44,165,304,030
負 債 資 本 合 計	46,964,518,645

貸 借 対 照 表

借 方	貸 方
	固定負債 4千938万1千605円 (0.105%)
	未 払 金 2,671,830,489円
	未 払 費 用 60,306,129円
	前 受 金 2,534,816円
	預 り 金 15,161,576円
固	流动負債 27億4千983万3千10円 (5.855%)
定	有形固定資産 43,375,909,886円
資	無形固定資産 22,515,601円
434	投資資産 9,650,000円
億	
807	
万	
5	
千	
496	
円	
(92.428%)	
流动資産 35億5千644万3千149円 (7.572%)	自己資本金 26,035,849,000円
	借入資本金 15,019,421,400円
	現金及預金 1,546,791,751円
	未 収 金 1,861,786,934円
	貯 藏 品 143,247,244円
	仮 払 金 4,617,220円
	資本剩余金 3,060,136,094円
	利益剩余金 49,896,636円
	剩 余 金 31億1千3万2千730円 (6.621%)
本	410
	億
	5
	千
	527
	万
	1
	千
	300
	円
	(87.419%)

6. 貸借対照表、損益計算書の比較と分析

(1) 比較貸借対照表

区分	年 度	36	35	差 引
有形資産	固定資産	43,375,909,886 22,515,610 9,650,000	円 32,699,792,681 25,309,206 7,810,000	円 10,676,117,205 △ 2,793,596 1,840,000
固定資産計		43,408,075,496	32,732,911,887	10,675,163,609
現金及預金	現金 未貯金 未収金 未払金 未収預金	1,546,791,751 1,861,786,934 143,247,244 4,617,220	2,032,909,574 1,657,025,766 108,721,025 4,296,289	△ 486,117,823 204,761,168 34,526,219 320,931
流動資産計		3,556,443,149	3,802,952,654	△ 246,509,505
資産合計		46,964,518,645	36,535,864,541	10,428,654,104
引当金		49,381,605	38,739,726	10,641,879
固定負債計		49,381,605	38,739,726	10,641,879
未払費用	未前払 未受預 金	2,671,830,489 60,306,129 2,534,816 15,161,576	2,452,350,497 46,780,243 1,055,120 20,093,759	219,479,992 13,525,886 1,479,696 △ 4,932,183
流動負債計		2,749,833,010	2,520,279,619	229,553,391
負債合計		2,799,214,615	2,559,019,345	240,195,270
自己資本金		26,035,849,900	22,765,139,663	3,270,710,237
借入資本金		15,019,421,400	9,556,575,900	5,462,845,500
資本金計		41,055,271,300	32,321,715,563	8,733,555,737
資本剰余金		3,060,136,094	1,629,184,857	1,430,951,237
利益剰余金		49,896,636	25,944,776	23,951,860
剰余金計		3,110,032,730	1,655,129,633	1,454,903,097
資本合計		44,165,304,030	33,976,845,196	10,188,458,834
負債資本合計		46,964,518,645	36,535,864,541	10,428,654,104

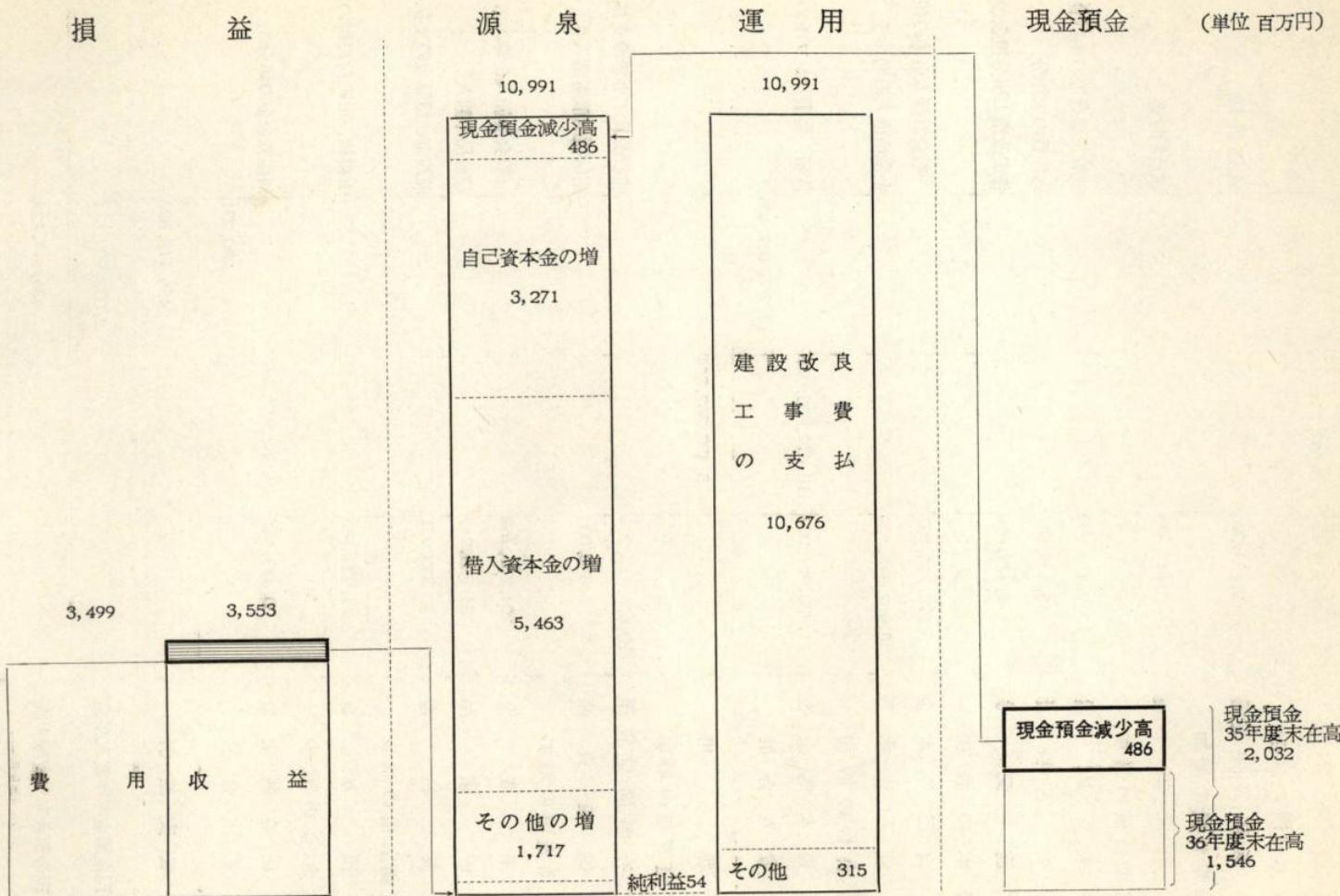
(2) 損益収支結合表

(昭和36年度分)

収 益	円	円	円
固定資産の減少		3,553,734,385	
無形固定資産	2,793,596		減価償却
固定負債の増加			
引 当 金	10,641,879		職員納付金
流動負債の増加			
未 払 金	219,479,992		建設工事費等の未払金
未 払 費 用	13,525,886		人件費の未払分
前 受 金	1,479,696		管渠改造工事分担金の概算前受け
資 本 の 増 加			
自 己 資 本 金	3,270,710,237		一般会計繰入金等の組入れ
借 入 資 本 金	5,462,845,500		企業債借入の増
剩 余 金 の 増 加			
資 本 剩 余 金	1,430,951,237	10,412,428,023	汐留、桜橋ポンプ所の受贈等
収 入 合 計		13,966,162,408	
費 用		3,499,362,864	
固定資産の増加			
有 形 固 定 資 産	10,676,117,205		建設改良工事費の支払い
投 資 資 産	1,840,000		電信電話債券購入
流動資産の増加			
未 収 金	204,761,168		一般会計繰入金等の未収分
貯 藏 品	34,526,219		貯蔵品の購入
仮 払 金	320,931		前渡金、概算金の支払い
流動負債の減少			
預 り 金	4,932,183		所得税、市町村民税の支払い
剩 余 金 の 減 少			
利 益 剩 余 金	30,419,661	10,952,917,367	利益剰余金の処分
支 出 合 計		14,452,280,231	
収 支 差 引		486,117,823	
現金預金35年度末在高		2,032,909,574	
現金預金36年度減少高		486,117,823	
現金預金36年度末在高		1,546,791,751	

資 金 移 動 図 表

28



(3) 損益計算書、貸借対照表百分比

損 益 計 算 書

区 分	金 額	比 率	区 分	金 額	比 率
営 業 費 用	円 2,546,789,945	% 71.7	営 業 収 益	円 2,698,589,695	% 75.9
営 業 外 費 用	773,045,919	21.8	営 業 外 収 益	855,144,690	24.1
計	3,319,835,864	93.4			
当 期 純 利 益	233,898,521	6.6			
借 方 合 計	3,553,734,385	100.0	貸 方 合 計	3,553,734,385	100.0
備 考			備 考		
減 価 賞 却 費	555,833,135	15.6	下 水 道 料 金	1,787,933,363	50.3
支 払 利 息	763,874,341	21.5	受 託 事 業 収 益	170,927,710	4.8
受 託 事 業 費	170,598,873	4.8	補 給 金 及 び 繰 入 金	1,253,807,841	35.3

(注) 当期純利益=当期純利益+自己資本造成費

貸 借 対 照 表

区 分	金 額	比 率	区 分	金 額	比 率
有 形 固 定 資 產	円 43,375,909,886	% 92.359	未 払 金	円 2,671,830,489	% 5.689
無 形 固 定 資 產	22,515,610	0.048	未 払 費 用	60,306,129	0.128
投 資 資 產	9,650,000	0.021	前 受 金	2,534,816	0.005
現 金 及 び 預 金	1,546,791,751	3.293	預 り 金	15,161,576	0.033
未 収 収 金	1,861,786,934	3.964	引 当 金	49,381,605	0.105
貯 藏 品	143,247,244	0.305	自 己 資 本 金	26,035,849,900	55.438
仮 払 金	4,617,220	0.010	借 入 資 本 金	15,019,421,400	31.981
			資 本 剰 余 金	3,060,136,094	6.515
			利 益 剰 余 金	49,896,636	0.106
資 產 合 計	46,964,518,645	100.000	負 債・資 本 合 計	46,964,518,645	100.000

(4) 昭和32~36年度比較貸借対照表

区分	年度	32年度末	33年度末	34年度末	35年度末	36年度末
		千円	千円	千円	千円	千円
資 产						
固定 資 産		18,602,856	21,473,785	25,686,798	32,732,911	43,408,075
流 動 資 産		1,187,112	1,604,780	2,531,855	3,802,952	3,556,443
現 金 及 預 金		405,843	794,160	1,461,585	2,032,909	1,546,792
未 収 金		712,033	740,289	1,001,164	1,657,025	1,861,787
貯 藏 品		68,539	55,441	67,648	108,721	143,247
その他の流動資産		697	14,890	1,458	4,297	4,617
資 产 合 計		19,789,968	23,078,565	28,218,653	36,535,864	46,964,519
負 債						
固 定 負 債		18,872	24,132	30,454	38,740	49,382
流 動 負 債		691,019	812,197	1,398,693	2,520,279	2,749,833
未 払 金		504,936	807,696	1,394,640	2,452,350	2,671,830
その他の流動負債		186,083	4,501	4,053	67,929	78,003
負 債 合 計		709,891	836,329	1,429,147	2,559,019	2,799,215
資 本						
資 本 金		16,158,549	17,438,972	19,676,962	32,321,715	41,055,271
自己資本金		13,949,560	14,099,560	14,226,466	22,765,139	26,035,850
借 入 資 本 金		2,208,989	3,339,412	5,450,496	9,556,575	15,019,421
剩 余 金		3,103,810	4,803,264	7,112,544	1,655,129	3,110,033
資 本 剰 余 金		3,103,810	4,800,537	7,095,880	1,629,184	3,050,136
利 益 剰 余 金		0	2,727	16,664	25,944	49,897
欠 損 金	△	182,282	0	0	0	0
資 本 合 計		19,080,077	22,242,236	26,789,506	33,976,844	44,165,304
資本・負債合計		19,789,968	23,078,565	28,218,653	36,535,864	46,964,519

(5) 損益計算書、貸借対照表の分析比率

イ 資産、資本の構成比率

種 別	算 出 方 法	実 数 (単位 千円)
固定資産構成比率	固定資産 総資産	$\frac{43,408,075}{46,964,519} \times 100 = 92.4$ %
固定負債構成比率	固定負債 総資本	$\frac{15,068,803}{46,964,519} \times 100 = 32.1$
自己資本構成比率	自己資本 総資本	$\frac{29,145,883}{46,964,519} \times 100 = 62.1$
固定比率	固定資産 自己資本	$\frac{43,408,075}{29,145,883} \times 100 = 148.9$
長期資本対固定資産比率	自己資本+固定負債 固定資産	$\frac{44,214,686}{43,408,075} \times 100 = 101.9$
流動比率	流動資産 流動負債	$\frac{3,556,443}{2,749,833} \times 100 = 129.3$
酸性試験比率	現金預金+未収金 流動負債	$\frac{1,546,792+1,861,787}{2,749,833} \times 100 = 124.0$
現金比率	現金預金 流動負債	$\frac{1,546,792}{2,749,833} \times 100 = 56.3$

ロ 資産、資本の回転率

種 別	算 出 方 法	実 数 (単位 千円)
総資本回転率	営業収益 総資本平均在高	$\frac{2,698,590}{41,750,192} = 0.06$
自己資本回転率	総費用 自己資本平均在高	$\frac{3,319,836}{26,783,076} = 0.12$
固定資産対営業収益回転率	営業収益 固定資産平均在高	$\frac{2,698,590}{38,070,494} = 0.07$
減価償却率	当期償却費 減価償却資産	$\frac{555,833}{34,609,516} = 0.02$
流動資産回転率	営業収益 流動資産平均在高	$\frac{2,698,590}{3,679,698} = 0.73$
現金預金回転率	当期支出額 現金預金平均在高	$\frac{12,858,201}{1,789,851} = 7.18$

種 別	算 出 方 法	実 数 (単位 千円)
貯蔵品回転率	$\frac{\text{払出高}}{\text{貯蔵品平均在高}}$	$\frac{1,085,090}{125,984} = 8.61$
未収金回転率	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業未収金平均在高}}$	$\frac{2,698,590}{166,195} = 16.24$

八 損益に関する各種比率

種 別	算 出 方 法	実 数 (単位 千円)
総資本利益率	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{総資本平均在高}}$	$\frac{233,899}{41,750,192} = 0.006$
営業収益対営業費用比率	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}}$	$\frac{2,698,590}{2,546,790} \times 100 = 106.0 (\%)$
総収益対総費用比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}}$	$\frac{3,553,734}{3,319,836} \times 100 = 107.0 (\%)$
利子負担率	$\frac{\text{支払利息}}{\text{総負債平均在高}}$	$\frac{763,874}{14,967,116} \times 100 = 5.1 (\%)$
企業債償還額比率 減価償却額比率	$\frac{\text{企業債償還額}}{\text{当期償却費}}$	$\frac{137,155}{555,833} \times 100 = 24.7 (\%)$
職員1人当営業収益	$\frac{\text{営業収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	$\frac{2,698,590}{1,614} = 1,671.99 (\text{円})$
職員1人当有形固定資産	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{全職員数}}$	$\frac{43,375,910}{2,293} = 18,916.66 (\text{円})$

(注) 本表における用語の説明

1. 負債 固定負債+流動負債
2. 固定負債 固定負債+借入資本金
3. 自己資本 自己資本金+利益剰余金+資本剰余金
4. 平均在高 (期首在高+期末在高) ÷ 2
5. 当期純利益 当期純利益+自己資本造成費

7. 企 業 債 お よ び 一 時 借 入 金

(1) 企 業 債

種 別	発 行 年 月 日	発 行 額		償 還 高		未 償 還 残 高	発 行 先	発 行 價 格	利 率	償 還 終 期
		内	昭和36年度分	内	昭和36年度分					
		訳	昭和36年度末	訳	昭和36年度末					
下水道拡張	昭和24年4月25日	円	5,600,000,000	円	130,898,571	15,001,093,000	資金運用部 簡易保険局 公 募	99.00円 5,250,000,000	6分3厘	昭和61年2月
	昭和37年2月20日	円	15,294,000,000	円	292,907,000			99.50円 300,000,000	6分5厘	
管渠移設復旧	昭和21年5月20日	0		1,461,429		6,820,000	資金運用部	99.75円 2,500,000,000	7分3厘	昭和51年2月
	昭和26年3月15日	0	17,140,000	10,320,000				100.00円 7,244,000,000	7分5厘 8分0厘	
水害下水道復旧	昭和23年4月30日	0		3,250,000		11,050,000	資金運用部	100円	3分2厘	昭和42年3月
	昭和25年3月25日	0	32,700,000	21,650,000					6分3厘	
都市計画事業 改良下水道完成	昭和14年5月31日	0		1,504,500		81,500	資金運用部	100円	4分2厘	昭和37年5月
	昭和15年5月31日	0	2,868,100	2,786,600						
郊外下水道改良費	昭和17年5月20日	0		40,000		376,900	資金運用部	100円	4分2厘	昭和45年11月
		0	736,400	359,500						
計		5,600,000,000	15,347,444,500	137,154,500	328,023,100	15,019,421,400				

(2) 支 払 利 息

年 度	種 別	企 業 債 利 息	企 業 債 取 扱 費	計	備 考
36 年 度		円 729,778,776	円 34,095,565	円 763,874,341	

(1) 一 時 借 入 金

な し

第 2 節 固 定 资 产

有 形 固 定 资

資産の種類	年度当初現在高	本年度増加高	本年
土 地	1,055,596.566 <i>m²</i>	1,867,061,233 円	57,550.39 <i>m²</i>
事務所用地	1,355.280	23,724,860	974.00
施設用地	1,048,418.936	1,835,116,958	56,576.39
その他の用地	5,822,350	8,219,415	0
立 木	—	5,031,233	117,903
建 物	58,913.420	1,506,140,717	9,577.90
事務所用建物	7,375.509	160,007,068	2,236.05
施設用建物	37,930.039	1,229,209,960	6,421.25
公舎合宿用建物	6,300.300	58,825,333	0
倉庫車庫用建物	4,423.192	36,022,064	791.00
工場用建物	1,095.140	12,599,645	0
その他の建物	1,789.240	9,476,647	129.60
構 築 物	—	22,650,026,104	6,370,513,196
排 水 設 備	—	19,376,300,328	3,000,060,425
集 水 設 備	—	56,098,033	0
処理設備	—	2,845,235,183	3,261,174,946
諸 設 備	—	372,392,560	109,277,825
機 械 及 装 置	—	2,150,146,042	3,128,912,953
電 気 設 備	—	548,846,261	1,259,831,112
ポンプ設備	—	690,005,972	495,459,101
処理機械設備	—	711,393,525	1,278,069,076
その他の機械装置	—	199,900,284	95,553,664
車両運搬具	—	65,966,499	33,962,800
器 具 備 品	—	190,352,375	32,774,951
建設仮勘定	—	6,981,997,714	3,529,532,480
合 計	35,416,721,917	15,565,968,782	—

資 明 細 書

昭和 36 年 度

度 減 少 高	年 度 末 現 在 高	減価償却引当金	減価償却未済高
円 335,019	㎡ 1,112,680.926	円 2,840,912,934	円 2,840,912,934
0	2,329.280	50,288,360	50,288,360
0	1,104,995.326	2,782,740,178	2,782,740,178
335,019	5,356.320	7,884,396	7,884,396
0	—	5,149,136	5,149,136
8,848,204	68,020.360	2,993,260,292	2,871,004,333
3,976,751	9,401.679	218,509,938	207,844,398
2,288,109	44,304.919	2,655,901,211	2,565,512,946
37,500	6,249.150	58,787,833	48,958,574
2,483,044	5,064.792	36,969,263	31,473,068
0	1,095.140	12,599,645	9,643,260
62,800	1,904.680	10,492,402	7,572,087
168,329,573	—	28,852,209,727	26,108,092,514
24,990,250	—	22,351,370,503	19,906,164,318
56,098,033	—	0	0
72,069,371	—	6,034,340,758	5,795,768,898
15,171,919	—	466,498,466	406,159,298
16,125,980	—	5,262,933,015	4,930,426,168
3,360,849	—	1,805,316,524	1,731,967,189
6,163,460	—	1,179,301,613	1,076,475,166
5,412,423	—	1,984,050,178	1,852,483,724
1,189,248	—	294,264,700	269,500,089
8,654,200	—	91,275,099	58,594,372
126,084,226	—	97,043,100	63,049,725
4,012,849,490	—	6,498,680,704	6,498,680,704
4,341,226,692	—	46,641,464,007	43,375,909,886

無形固定資産明細書

(単位 円)

資産の種類	年度当初現在高	当年度增加高	当年度減少高	年度末現在高
電気ガス供給施設利用権	19,308,454	0	1,543,439	17,765,015
借地権	6,000,752	0	1,250,157	4,750,595
計	25,309,206	0	2,793,596	22,515,610

投資資産明細書

(単位 円)

資産の種類	年度当初現在高	当年度增加高	当年度減少高	年度末現在高
長期共済組合貸付金	4,000,000	0	0	4,000,000
投資有価証券	3,810,000	1,960,000	120,000	5,650,000
計	7,810,000	1,960,000	120,000	9,650,000

減価償却費

(有形固定資産)

(単位 円)

償却資産の種類	償却対象額	減価償却費
建物	1,349,588,266	27,442,571
構築物	20,628,096,965	414,880,949
機械及び装置	1,921,356,920	87,978,004
車両運搬器具	51,572,069	9,098,254
器具備品	57,973,185	13,639,761
計	24,008,587,405	553,039,539

(無形固定資産)

(単位 円)

無形固定資産の種類	償却対象額	減価償却費
電気ガス供給施設利用権	23,385,444	1,543,439
借地権	6,250,784	1,250,157
計	29,636,228	2,793,596

第3章 下水道計画

第1節 東京都市計画下水道

この計画は本都の戦後の復興計画に対応して、従来施行中の旧東京市下水道のほか郊外下水道及び旧12町村下水道を統合し区部のうち新荒川以西（練馬区の大部、板橋区の一部を除く）約36,155ヘクタールの地域に対する下水道計画を策定し、昭和25年7月都市計画下水道が決定されていたものである。

しかし、最近における本都の著しい発展に伴い、人口の激増、使用水量の増大、都市計画用途地域の変更、極度の地盤沈下、或は集中豪雨の発生等により、施設の追加変更が必要となつてきただので変更計画を策定し、昭和37年3月31日、建設省告示第1,092号をもつて決定された。

その変更理由の主なものは次の通りである。

- (1) 排水区域は新荒川以西の地域（練馬区の大部、板橋区の一部を除く）で総面積37,314ヘクタールの区域であり、今回は埋立等の理由により砂町処理場付近及び板橋区舟渡3丁目並びに練馬区仲町1丁目、板橋区上板橋町7丁目付近の一部を新たに追加した。又、芝浦系統のうち神田川（上流は江戸川）左岸の地域は三河島系統に流域変更する。なお、隣接する武蔵野市及び三鷹市のうち地形上本区域に流入する約1,185ヘクタールの地域の下水は森ヶ崎処理場にて処理する。
- (2) 計画人口は東京都長期計画に基づく適正収容人口（常住人口）950万人（昭和45年には980万人）とし、1人1日当りの汚水量はこれを行政区毎に定め、雨水量は計画全地域において1時間最大降雨量を50粍としてこれを定める。
- (3) 東京都市計画審議会河川下水道調査特別委員会が決定した、「準用河川を下水道幹線とする」答申により、呑川外10河川の全部又は一部を下水道幹線として利用する。
- (4) 諸産業の発展に伴う工業用地下水の過剰汲み上げによる地盤沈下は著しく、今後の趨勢等を勘案し、これに対応する各施設の増設をはかることとする。なお、本計画では管渠7,608,900メートル、ポンプ所42カ所、処理場6カ所となつており、計画内容は後期（3の第1）のとおりである。

第2節 東京都市計画下水道事業

この計画は昭和25年7月決定の都市計画下水道のうち急施を要する施設を緊急に施行する予定で、昭和28年都市計画事業として決定されたものである。

これは都心部及びその周辺、約19,326ヘクタールの地域について管渠約400,000メートル、ポンプ所7カ所、下水処理場6カ所を事業費90億円をもつて5カ年間に執行する計画であつたが、事業が資金難、用地難その他により予定通り進捗せず、更に準用河川と下水幹線の重複を調整する必要が生じた等の理由により再三にわたり年度割を延長してきたのであるが、最近における本都の発展に対応するため前記都市計画下水道の計画変更の際事業内容を大巾に拡大、昭和45年までに都市計画下水道全域37,314ヘクタールについて下水道を完成するよう事業計画を変更し、昭和37年3月31日建設省告示1,092号をもつて決定した。

この事業計画では管渠 5,473,145 メートル、ポンプ所 39 カ所、処理場 6 カ所（処理能力 4,100 万立方メートル）の施設を総事業費約 2,177 億円（一部執行済）をもつて施行するもので施設の大要は後記の（3）の第 2 のとおりである。

第 3 節 東京都市計画下水道並びに同下水道事業 及びその執行年度割の概要

第 1 東京都市計画下水道を次のように変更する。

（1）排水区域及び面積

排水区域名	面積 (ヘクタール)	区域
芝浦	約 6,328	港区の全部及び千代田、中央、新宿、渋谷、各区の大部。並びに文京、品川、目黒、世田谷、豊島、各区の一部
三河島	〃 3,936	台東、荒川、両区の全部。及び文京、豊島、両区の大部。並びに千代田、新宿、北、各区の一部
砂町	〃 3,977	墨田区の全部。及び江東区の大部、並びに中央、足立、江戸川、各区の一部
小台	〃 4,552	北、板橋、両区の大部。及び新宿、豊島、練馬、足立、各区の一部
落合	〃 6,151	中野、杉並、両区の大部。及び新宿、世田谷、渋谷、豊島、練馬、各区の一部
森ヶ崎	〃 12,370	大田区の全部。及び世田谷、品川、目黒、各区の大部並びに渋谷、杉並、両区の一部
計	〃 37,314	千代田、中央、港、新宿、文京、台東、墨田、品川、目黒、大田、世田谷、渋谷、中野、杉並、豊島、北、荒川、各区の全部。及び江東、板橋、両区の大部。並びに練馬、足立、江戸川、各区の一部

(2) 下水管渠

排水区域名	名称	起 点	終 点	管径又は断面 (センチメートル)	延 長 (メートル)	摘 要
芝	千駄ヶ谷	渋谷区千駄ヶ谷 1丁目地内	渋谷区宮下町 地内	断面 273×282.5～ 断面 750×360	2,562	渋谷川幹線に流入
	他26カ所	省	略		1,350,562	
浦	計				1,353,124	
三 河 島	尾 久	荒川区尾久町 7丁目地内	荒川区荒川 8丁目地内	管径 110 ～ 断面 440×264	3,587	尾久、町屋各ポン プ所を経て三河島 処理場に至る
	他15カ所	省	略		987,419	
島	計				991,006	
砂 町	小 松 川	江戸川区平井 1丁目地内	江東区亀戸町 7丁目地内	管径 50 ～ 断面 240×216	1,098	小松川ポンプ所よ り砂幹線に至る
	他 6 カ所	省	略		854,630	
町	計				855,728	
小 台	浮 間	板橋区舟渡 2丁目地内	板橋区小豆沢 4丁目地内	断面 180×180 ～ 断面 440×440	2,340	志村ポンプ所に流 入
	他 7 カ所	省	略		904,949	
台	計				907,289	
落 合	中 新 井	練馬区中村南 2丁目地内	中野区江古田 1丁目地内	断面 300×240 ～ 断面 480×288	2,872	妙正寺川幹線に流 入
	他 8 カ所	省	略		1,311,219	
合	計				1,314,091	
森 ヶ 崎	烏 山	世田谷区烏山町 地内	世田谷区池尻町 地内	断面 300×240 ～ 断面 800×360	10,585	目黒川幹線に流入
	他17カ所	省	略		2,177,077	
崎	計				2,187,662	
合 計					7,608,900	

(3) 吐 口

排水区域名	位 置	管 径 又 は 断 面 (センチメートル)	摘 要
芝 浦	港区新門前町地内	断 面 1,500×500	渋谷川幹線雨水吐口
	他 250 カ所	省 略	
三 河 島	文京区関口水道町地内	断 面 120×108	雑司ヶ谷幹線雨水吐口
	他 48 カ所	省 略	
砂 町	墨田区吾嬬町1丁目地内	断 面 400×400	業平橋ポンプ所吐口
	他 13 カ所	省 略	
小 台	板橋区長後1丁目地内	断 面 480×288	志村幹線雨水吐口
	他 89 カ所	省 略	
落 合	中野区江古田1丁目地内	断 面 480×288	中新井幹線雨水吐口
	他 224 カ所	省 略	
森 ケ 嶺	目黒区下目黒2丁目地内	断 面 2,800×500	目黒川幹線雨水吐口
	他 93 カ所	省 略	

(4) ポンプ所

主 要 設 備 省 略

排水区域名	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)
芝	銭 甕 町	千代田区大手町地内	1.35	箱 崎 町	中央区日本橋箱崎町4丁目地内	0.01
	浜 町	中央区日本橋浜町2丁目浜町公園内	0.06	桜 橋	中央区西八丁堀4丁目及び新富町1丁目地内	0.20
浦	中 州	中央区日本橋中州地内	0.02	汐 留	中央区銀座8丁目, 築地5丁目地内	0.20
三 河 島	湯 島	文京区湯島切通町地内	0.17	汐 入	荒川区南千住10丁目地内	0.09
	和 泉 町	千代田区神田和泉町地内	0.05	南 千 住	荒川区南千住8丁目地内	0.16
	日 本 堤	台東区浅草日本堤2丁目地内	0.32	藍 染	荒川区荒川8丁目 三河島処理場構内	—
	山 谷	台東区浅草橋場3丁目地内	0.06	町 屋	荒川区三河島9丁目地内	0.39
	橋 場	荒川区南千住3丁目地内	0.06	尾 久	荒川区尾久9丁目地内	0.56

排水区域名	名称	位置	地積 (ヘクタール)	名称	位置	地積 (ヘクタール)
砂	業平橋	墨田区吾嬬橋3丁目地内	0.44	越中島	江東区深川越中島町地内	0.08
	三ノ橋	墨田区豊川4丁目地内	0.47	東雲	江東区深川8号埋立地内	0.30
	佃島	中央区新佃島東町1丁目地内	0.50	木場	江東区深川豊住町3丁目地内	0.89
	月島	中央区新佃島東町1丁目地内	0.05	千住西	足立区千住接木町地内	0.40
町	千住	足立区千住曙町地内	0.60	小松川	江戸川区平井1丁目地内	0.47
	隅田	墨田区隅田町1丁目地内	0.62	大島	江東区大島町6丁目地内	0.89
	吾嬬	墨田区吾嬬町東5丁目地内	0.62	砂町	江東区南砂町5丁目地内	0.88
小台	志村	板橋区小豆沢4丁目地内	0.81	王子	北区豊島2丁目地内	0.47
	志茂	北区志茂1丁目地内	0.70	宮城	足立区宮城町小台処理場構内	—
	鹿浜	足立区南堀之内地内	0.70			
森ヶ崎	鮫州	品川区大井鮫州町地内	0.54	高畠	大田区西六郷3丁目地内	0.06
	浜川	品川区大井北浜川町地内	0.16	六郷	大田区南六郷1丁目及び2丁目地内	0.71
	平和島	大田区平和島地内	0.55	羽田	大田区羽田旭町地内	0.88
	矢口	大田区古市町地内	0.50			

(5) 処理場

排水区域名	名称	位置	地積 (ヘクタール)	計画 処理人口	計画 処理水量	晴天時 雨天時	摘要
芝浦	芝浦	港区芝高浜町及び芝海岸通5丁目地内	18.18	1,030,000	1,020,000 m³/日 1,810,000 //	主要施設等省略	
三河島	三河島	荒川区荒川8丁目地内	18.49	1,120,000	520,000 // 910,000 //		//
砂町	砂町	江東区南砂町9丁目地内	49.14	840,000	630,000 // 1,090,000 //		//
小台	小台	足立区宮城町地内	9.47	970,000	420,000 // 750,000 //		//
落合	落合	新宿区上落合1丁目地内	7.06	1,230,000	450,000 // 790,000 //		//
森ヶ崎	森ヶ崎	大田区森ヶ崎町及び京浜三区埋立地内	36.36	2,320,000	1,060,000 // 1,860,000 //		//

第2 昭和28年10月12日建設省告示、第1,358号東京都市計画下水道事業を次のように変更する。

(1) 排水区域及び面積

東京都市計画下水道に同じ

(2) 下水管渠

排水区域名	名称	起 点	終 点	管径又は断面 (センチメートル)	延長 (メートル)	摘要
芝	千駄ヶ谷	渋谷区千駄ヶ谷 1丁目地内	渋谷区宮下町 地内	断面 278×282.5～ 断面 750×360	2,562	渋谷川幹線に流入
	他14カ所	省		略	607,817	
浦	計				610,379	
三 河 島	尾 久	荒川区尾久町 7丁目地内	荒川区荒川 8丁目地内	管径 110～ 断面 440×264	3,587	尾久、町屋各ポンプ所を経て三河島処理場に至る
	他14カ所	省		略	73,490	
島	計				77,077	
砂 町	小 松 川	江戸川区平井 1丁目地内	江東区亀戸町 7丁目地内	管径 50～ 断面 240×216	1,098	小松川ポンプ所より砂幹線に至る
	他 6 カ所	省		略	523,122	
町	計				524,220	
小 台	浮 間	板橋区舟渡 2丁目地内	板橋区小豆沢 4丁目地内	断面 180×180 ～ 断面 440×440	2,340	志村ポンプ所に流入
	他 7 カ所	省		略	790,196	
台	計				792,536	
落 合	中 新 井	練馬区中村南 2丁目地内	中野区江古田 1丁目地内	断面 300×240 ～ 断面 480×288	2,872	妙正寺川幹線に流入
	他 8 カ所	省		略	1,292,770	
合	計				1,295,642	
森 ヶ 崎	鳥 山	世田谷区鳥山町 地内	世田谷区池尻町 地内	断面 300×240 ～ 断面 800×360	10,585	目黒川幹線に流入
	他17カ所	省		略	2,162,706	
崎	計				2,173,291	
合 計					5,473,145	

(3) 吐 口

排水区域名	位 置	管 径 又 は 断 面 (センチメートル)	摘 要
芝 浦	中央区日本橋浜町2丁目地内	管 径 165	浜町ポンプ所吐口
	他 42 カ所	省 略	
三 河 島	文京区春日町1丁目地内	断 面 330×330	白山幹線雨水吐口
	他 7 カ所	省 略	
砂 町	中央区新佃島東町1丁目地内	断 面 270×162	佃島ポンプ所吐口
	他 9 カ所	省 略	
小 台	板橋区長後1丁目地内	断 面 480×288	志村幹線雨水吐口
	他 73 カ所	省 略	
落 合	中野区江古田1丁目地内	断 面 480×288	中新井幹線雨水吐口
	他 217 カ所	省 略	
森 ケ 崎	大田区新井宿7丁目地内	断 面 480×336	馬込西幹線雨水吐口
	他 89 カ所	省 略	

(4) ポンプ所

主 要 設 備 省 略

排水区域名	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)
芝 浦	浜 町	中央区日本橋浜町2丁目 浜町公園内	0.06	桜 橋	中央区西八丁堀4丁目及び 新富町1丁目地内	0.20
	中 州	中央区日本橋中州地内	0.02	汐 留	中央区銀座8丁目及び 築地5丁目地内	0.20
	箱 崎 町	中央区日本橋箱崎町 4丁目地内	0.01			
三 河 島	湯 島	文京区湯島切通町地内	0.17	汐 入	荒川区南千住10丁目地内	0.09
	日 本 堤	台東区浅草日本堤 2丁目地内	0.32	藍 染	荒川区荒川8丁目 三河島処理場構内	—
	山 谷	台東区浅草橋場3丁目地内	0.06	町 屋	荒川区尾久町9丁目地内	0.39
	橋 場	荒川区南千住3丁目地内	0.06	尾 久	荒川区尾久町9丁目地内	0.56

排水区域名	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)
砂 町	業 平 橋	墨田区吾嬬橋3丁目地内	0.44	千 住 西	足立区千住桜木町地内	0.40
	三 ノ 橋	墨田区豊川4丁目地内	0.47	千 住	足立区千住曙町地内	0.60
	佃 島	中央区新佃島東1丁目地内	0.50	隅 田	墨田区隅田町1丁目地内	0.62
	月 島	中央区新佃島東1丁目地内	0.05	吾 嬌	墨田区吾嬬東5丁目地内	0.62
	越 中 島	江東区深川越中島町地内	0.08	小 松 川	江戸川区平井1丁目地内	0.47
	東 雲	江東区深川8号埋立地地内	0.30	大 島	江東区大島6丁目地内	0.89
	木 場	江東区深川豊住町3丁目地内	0.89	砂 町	江東区南砂町5丁目地内	0.88
小 台	志 村	板橋区小豆沢4丁目地内	0.81	鹿 浜	足立区南堀之内町地内	0.70
	志 茂	北区志茂1丁目地内	0.70	宮 城	足立区宮城町 小台処理場構内	—
	王 子	北区豊島2丁目地内	0.47			
森 ケ 崎	鮫 州	品川区大井鮫洲町地内	0.54	高 畑	大田区西六郷3丁目地内	0.06
	浜 川	品川区大井北浜川町地内	0.16	六 郷	大田区南六郷1丁目及び 2丁目地内	0.71
	平 和 島	大田区平和島地内	0.55	羽 田	大田区羽田旭町地内	0.88
	矢 口	大田区古市町地内	0.50			

(5) 処 理 場

排水区域名	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)	摘 要
芝 浦	芝 浦	港区芝高浜町及び芝海岸通5丁目地内	18.18	主要施設等省略
三 河 島	三 河 島	荒川区荒川8丁目地内	18.49	〃
砂 町	砂 町	江東区南砂町9丁目地内	49.14	〃
小 台	小 台	足立区宮城町地内	9.47	〃
落 合	落 合	新宿区上落合1丁目地内	7.06	〃
森 ケ 崎	森 ケ 崎	大田区森ヶ崎町及び京浜三区埋立地地内	36.36	〃

第3 昭和36年3月29日建設省告示第815号都市計画下水道事業の執行年度割を次のように変更する。

年 次	年 度	第1回(昭和33年3月 建設省告示第983号)		第2回(昭和35年3月 建設省告示第805号)		第3回(昭和36年3月 建設省告示第815号)		第4回(昭和37年3月 建設省告示第1,092号)	
		事業費	歩合	事業費	歩合	事業費	歩合	事業費	歩合
1	28	千円 490,760	% 5.5	千円 490,760	% 2.5	千円 490,760	% 1.7	千円 490,760	% 0.2
2	29	434,046	4.8	434,046	2.2	434,046	1.5	434,046	0.2
3	30	744,073	8.3	744,073	3.7	744,073	2.5	744,073	0.3
4	31	1,047,411	11.6	1,047,411	5.3	1,047,411	3.6	1,047,411	0.5
5	32	2,226,000	24.7	2,032,984	10.2	2,032,984	6.9	2,032,984	0.9
6	33	3,000,000	33.3	2,909,780	14.6	2,909,780	9.9	2,909,780	1.3
7	34	1,057,710	11.8	4,476,950	22.5	4,171,154	14.2	4,171,154	1.9
8	35			7,774,050	39.0	8,010,000	27.3	7,181,363	3.3
9	36					9,500,000	32.4	10,578,011	4.9
10	37							12,000,000	5.5
11	38							25,000,000	11.5
12	39							27,000,000	12.4
13	40							26,000,000	12.0
14	41							26,000,000	12.0
15	42							24,000,000	11.0
16	43							20,000,000	9.2
17	44							16,000,000	7.3
18	45							12,126,708	5.6
計		9,000,000	100.0	19,910,054	100.0	29,340,208	100.0	217,716,290	100.0

(注) なお、本計画は、東京都区部面積約70%に相当するが、残りの地域に対しても、昭和48年度までに完成すべく計画が進められ、引続き都市計画決定を得るべく準備が進められている。

第4章 下水道事業経過

第1節 下水道事業認可関係

明治37年2月東京市区改正委員会は中島銳治博士を臨時委員に推し、東京市下水道設計調査を委嘱した。博士は鋭意調査に努めた結果40年3月その成果を得、右報告書を委員会に提出した。同委員会はこれを設計、財源及び衛生の3部門に分ち審査した上、41年3月内閣の認可を得、ここに初めて本市改良下水道事業の確立を見るに至つたのである。かくして翌42年市会は工事費半額国庫補助説明方意見書を内務大臣に提出し44年5月に至り内務、大蔵大臣より第1期事業（工費6,130,000円、自44年～48年5ヵ年継続）の認可を得、直ちに下水改良事務所を設置して事業を開始することとなつた。然しその後、降雨量、交通量その他諸般の状勢の変遷から原設計一部変更の要を生じたので、新たに下水道工事顧問会を置き総工費を6,300,000円、継続年限を大正7年度まで延長する計画を樹て、大正2年11月内務、大蔵両大臣の認可を得、第1期下水道改良工事に着手するに至つた。その後約50年間、いくたの工事が行なわれたが、戦後は昭和25年に都区部の大部にわたる東京都市計画下水道を立て、これを基本として事業を執行していたが、昭和37年3月、荒川以東と練馬大部を除く区部約70%について都市計画決定を得（32～45年度）、これにより鋭意工事中である。

第1期下水道改良工事以来の事業の認可関係その他を表示すればつきのとおりである。

事業名	築造認可		都市計画認可		都市計画事業並 執行年割認可		認可 事業費	施行 年度	地域	備考	
	年月日	番号	年月日	番号	年月日	番号					
第1期下水道改良工事	—	—	(市区改正) —明 41. 3. 26	内閣批 第 32号	(市区改正) —明 44. 3. 29	丙 大 2. 11. 同 9. 3. 31 同13. 3. 29	第 318号 — 内務省告示 第 162号	15,000,000	自明44 至大12	第2区の 大部	
下水渠一部 速成工事	—	—	同	同	(市区改正) —大 3. 5.	—	—	2,520,000	自大 5 至同 9	第1区の 一部	
第2期下水道改良工事	—	—	同	同	大 9. 12. 8	—	—	20,000,000	自大 9 至同12	第1区の 一部	
帝都復興下水道改良工事	—	—	大 13. 12. 29	内務省告示 第 795号	大13. 4. 1 同13. 10. 27 同13. 12. 29 同 5. 3. 29 同 6. 3. 31	内務省告示 第 172号 第 677号 第 63号 第 71号	昭 4. 3. 29 同 5. 3. 29 同 6. 3. 31	40,211,321	自大12 至昭 6	震災焼失 下町一帯	
継続都市計画 速成工事	昭 5. 9. 13	内務省東衛 第 1,402号	同	同	大14. 8. 11 昭 3. 9. 20 同 5. 8. 13 同 9. 4. 20	内務省告示 第 140号 第 153号 第 159号 第 217号	—	5,740,695	自大14 至昭 9	神田、日 本橋、京 橋、本所 深川各区 を除く市 内各方面	千川改修 のみ築造 認可を受 く
管渠移転工事	—	—	—	—	—	—	—	2,454,911	自大14 至昭 9	第2区の 大部	

事業名	築造認可		都市計画認可		都市計画事業並執行年割認可		認可事業費	施行年度	地域	備考
	年月日	番号	年月日	番号	年月日	番号				
下水道応急 整理工事	—	—	—	—	—	—	1,600,000	自大15 至昭4	区割整理 に伴う既 設下水管 の整理	
失業救済工事 昭和2年度	昭	—	大 13. 12. 26	内務省告示 第 795号	—	—	355,108	昭 2		
失業救済工事 昭和3年度	昭 4. 3. 27	内務省東衛 第 134号	同	同	—	—	461,624	昭 3	山の手 方面	
失業救済工事 昭和4年度	昭 4. 11. 15	内務省東衛 第 1,087号	同	昭 5. 1. 30	内務省告示 第 20号	—	1,932,460	昭 4		
昭和5年度 速成工事	5. 11. 25	内務省東衛 第 593号	同	同	大 14. 8. 11 昭 5. 8. 13	内務省告示 第 140号 第 159号	3,000,000	自昭 5 至同 7	市内31箇 所	
第2改良 速成工事	6. 3. 21 8. 3. 31	内務省東衛 第 2号 第 1,191号	同	同	大 4. 8. 11 昭 5. 12. 29 同 8. 4. 11	内務省告示 第 140号 第 257号 第 76号	8,250,000	自昭 5 至同 8	市内70箇 所	
失業救済工事 昭和6年度 (冬期)	7. 3. 23	内務省東衛 第 83号	同	同	大 14. 8. 11 昭 7. 4. 11	内務省告示 第 140号 第 76号	500,000	自昭 6 至同 7	市内14箇 所	
失業救済工事 昭和7年度 (夏期)	7. 12. 23	内務省東衛 第 1,112号	同	同	大 14. 8. 11 昭 8. 3. 27	内務省告示 第 140号 第 81号	476,184	自昭 7 至同 8	市内12箇 所	当初 36,500, 000 の処 2,000, 000
継続都市計画 完成(第1期) 工事	9. 3. 31 11. 3. 31	内務省東衛 第 1,119号 内務省東衛 第 1,536号	同	同	昭 8. 8. 12 同 10. 4. 16 同 17. 4. 23	内務省告示 第 251号 第 265号 第 227号	38,500,000	自昭 7 至同 19	市内未完 成部分	追加認可 を得
大崎町下水道 事業(第1期)	13. 3. 26	内務省東衛 第 27号	—	—	—	—	794,723	自大13 至昭 6	日大崎町 の中央部	
大崎町下水道 事業(第2期)	昭 5. 9. 9 11. 6. 23	内務省東衛 第 959号 内務省東衛 第 92号	昭 8. 12. 24 9. 4. 20 10. 4. 19	内務省告示 第 327号 第 218号 第 280号	昭 3. 12. 24 同 9. 4. 20	内務省告示 第 327号 第 218号 第 208号	798,000	自昭 5 至同 10	上 残部区域	
高田町 下水道事業	6. 5. 23	内務省東衛 第 1,562号	5. 12. 29	内務省告示 第 250号	昭 5. 12. 29 同 11. 4. 24 同 14. 4. 21	内務省告示 第 250号 第 276号 第 235号 第 284号	2,118,000	自昭 5 至同 21	日高田町 域	
西巣鴨町 下水道事業	8. 3. 31	内務省東衛 第 1,136号	8. 2. 23	内務省告示 第 37号	昭 7. 2. 23 同 17. 4. 23	内務省告示 第 37号 第 229号	2,910,000	自昭 6 至同 21	日西巣鴨 町 全域	
巣鴨町 下水道事業	5. 3. 18	内務省東衛 第 451号	5. 1. 30 9. 4. 20 10. 4. 16	内務省告示 第 18号 第 218号 第 281号	昭 5. 1. 30 同 9. 4. 20 同 10. 4. 16	内務省告示 第 18号 第 218号 第 281号	1,273,282	自昭 4 至同 10	日巣鴨町 域	
王子町 下水道事業	4. 3. 25	内務省東衛 第 123号	3. 12. 24 5. 12. 23	内務省告示 第 326号 第 244号	昭 3. 12. 24 同 5. 12. 23 同 18. 5. 10	内務省告示 第 326号 第 244号 第 284号	3,135,207	自昭 3 至同 21	日王子町 大 部	
尾久町下水道 事業(第1期)	3. 1. 31	内務省東衛 第 777号	—	—	—	—	1,077,145	自昭 2 至同 7	日尾久町 中 央 部	

事業名	築造認可		都市計画認可		都市計画事業並執行年割認可		認可事業費	施行年度	地域	備考	
	年月日	番号	年月日	番号	年月日	番号					
尾久町下水道事業(第2期)	昭7.7.5	内務省6東衛第55号	昭7.4.11	内務省告示第77号	昭7.4.11 同12.4.9 同14.4.24 同14.4.18	内務省告示第77号 第225号 第234号 第261号	1,510,650	自昭7至同15	同上残部		
南千住町, 日暮里町, 三河島町下水道事業	昭6.5.30	内務省5東衛第1,457号	同5.12.29	内務省告示第253号	昭5.12.29 同11.4.27 同14.2.24 同18.5.10	内務省告示第253号 第275号 第235号 第284号	5,380,000	自昭6至同21	日南千住 日暮里 日三河島 各町の一部	東部下水道町村組合改良下水道事業	
大久保町下水道事業(第1期)	昭3.10.31	内務省東衛第18号	—	—	—	—	478,046	自昭3至同6	日大久保町の一部		
大久保町下水道事業(第2期)	昭7.9.30	内務省東衛第1,007号	同7.10.4	内務省告示第241号	昭9.1.10 同17.4.23	内務省告示第5号 第230号	1,026,000	自昭8至同21	同上残部		
滝野川町下水道事業	昭8.12.19	内務省東衛第1,249号	同7.10.4	内務省告示第242号	昭9.1.10 同11.4.23	内務省告示第5号 第232号	3,494,000	自昭8至同21	日滝野川町の一部	都市計画事業は合併して年割決定	
郊外下水道事業砂町系統の一部吾嬬排水区	昭11.3.31	内務省10東衛第2号	同5.3.29	内務省告示第65号	昭10.4.16 同15.4.18 同16.4.23 同18.5.10	内務省告示第271号 第261号 第231号 第284号	3,000,000	自昭11至同21	向島区の内 寺島町, 吾嬬町の一部	都市計画経済費へ3,890,000	
千住町下水道事業(第1期)	大11.2.2	内務省9東衛第945号	—	—	—	—	589,953	自大10至同15	日千住町の中央部		
千住町下水道事業(第2期)	昭2.12.8	内務省東衛第903号	同2.3.28	内務省告示第296号	昭2.3.28 同7.2.23 同7.4.4	内務省告示第296号 第39号 第66号	930,000	自昭2至同7	上荒川以東の残部	臨時部として引続後残部施行	
都市計画下水道			同25.7.10	建設省告示第740号		建設省告示第1,358号	9,000,000	自昭28,000至同31		千代田区他20区の中既定区域の50%と新区域の急施を要する箇所を選定	
			(変更)28.10.12	建設省告示第1,358号		(変更)建設省告示第983号		自昭28至同34			
			同37.3.31	建設省告示第1,092号		昭35.3.31 第805号		自昭28至同35			
						昭36.3.29 第815号		自昭28至同36			
自至下昭和32年昭和41年水道	昭34.3.11	建33東計第47号				昭37.3.31 第1,092号	217,716,000	自昭28至同45	新荒川以西	練馬の大部, 板橋区の一部を除く	
							000,000	至同45			
	昭34.3.23	厚東衛第570号					36,600,000	自昭32,000至同41		昭和32年既定区域を100%新区域を45.5%施行に変更	

第2節 施行済の事業

東京都市計画 東京市下水道

事業別	予算額	竣工額	竣工延長	施工年度	摘要
	円	円	m		
第1期下水道改良工事	15,000,000	14,618,123	135,818	自明治44年至大正12年	浅草区、下谷区の大部、本郷区、神田区の一部並びに田町和泉町ポンプ所及び三河島下水処理場竣工
下水渠一部速成工事	2,520,000	2,497,989	14,876	自大正5年至同9年	山の手及び下谷方面芝区内雨水汎濫箇所に対し施工
第2期下水道改良工事	20,000,000	4,311,283	35,115	自大正9年至同12年	麹町区、日本橋、京橋区の一部並びに錢瓶町ポンプ所の一部施行、震災の為打切
帝都復興下水道改良工事	40,211,321	39,603,453	280,057	自大正12年至昭和6年	焼失区域一帯並びに芝浦、錢瓶町木場、業平、三ノ橋各ポンプ所、砂町下水処理場
管渠移転工事	2,454,911	2,310,518	102,567	自大正14年至昭和5年	震災後区割整理に伴う第1期区域内下水道の移転整理
下水道応急整理工事	1,600,000	948,402	30,465	自大正15年至昭和4年	震災後区割整理に伴う第1期区域内、既設計下水道の整理
失業救済工事(昭和2年度)	355,108	340,415	2,518	自昭和2年至同3年	山の手方面雨水汎濫箇所に対し施工
〃(昭和3年度)	461,624	428,477	4,472	昭和3年	〃
〃(昭和4年度)	1,932,460	1,711,460	17,563	自昭和4年至同5年	全市域に亘り雨水汎濫箇所に施工
昭和5年度速成工事	3,000,000	2,674,854	39,619	自昭和5年至同7年	同並に急施を要すべき箇所に施工
失業救済工事(昭和6年度)	500,000	455,538	12,285	自昭和6年至同7年	〃
〃(昭和7年度)	500,000	461,219	8,516	自昭和7年至同8年	〃
昭和5.6.7年度第2改良速成工事	8,250,000	7,561,665	120,534	自昭和5年至同8年	同並びに芝浦ポンプ所の拡張
継続都市計画速成工事	5,740,695	5,600,286	33,792	自大正14年至昭和9年	全市域並びに急施を要すべき箇所
継続都市計画完成下水道改良工事	38,500,000	27,688,297	336,689	自昭和7年至同19年	同市域内下水道の内ポンプ所下水処理場の完成管渠残部の約5割
計	141,026,119	111,211,979	1,174,886		
下水課以外にて施工	9,905,064	9,905,064	247,700	昭和19年度	復興局・府・市・道路改修施工によるもの工費推計による
全市域合計	150,931,183	121,117,043	1,422,586		

東京都市計画郊外下水道

事業別	予算額	竣工額	竣工延長	施行年度	摘要
大崎町(第1期工事)	746,263	746,263	24,812	自大正13年至昭和6年	市域併合以前旧大崎町地内に施行
同 (第2期工事)	273,369	273,369	20,246	自昭和5年至同7年	〃
大久保町 (第1期工事)	408,763	408,763	10,066	自昭和3年至同6年	市域併合以前旧大久保町地内に施行
〃 (第2期工事)	4,743	4,743	—	昭和7年	〃
高田町	527,407	527,407	10,669	自昭和5年至同7年	市域併合以前旧高田町地内に施行
西巣鴨町	68,829	68,829	514	自昭和6年至同7年	市域併合以前旧西巣鴨町地内に施行
巣鴨町	674,982	674,982	27,998	自昭和3年至同7年	市域併合以前旧巣鴨町地内に施行
王子町	731,194	731,194	10,826	自昭和3年至同7年	市域併合以前旧王子町地内に施行
尾久町(第1期工事)	779,144	779,144	27,731	自昭和2年至同7年	市域併合以前旧尾久町地内に施行
〃 (第2期工事)	10,050	10,050	196	昭和7年	〃
東部下水道町村組合	837,842	837,842	9,034	自昭和6年至同7年	市域併合以前旧日暮里、三河島、南千住町地内に施行
千住町(第1期工事)	507,995	507,995	13,149	自大正10年至同15年	市域併合以前旧千住町地内に施行
〃 (第2期工事)	819,869	819,870	28,019	自昭和2年至同7年	〃
臨時部下水道 千住町工事	27,000	23,355	703	昭和7年	千住町(第2期) 残部市域併合後旧千住町地内に施行
継続郊外下水道 改良工事	15,800,000	15,440,595	285,197	自昭和7年至同19年	新市域内旧町村にて施行中のものを引き継ぎ且市域併合後一部追加施行す
計	22,217,450	21,854,401	469,160		
下水課以外にて施行	2,228,612	2,228,612	56,301	昭和19年度	府、市道路に伴い施行せるものの工費は推計による
新市域合計	24,446,062	24,083,013	525,461		
総計	175,377,245	145,200,056	1,948,047		

備考 継続都市計画完成下水道改良工事及び継続郊外下水道改良工事は、戦時に際し昭和19年度限り国庫補助中止となつたため同年度限り工事打切とした。

終 戰 後 施 行

事 業 名	予 算 額	決 算 額	竣工延長	施行年度	備 考
下水道復旧	円 15,795,000	円 15,795,000	m —	昭和 年度 20—23	戦災箇所及び戦時未補修の まま機能低下または停止を みた箇所を復旧
計	15,795,000	15,795,000	—	—	23年度で完了
下水道復旧	6,615,000	5,106,000	2,262	21	区画整理地区内の下水管移 設及び新管を敷設する
〃	900,000	900,000	569	22	〃
管渠移設	8,550,000	8,500,000	2,090	23	〃 (事業名変更)
〃	15,500,000	15,500,000	2,614	24	〃
〃	29,500,000	25,402,460	8,286	25	〃
〃	40,000,000	39,129,844	9,649	26	〃
〃	56,000,000	55,245,816	11,649	27	〃
〃	60,000,000	58,017,088	11,805	28	〃
〃	57,000,000	51,828,572	10,415	29	〃
〃	85,000,000	79,776,048	16,243	30	〃
〃	139,195,995	122,992,105	23,125	31	〃
〃	95,000,000	88,456,072	12,832.2	32	〃
計	593,260,995	550,854,005	111,559.2		
下水道増補改良	82,500,000	21,473,830		21—25	既存設備の改良増補
計	82,500,000	21,473,830			
下水道拡張	増補改良事業費に 含む				
同上	20,000,000	11,645,000	209	23	下水道施設を拡張する
〃	30,000,000	18,923,856	1,883	24	〃
〃	20,000,000	10,226,413	1,146	24	〃
〃	206,000,000	55,134,095	4,364	25	〃
〃	309,000,000	159,962,267	14,296	26	〃
〃	479,323,469 (144,391,984)	257,601,869	17,992	27	〃
〃	721,721,600 (221,721,600)	490,760,207	15,267	28	〃
〃	830,961,393 (230,961,393)	434,046,434	22,075	29	〃
〃	749,898,877 (149,898,877)	413,675,924	26,373.6	30	〃
〃	1,633,000,000	1,047,411,361	74,588	31	〃
〃	2,226,000,000	2,032,984,363	82,103.5	32	〃
〃	3,179,200,000 (179,200,000)	2,909,780,265	74,745.7	33	〃
〃	4,731,000,000 (231,000,000)	4,171,154,459	77,109.87	34	〃
〃	8,010,000,000 (410,000,000)	7,181,363,259	83,872.76	35	〃
〃	10,580,200,506 (538,010,506)	9,665,336,043	77,860.00	36	〃
計	33,726,305,845	2,886,100,582	573,885.43		

第5章 営業

第1節 営業一般

昭和27年10月、地方公営企業法が施行され、都条例第82号により同法を下水道事業に全部適用し、企業会計制度を確立し、これを機に上下水道営業事務が一元化され、上下水道料金一体の徴収が行なわれてきた。

従つて、昭和36年度における下水道関係の営業事務は、水道局営業部の指導調整のもとに支所・営業所において行なわれたものである。

第2節 下水道使用件数

都は、戦後の急激な人口の増大そして産業の集中化に伴う都市環境衛生の整備拡充を計るため、重点施策として推進してきた下水道建設事業により、処理区域及び排水区域の拡大によって下水道使用件数の増加をみている。

なお、総使用件数の用途別内訳は、つぎのとおりである。

水道汚水			
昭和37年3月末			
地区		甲地区	乙地区
徴 収 件 数	総 数	415,433 件	92,808 件
	一般用	387,927	85,020
	営業用	20,879	2,811
	浴場営業用	654	138
	共 用	5,973	4,839

井戸汚水			
昭和37年3月末			
地区		甲地区	乙地区
徴 収 件 数	総 数	11,578 件	2,001 件
	手動井	専用	212
	手動井	併用	1,004
	動力井	浴場営業用	6,052
	動力井	その他	1,203

水洗便器

種別	個数
大便器	491,522 個
小便器	173,197 個

最近7カ年の水道汚水収件数

年 度	業種	一般用		浴場 営業用		共用		計	
		件	件	件	件	件	件	件数	指 数
甲	30年度末	286,208	18,701	569	10,355	315,833	100		
	31 //	307,588	19,166	597	9,530	336,881	106		
	32 //	327,076	19,218	623	8,689	355,606	112		
	33 //	343,158	20,080	638	7,773	371,649	117		
	34 //	359,243	20,588	643	7,025	387,499	122		
	35 //	372,171	20,677	642	6,162	399,652	126		
乙	36 //	387,927	20,879	654	5,973	415,433	131		
	30年度末	62,376	2,116	137	9,678	74,307	100		
	31 //	62,428	2,055	137	8,910	73,530	98		
	32 //	63,865	2,113	133	8,097	74,208	99		
	33 //	67,096	2,231	129	7,507	76,963	103		
	34 //	71,875	2,494	136	6,496	81,001	109		
地 区	35 //	78,498	2,687	137	5,784	87,106	117		
	36 //	85,020	2,811	138	4,839	92,808	124		

最近7カ年の井戸汚水使用件数

年 度	業種	甲 地 区				乙 地 区				湧井	
		手 動		動 力		手 動		動 力			
		専 用	併 用	浴 場 用	そ の 他	専 用	併 用	浴 場 用	そ の 他		
30年 度末		件 1,257	件 5,967	件 341	件 1,630	件 15	件 128	件 904	件 85	件 216	件 0
31 //		1,294	6,069	378	1,945	18	134	924	111	297	2
32 //		1,325	6,156	396	2,395	19	130	928	118	387	2
33 //		1,308	6,167	429	2,633	25	138	927	124	455	2
34 //		1,302	6,221	448	3,136	28	218	1,008	128	501	0
35 //		1,117	6,094	464	3,573	46	200	1,024	127	596	0
36 //		1,004	6,052	473	3,975	74	212	1,003	120	666	0

支 所 別 徴 収 件 数 調

(37年3月末)

種別 支 所	甲 地 区				乙 地 区	
	徴収現在数	井戸件数	便 器		徴収現在数	井戸件数
			大便器	小便器		
全 支 所	415,433	11,578	491,522	173,197	92,808	2,001
中 央	126,600	2,790	189,211	86,767	811	40
中 鎌 倉 大 木 河 岸 戸	42,551 58,825 25,224	892 684 1,214	53,230 103,906 32,075	18,727 57,452 10,588	526 — 285	24 — 16
東部第一	53,307	237	59,185	17,048	2,770	18
東部第一 千 才 町 江 戸 川	907 52,400 —	4 233 —	729 58,456 —	175 16,873 —	2,662 108 —	18 — —
東部第二	37,772	320	32,656	5,806	36,465	273
東部第二 足 葛 立 篠	37,772 — —	320 — —	32,656 — —	5,806 — —	15,128 21,337 —	123 150 —
西 部	17,482	1,377	17,344	6,315	8,272	183
西 中 杉 部 野 並	17,482 — —	1,377 — —	17,344 — —	6,315 — —	3,575 3,775 922	95 65 23
南部第一	819	110	737	296	10,583	380
南部第一 南 莊 雪 蒲 原 谷 田	— 819 — —	— 110 — —	— 737 — —	— 296 — —	— 10,583 — —	— 380 — —
南部第二	2,424	91	2,664	800	4,310	19
南部第二 南 目 波 黑 谷	— 761 1,663	— 25 66	— 816 1,848	— 280 520	— 45 4,265	— — 19
北部第一	165,006	6,086	179,059	53,497	5,357	334
北部第一 神 樂 河 岸 三 筋 町	35,316 72,258 57,432	2,653 2,257 1,176	30,324 75,319 73,416	8,097 22,555 22,845	5,301 56 —	331 3 —
北部第二	12,023	567	10,666	2,668	24,240	754
北部第二	201	8	171	40	399	131
王 子	11,822	559	10,495	2,628	23,841	623

行政區別徵收件數調

(37年3月末)

種別 区	甲 地 区				乙 地 区	
	徵收現在數	井戸汚水	便 器		徵收現在數	井戸件數
全 区	415,433	11,578	大便器	小便器	92,808	2,001
千 代 田	24,324	372	45,159	25,440	—	—
中 央	34,501	312	58,747	32,012	—	—
一 港	54,464	1,314	68,966	24,004	811	40
新 宿	54,122	2,776	57,676	17,935	3,580	95
文 京	48,929	1,650	51,326	16,246	51	3
台 東	57,432	1,176	73,416	22,845	—	—
墨 田	27,498	152	32,641	10,213	2,497	18
江 東	25,809	85	26,544	6,835	273	—
品 川	819	110	737	296	10,583	380
目 黒	761	25	816	280	45	—
大 田	—	—	—	—	—	—
世 谷	—	—	—	—	—	—
渋 谷	1,663	66	1,848	520	4,265	19
中 野	—	—	—	—	3,775	65
杉 並	—	—	—	—	922	23
豊 島	35,316	2,655	30,324	8,097	5,301	331
北 川	11,822	559	10,495	2,628	23,841	623
荒 川	37,772	320	32,656	5,806	15,128	123
板 橋	201	8	171	40	399	131
練 馬	—	—	—	—	—	—
足 立	—	—	—	—	21,337	150
葛 飾	—	—	—	—	—	—
江 戸 川	—	—	—	—	—	—

第3節 下水道使用水量

55

生活水準の向上による電気洗濯機、水洗便所の普及や、産業・人口の集中、高層ビルの激増及び冷暖房装置の普及などから、水の使用量は年々増大しつゝある。

36年度水道汚水の比較はつぎのとおりである。

36年度業種別使用水量表（水道汚水）

（甲 地 区）

業種	一般用			営業用			浴場営業用			共用			計		
	使用水量	件数	1件当たり使用量	使用水量	件数	1件当たり使用量	使用水量	件数	1件当たり使用量	使用水量	件数	1件当たり使用量	使用水量	件数	1件当たり使用量
月別	m ³	件	m ³	m ³	件	m ³	m ³	件	m ³	件	m ³	m ³	件	m ³	
総計	186,191,291	4,650,069	40.0	36,485,630	248,405	146.8	7,656,850	7,816	979.6	660,875	66,877	9.8	230,994,646	4,973,167	46.4
4月	13,361,164	379,825	35.1	2,471,644	19,953	123.8	634,153	641	989.3	38,191	4,847	7.8	16,505,152	405,266	40.7
5月	14,329,274	376,305	38.0	2,734,764	21,180	129.1	620,924	671	925.3	59,607	6,653	8.9	17,744,569	404,809	43.8
6月	15,299,398	388,015	39.4	2,806,817	20,140	139.3	650,112	652	997.1	45,404	4,779	9.5	18,801,731	413,586	45.4
7月	16,191,158	385,159	42.0	3,204,220	21,483	149.1	656,673	659	996.4	63,725	6,695	9.5	20,115,776	413,996	48.5
8月	17,513,350	387,413	45.2	3,499,366	19,667	177.9	725,353	657	1,104.0	50,125	4,500	11.1	21,788,194	412,237	52.8
9月	18,253,459	387,627	47.0	3,934,220	21,626	181.9	726,573	650	1,117.8	78,649	6,427	12.2	22,992,901	416,330	55.2
10月	18,081,839	386,076	46.8	3,693,609	19,729	187.2	727,162	654	1,111.8	61,267	4,449	13.7	22,563,877	410,908	54.9
11月	16,523,703	388,940	42.4	3,313,796	21,510	154.0	616,371	668	922.7	64,218	6,667	9.6	20,518,088	417,785	49.1
12月	15,366,559	396,441	38.7	2,946,011	20,041	146.9	629,627	651	967.1	48,799	4,553	10.7	18,990,996	421,686	45.0
1月	14,507,269	390,351	37.1	2,928,005	21,492	136.2	622,716	636	979.1	58,801	6,561	8.9	18,116,791	419,040	43.2
2月	13,000,106	392,346	33.1	2,522,197	19,960	126.3	524,078	634	826.6	45,337	4,278	10.5	16,091,718	417,218	38.5
3月	13,764,012	391,571	35.1	2,430,981	21,624	112.4	523,108	643	813.5	46,752	6,468	7.2	16,764,853	420,305	39.8

36年度業種別使用水量表 (水道汚水)

(乙) 地区

業種 月別	一般用			営業用			浴場営業用			共用			計		
	使用水量	件数	1件当たり使用量	使用水量	件数	1件当たり使用量	使用水量	件数	1件当たり使用量	使用水量	件数	1件当たり使用量	使用水量	件数	1件当たり使用量
	m ³	件	m ³	m ³	件	m ³	m ³	件	m ³	m ³	件	m ³	m ³	件	m ³
総計	25,653,785	973,132	26.3	2,087,171	33,307	62.6	930,177	1,569	592.8	541,058	59,495	9.0	29,212,191	11,067,503	27.3
4月	1,577,290	69,812	22.5	113,747	2,254	50.4	71,165	133	535.0	29,717	3,941	7.5	1,791,919	76,140	23.5
5月	2,209,767	83,841	26.3	168,008	3,019	55.6	72,040	135	533.6	58,674	6,517	9.0	2,508,489	93,512	26.8
6月	1,810,870	70,205	25.7	131,097	2,269	57.7	77,080	130	592.9	34,586	3,869	8.9	2,053,633	76,473	26.8
7月	2,626,097	84,352	31.1	204,782	3,152	64.9	81,051	130	623.5	62,941	6,364	9.8	2,974,881	93,998	31.6
8月	2,026,516	73,524	27.5	171,053	2,397	71.3	83,231	123	676.6	39,106	3,985	9.8	2,319,906	80,029	28.9
9月	2,768,436	85,839	32.2	247,906	3,139	78.9	85,929	123	698.6	69,847	6,225	11.2	3,172,118	95,326	33.2
10月	2,306,084	77,108	29.9	191,845	2,435	78.7	94,350	135	698.8	37,893	3,883	9.7	2,630,172	83,561	31.4
11月	2,457,976	87,079	28.2	210,534	3,249	64.7	85,796	134	640.2	53,357	5,761	9.2	2,807,663	96,223	29.1
12月	2,001,700	79,456	25.1	151,205	2,427	62.3	64,227	120	535.2	34,144	3,762	9.0	2,251,276	85,765	26.2
1月	2,180,644	88,321	24.6	203,337	3,264	62.2	85,139	137	621.4	53,139	5,759	9.2	2,522,259	97,481	25.8
2月	1,777,893	81,468	21.8	133,479	2,444	54.6	61,079	128	477.1	29,067	3,722	7.8	2,001,518	87,762	22.8
3月	1,910,512	92,127	20.7	160,178	3,258	49.1	69,080	141	489.9	38,587	5,707	6.7	2,178,357	101,233	21.5

第4節 下水道料金

下水道事業は、昭和27年10月地方公営企業法適用以来、水道事業とともに企業の経済性を發揮するとともに、その本来の目的である公共の福祉を増進するよう運営に努力してきた。その経理も、企業特別会計により、事業の経営に伴う収入をもつて充てるようになつてゐる。

したがつて、下水道料金は、下水道事業の基本的収入であつて、その料金を決定するにあたつては地方公営企業法の料金決定原則はもちろんのこと、下水道法にかかげられる料金原則がある。(1)使用者の様に応じて妥当なものであること。(2)適正な原価であること。(3)定率又は定額をもつて明確に定めること。(4)特定の使用者に対し、不当な差別的取扱をすべきでないこと、という趣旨により適正に算定されたものである。

なお、これらの原則によつた下水道料金は、戦後の経済状況に従つて、めまぐるしく改正されてきたが、昭和36年度においては、31年1月制定の料金を、36年6月30日開会の第2回東京都議会定例会に提案された上下水道料金等の改正に関する条例改正案により、7月12日に一部修正の上可決され8月分より実施した。

この際、水道料金の合理的体系を確立するため、学識経験者を加えた水道料金及び下水道料金制度調査会を設置して、業態別料金の不均衡を是正すること等の付帯決議がされたのである。

現行下水道料金は、次のとおりである。

下水道料金表

A 甲地区（し尿を下水道に流せる地区）

水道汚水		水道料金の	3/10
井戸	浴場営業用	排出量1方立米につき	4円50銭
汚水	その他	〃	5円
水洗	大便器	1個1月につき	20円
便器	小便器	〃	20円

B 乙地区（甲地区以外の下水道地区）

水道汚水		水道料金の	2/10
井戸	浴場営業用	排出量1立方米につき	3円
汚水	その他	〃	3円30銭

第5節 料金徴収

料金の徴収制度の適否は、使用者に対しても、また事業の経営にも重大な影響をおよぼすものであるので、上下水道料金の徴収にあたつては、常に同時徴収による制度をとつてきた。

従つて、納額告知書又は集金制度による毎月又は隔月徴収制度は水道料金と全く同様である。

昭和36年度の下水道料金の収入状況はつぎのとおりである。

支所別下水道料金調定収入調

(昭和36年度)

種別 支 所	調 定			収 入	未 収 入
	前年度未収繰越	昭和36年度分	計		
全 支 所	円 12,536,118	円 1,787,933,363	円 1,800,469,481	円 1,774,543,549	円 25,925,932
中 央	9,375,820	814,174,277	823,550,097	808,297,569	15,252,528
中 鎌 倉 河 岸 大 木 戸	2,234,538 6,490,185 651,097	177,994,067 536,069,763 100,110,447	180,228,605 542,559,948 100,761,544	175,565,894 532,758,559 99,973,116	4,662,711 9,801,389 788,428
東部第一	1,048,651	181,381,572	182,430,223	179,550,350	2,879,873
東部第一 千 才 町 江 戸 川	35,531 1,013,120	11,100,510 170,281,062	11,136,041 171,294,182	11,008,687 168,541,663	127,354 2,752,519
東部第二	575,304	118,892,417	119,467,721	115,402,502	4,065,219
東部第二 足 葛 立 飾	128,373 446,931	91,015,283 27,877,134	91,143,656 28,324,065	87,870,693 27,531,809	3,272,963 792,256
西 部	85,101	79,107,984	79,193,085	78,951,249	241,836
西 中 部 野 並 杉	81,935 3,166	75,438,489 3,052,264	75,520,424 3,055,430	75,286,702 3,047,508	233,722 7,922
南 部 第 一	64,988	29,981,713	30,046,701	29,893,884	152,817
南 部 第 一 南 莊 雪 蒲 原 谷 田	64,988 — —	29,981,713 — —	30,046,701 — —	29,893,884 — —	152,817 — —
南 部 第 二	21,315	14,333,468	14,354,783	14,282,606	72,177
南 部 第 二 南 目 淡 黒 谷	— 21,315	— 2,784,492 11,548,976	— 2,784,492 11,570,291	— 2,772,376 11,510,230	— 12,116 60,061
北 部 第 一	1,320,257	504,132,363	505,452,620	502,273,063	3,179,557
北 部 第 一 神 楽 河 岸 三 筋 町	99,572 97,665 1,123,020	104,445,808 212,345,580 187,340,975	104,545,380 212,443,245 188,463,995	103,995,362 212,006,318 186,271,383	550,018 436,927 2,192,612
北 部 第 二	44,682	45,929,569	45,974,251	45,892,326	81,925
北 部 第 二	75	602,835	602,910	602,122	788
王 子	44,607	45,326,734	45,371,341	45,290,204	81,137
前 年 同 期	6,804,642	143,839,685	1,443,644,327	1,430,991,946	12,652,381
比 較 増 減	5,731,476	351,093,678	356,825,154	343,551,603	13,273,551

第5節 排水設備

近代的な文化都市を建設するための要素はいろいろあるが、何といつても完全な下水道を施設し、衛生的で快適な環境をつくることが第一である。それに、生活環境が清潔になれば、必然蚊・ハエ・寄生虫等の発生を防ぎ、その他の悪疫の流行も予防できる。

本都においては、大正13年はじめて排水設備の設置をみて以来、下水道施設の実施と相まって、排水設備の普及は漸次進み、昭和15年には施設面積 1,893.2 ヘクタール、施設済戸数 200,961 戸、使用大便器数 95,582 個に及んだが、第二次大戦の激化に伴ない本都における排水設備の施設数は急激に減じた。その状態が昭和18年・19年に最もひどく、20年には極少を示した。昭和21年に入り僅かであるが排水設備の施設数が増加はじめた。戦災による排水設備の被害は相当ひどく、昭和20年の終戦当時は、戦災前の排水設備施設済の最高戸数の約 5 割の減少であつたため、その復旧にはかなりの日時を要した。

しかし、戦災復興計画に沿つて下水道の応急復旧工事、増補改良工事が実施されたので、排水設備施設の成績は着々と上昇し、昭和23年には一応、戦前の排水設備済最高数なみの回復がみられた。

昭和24年には 5 カ年水洗便所助成改造事業（昭和24年～28年）を計画し、甲地区告示区域内のくみ取り便所 110,000 個を水洗化する目標で、水洗便所助成規則（昭和24年 8 月）を制定し、助成金（大便器 1 個当たり改造費の一部 4,350 円）を交付し実施したが、昭和28年度末には目標を上廻る成績をおさめて完了し、その後もひき続き実施中である。

水洗便所助成状況表

年 度	改 造 計 画	施 行 済
昭和 24 年 度	個 10,000	個 10,955
〃 25 〃	25,000	37,644
〃 26 〃	25,000	20,995
〃 27 〃	25,000	24,340
〃 28 〃	25,000	24,992
小 計	110,000	118,926
昭和 29 年 度	個 15,000	個 10,400
〃 30 〃	15,000	9,032
〃 31 〃	10,000	9,997 (内 1 個は全額助成)
〃 32 〃	11,389	9,821 (〃)
〃 33 〃	12,000	7,535 (〃)
〃 34 〃	10,000	9,977
〃 35 〃	12,000	7,165 (内 18 個は全額助成)
〃 36 〃	9,000	5,761
合 計	204,389	188,614

なお、助成金額は昭和34年 4 月より 5,500 円に増額し、告示区域内（甲地区）のくみ取り便所の解消をはかつている。

水洗便所助成金額表

年 度	金	額
昭和 24 年 9 月	大便器 1 個 当り	円 4,350
〃 29 年 4 月	〃	2,000
〃 30 年 10 月	〃	3,000
〃 34 年 4 月	〃	5,500

年度別告示面積・水洗便器設置数

年 度	種 別	告 示 面 積	水 洗 便 器 數	
			大 便 器	小 便 器
		ヘクタール	個	個
20		5,428.35	31,719	23,518
21		5,433.70	38,831	26,320
22		5,433.70	45,928	30,822
23		5,446.20	53,560	35,384
24		5,477.90	77,894	39,900
25		5,643.30	129,275	48,805
26		5,688.10	157,530	54,212
27		6,196.72	216,789	89,184
28		6,696.14	256,726	101,364
29		7,233.26	294,362	112,799
30		8,307.15	323,489	121,549
31		9,699.30	366,610	136,456
32		10,104.39	394,966	145,878
33		10,456.38	413,686	152,232
34		10,900.85	440,264	159,868
35		11,267.36	466,734	167,103
36		11,547.39	491,522	173,197

区別告示面積・水洗便器設置数

昭和36年度末

種別 区別	告示面積	水洗便器數	
		大便器	小便器
千代田	840.02	45,159	25,440
中央	733.11	58,749	32,012
港	1,594.05	68,966	24,004
新宿	1,156.07	57,676	17,935
文京	1,080.97	51,326	16,246
台東	850.65	73,416	22,845
墨田	741.54	32,641	10,213
江東	717.42	26,544	6,835
品川	332.43	737	296
目黒	10.66	816	280
大田	2.79	—	—
世田谷	—	—	—
渋谷	168.58	1,848	520
中野	99.11	—	—
杉並	21.86	—	—
豊島	971.01	30,324	8,097
北川	954.07	10,495	2,628
荒川	862.92	32,656	5,806
板橋	21.44	171	40
練馬	—	—	—
足立	388.69	—	—
葛飾	—	—	—
江戸川	—	—	—
計	11,547.39	491,522	173,197

第6章 設備

第1節 管渠

(1) 下水管渠施設状況

年 度 別	管渠種別					人孔個	污水井個
	總數(m)	暗渠(m)			開渠(m)		
		總數	幹線	枝線			
昭和21年度	1,950,311	1,938,959	122,687	1,816,272	11,352	49,683	168,021
22	1,950,860	1,939,508	122,687	1,816,821	11,352	49,701	168,461
23	1,959,953	1,948,601	122,687	1,825,914	11,352	49,952	169,843
24	1,970,862	1,959,510	124,459	1,835,051	11,352	50,201	172,145
25	1,984,230	1,972,878	124,930	1,847,948	11,352	50,592	173,502
26	2,010,810	1,999,458	125,862	1,873,596	11,352	51,755	176,860
27	2,047,108	2,035,756	127,323	1,908,433	11,352	52,966	181,647
28	2,083,088	2,071,736	129,096	1,942,640	11,352	54,207	187,445
29	2,120,682	2,109,330	130,901	1,979,429	11,352	55,253	192,900
30	2,195,329	2,183,977	130,994	2,052,983	11,352	57,733	203,082
31	2,290,369	2,279,017	130,994	2,148,023	11,352	60,952	217,324
32	2,396,948	2,385,596	131,652	2,253,944	11,352	64,374	233,101
33	2,489,519	2,478,167	135,242	2,342,925	11,352	67,175	244,195
34	2,580,907	2,569,555	137,950	2,431,605	11,352	69,984	258,382
35	2,681,332	2,671,280	145,851	2,525,429	10,052	73,159	274,912

区別管渠施設状況

昭和36年度末

区名	下水道				人孔個	污水井個	告示面積(%)
	總數(m)	暗渠(m)	開渠(m)	人孔個			
計	2,767,882	2,764,478	149,875	2,614,603	3,404	75,971	290,907
千代田	231,420	231,420	22,378	209,042		5,475	21,718
中	241,612	241,612	6,069	235,543		5,599	22,561
新	301,463	301,463	22,921	278,542		7,957	30,559
文	278,979	278,979	10,301	268,678		7,842	30,005
台	245,416	245,416	21,798	223,618		7,415	26,598
墨	299,519	299,519	20,862	278,657		8,287	20,520
江	202,260	202,260	4,203	198,057		5,477	32,329
品	152,163	152,163	7,624	144,539		3,772	15,318
目	80,323	80,323	2,443	77,880		1,624	8,219
大	2,926	2,926		2,926		88	325
渡	735	735		735		17	190
中	47,974	47,974	3,190	44,784		1,512	6,124
杉	23,413	23,413	996	22,417		787	3,793
豐	8,625	8,625	648	7,977		233	1,148
並	205,970	203,566	8,373	195,193	3,404	6,423	24,139
島	158,543	158,543	4,641	153,902		5,144	17,653
北	209,783	209,783	12,484	197,299		6,417	21,861
川	11,152	11,152	944	10,203		277	965
橋	64,364	64,364		64,364		1,623	6,861
立	242	242		242		2	20
戸							
江							

(2) 管種別内訳

種別	大きさ	昭和36年度末		
		延長(m)	割合	
円形管	内径 45cm以下	1,834,270	0.663	
"	" 90 "	572,536	0.207	
"	" 140 "	151,978	0.055	
"	" 141 cm 以上	27,411	0.010	
計		2,586,195	0.935	
馬蹄形渠	巾 150 cm 以下	15,306	0.006	
"	" 300 "	48,134	0.017	
"	" 301 cm 以上	4,778	0.002	
計		68,218	0.025	
矩形渠	巾 150 cm 以下	22,032	0.008	
"	" 300 "	51,056	0.018	
"	" 301 cm 以上	24,386	0.008	
計		97,474	0.034	
開渠	巾 150 cm 以下	3,404	0.001	
"	" 301 cm 以上	4,907	0.002	
卵形渠		7,684	0.003	
伏越渠		0	0	
計		15,995	0.006	
合計		2,767,882	1.000	

第2節 ポンプ所

(1) 錢瓶町ポンプ所

所在地 千代田区大手町2丁目8番地

創設 昭和6年3月

敷地面積 13,332m² (4,040坪)

設置目的 千代田、中央両区の大部ならびに文京、新宿両区の一部の汚水を吸揚して、大手町幹線、中段幹線、錢瓶幹線等により芝浦処理場へ送る。

計画排水面積 汚水 1,440.19ヘクタール

計画人口 242,000人

計画排水量 晴天時 4.259 m³/s (368,000 m³/D)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
入口阻水扉	巾 高 1.25m 1.68m 矩 形	1	月 島 機 械	
"	径 1.22m	1	"	
"	径 0.915m	1	"	
"	径 0.600m	1		
集 水 池	長 巾 深 12.15m 6.10m 7.62m	1		
集水池阻水扉	巾 高 1.88m 2.00m 馬蹄形	2	日 立 製 作 所	
沈 砂 池	長 巾 有効水深 有効容量 21.33m 5.18m 1.88m 207.7 m ³	2		
揚 泥 機	門型移動グラブバケット式	1	桜 田 機 械	
汙 格 機	ドル式S型 機械搬上式 巾 高 目巾 1.88m 2.424m 25mm	4	三 機 工 業	
汚水ポンプ	電動機直結横 軸型両吸込式 渦巻ポンプ 口径 410mm 揚水量 0.28m ³ /S 揚程 9.75m 馬力 60HP	1	日 立 製 作 所	
"	ディーゼル エンジン直結 横軸型両吸込式 式渦巻ポンプ 口径 400mm 揚水量 0.33m ³ /S 揚程 10.2m 馬力 75HP	1	"	
"	電動機直結横 軸型両吸込式 渦巻ポンプ 口径 610mm 揚水量 0.70m ³ /S 揚程 9.75m 馬力 140HP	3	"	
"	" 口径 810mm 揚水量 1.40m ³ /S 揚程 9.55m 馬力 275HP	2	"	
"	" 口径 810mm 揚水量 1.40m ³ /S 揚程 9.8m 馬力 271HP	1	"	
昇 降 機	荷 物 用 能 力 1ton	1	日本エレベータ	
沈砂篩渣搬出機	フラットコンベア式	1	理研金属工業	

(2) 和泉町ポンプ所

- 所 在 地 千代田区神田和泉町1番地
- 創 設 大正11年8月
- 敷 地 面 積 452.1m² (137坪)
- 設 置 目 的 国電山手線、秋葉原駅より御徒町に至る周辺、即ち台東区仲御徒町1, 2, 3丁目及び松永町西ならびに千代田区花岡町等より以西の大部の汚水を吸揚し、浅草幹線により三河島処理場へ送る。

計画排水面積 汚水 47.60ヘクタール

計画人口 11,000人

計画排水量 晴天時 $0.138 \text{ m}^3/\text{s}$ ($11,900 \text{ m}^3/\text{D}$)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
入口阻水扉	径 0.60m	2		
沈砂池	長 8.17m	2		
	巾 4.17m			
	有効水深 1.52m			
渁格	手搔上式 巾 4.1m	1		
	高 2.424m			
	目巾 10mm			
汚水ポンプ	電動機直結 口径 200mm 横軸型片吸 揚水量 0.085 m^3/s 込式渦巻ポンプ 揚程 4.5m 馬力 10HP	1	荏原製作所	
"	" 口径 250mm 揚水量 0.142 m^3/s 揚程 4.5m 馬力 15HP	2	"	

(3) 田町ポンプ所

所 在 地 台東区浅草日本堤2丁目1番地

創 設 大正11年11月

敷地面積 $3,769.88 \text{ m}^2$ (1,142.39坪)

設置目的 豪雨時、台東区の一部、千代田区、文京区の一部より流集する雨水を吸揚し、山谷堀に放流する。

計画排水面積 雨水 259ヘクタール

計画揚水量 雨水量 $16.54 \text{ m}^3/\text{s}$ ($992.4 \text{ m}^3/\text{min}$)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
阻水扉	高 2.425m 矩形 巾 1.515m	3		
沈砂池	長 8.0m 巾 7.8m 深 3.5m	1		
渁格	手搔上式 高 2m 巾 1.82m 目巾 75mm	6		
補助ポンプ	電動機直結 口径 300mm 横軸型両吸 揚水量 0.198 m^3/s 込式渦巻ポンプ 揚程 3.05m 馬力 15HP	1	荏原製作所	
雨水ポンプ	電動機付歯車 掛横軸型両吸 込式渦巻ポンプ 口径 1,140mm 揚水量 2.83 m^3/s 揚程 1.8m 馬力 200HP	6	"	

(4) 山谷ポンプ所

所 在 地 合東区浅草橋場町3丁目2番地
 創 設 昭和29年3月
 敷 地 面 積 542.55m² (164.41坪)
 設 置 目 的 地盤沈下のため、雨水放流不能となつた荒川区南千住2, 3丁目、合東区三の輪町、浅草日本堤4丁目、浅草田中町3丁目、浅草山谷3, 4丁目、浅草清川町3丁目、浅草石浜町2, 3丁目、浅草橋場2, 3丁目方面の雨水を吸揚して荒川に放流する。
 計画排水面積 雨水 45.06ヘクタール
 計画排水量 雨水量 3.510m³/S (210.6m³/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
入口阻水扉	高巾 2m 2.1m 矩形	1	日本燃化機	
沈 砂 池	長巾 11.0m 4.6m 有効水深 1.75m 有効容量 88.6m ³	1		
揚 泥 機	パケット・エレベーター式	1	守土木機械	
渁 格	手撮上式 高巾 3.4m 目巾 1.95m 25mm	1	〃	
雨 水 ポンプ	電動機直結横軸型固定羽根式軸流ポンプ 口径 700mm 揚水量 1.05m ³ /S 揚程 43m 馬力 100HP	1	電 業 社	
〃	〃 口径 900mm 揚水量 1.8m ³ /S 揚程 4.1m 馬力 150HP	1	〃	
〃	ディーゼルエンジン直結横軸型固定羽根式軸流ポンプ 口径 900mm 揚水量 1.8m ³ /S 揚程 4.1m 馬力 170HP	1	〃	

(5) 橋場ポンプ所

所 在 地 荒川区南千住3丁目190番地
 創 設 昭和13年3月
 敷 地 面 積 542.19m² (164.3坪)
 設 置 目 的 荒川区南千住3, 4丁目附近の汚水、雨水を吸揚し、雨水は荒川へ放流し、汚水は南千住幹線により汐入ポンプ所へ送る。
 計画排水面積 汚水 32.17ヘクタール
 雨水 32.17ヘクタール
 計画人口 11,000人
 計画排水量 晴天時 0.090m³/S (7,776m³/D)
 雨水量 3.627m³/S (217.62m³/min)

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
入口阻水扉	高巾	1.50m 1.80m	矩 形	1	雨 水 用
"	高巾	0.70m 0.70m	正 方 形	1	污 水 用
沈 砂 池	長巾	10.0m 4.0m 1.4m 有効水深 有効容量	56m ³	2	
渁 格 機	機械攝上式	高巾 目巾	3.2m 2.4m 41mm	1	雨 水 用
渁 格	手攝上式	高巾 目巾	3.2m 1.2m 25mm	1	污 水 用
汚 水 ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口 径 揚水量 揚程 馬力	175mm 0.060m ³ /S 9.0m 15HP	2	荏 原 製 作 所
雨水ポンプ	電動機直結横軸型可動羽根式軸流ポンプ	口 径 揚水量 揚程 馬力	450mm 0.400m ³ /S 2.8m 27HP	2	"
"	ディーゼルエンジン直結横軸型可動羽根式軸流ポンプ	口 径 揚水量 揚程 馬力	450mm 0.400m ³ /S 2.8m 30HP	1	"

(6) 汐入ポンプ所

所 在 地	荒川区南千住10丁目20番地
創 設	昭和16年5月
敷 地 面 積	915.22m ² (277.34坪)
設 置 目 的	荒川区南千住10丁目附近の汚水、雨水ならびに橋場ポンプ所より送られて来る汚水を吸揚し、雨水は荒川に放流し、汚水は南千住幹線により南千住ポンプ所へ送る。
計画排水面積	汚水 80.87ヘクタール 雨水 48.70ヘクタール
計画人口	27,000人
計画排水量	晴天時 0.191m ³ /S (16,500m ³ /D) 雨水量 4.829m ³ /S (289.74m ³ /min)

種 別	形 状	其 他	數 量	製 作 所 名	備 考
入 口 阻 水 屏	高巾	1.20m 1.60m	矩 形	1	ゼネラル商会
〃	高巾	0.50m 0.50m	正 方 形	1	〃
沈 砂 池	長巾	14.00m 2.50m		2	
	有効水深	0.82m			
	有効容量	28.7 m ³			
汙 格 機	機械撮上式	高巾 2.9m 2.2m 41mm		1	雨 水 用
汙 格	手撮上式	高巾 2.9m 1m 25mm		1	汚 水 用
汚 水 ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口 径 250mm 揚水量 0.15m ³ /S 揚程 7m 馬 力 25HP		2	佳原製作所
雨 水 ポンプ	電動機直結横軸型固定羽根式軸流ポンプ	口 径 500mm 揚水量 0.50m ³ /S 揚程 3.5m 馬 力 40HP		2	西島製作所

(7) 南千住ポンプ所

所 在 地	荒川区南千住8丁目89番地
創 設	昭和9年3月
敷 地 面 積	1,610.4m ² (488坪)
設 置 目 的	荒川区南千住5, 6, 8丁目一帯の汚水および雨水と汎入ポンプ所より送られて来る汚水を吸揚し、雨水は荒川に放流し、汚水は南千住幹線により三河島処理場へ送る。
計画排水面積	汚水 156.48ヘクタール 雨水 58.00ヘクタール
計画人口	46,000人
計画排水量	晴天時 0.299m ³ /S (25,800m ³ /D) 雨量水 1.982m ³ /S (118.92m ³ /min)

種 別	形 状	其 他	數 量	製 作 所 名	備 考
入 口 阻 水 屏	高巾	1.68m 1.82m	矩 形	2	
沈 砂 池	長巾	13.64m 3.64m		2	
	有効水深	1.36m			
	有効容量	67.5 m ³			
揚 泥 機	移動式				
汙 格 機	機械撮上式	高巾 4.06m 2.42m × 2 目巾 25mm	1 1	油 谷 製 作 所 浅 野 物 産	

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
汚水ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口径 450mm 揚水量 0.40m ³ /S 揚程 4.55m 馬力 35HP	2	荏原製作所
雨水ポンプ	電動機直結横軸型可動羽根式軸流ポンプ	口径 760mm 揚水量 1.13m ³ /S 揚程 3.95m 馬力 90HP	2	"
"	電動機直結ディーゼルエンジン切替駆動堅型斜流ポンプ	口径 760mm 揚水量 1.08m ³ /S 揚程 5m 馬力 115HP	1	"

(8) 地蔵堀ポンプ所

所 在 地 荒川区南千住 7 丁目 122 番地

創 設 昭和24年3月

敷地面積 572.42m² (173.46坪)

設置目的 荒川区南千住 7 丁目及び三河島 8 丁目附近の汚水及び雨水を吸揚し、雨水は荒川に放流し、汚水は三河島処理場へ送る。

計画排水面積 汚水 34ヘクタール

雨水 25ヘクタール

計画人口 7,488人

計画揚水量 晴天時 0.027m³/S (2,333m³/D)雨水量 1.0m³/S (60m³/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
入口阻水扉	径 1,000mm 手動開閉式	1	共栄精機所	
沈砂池	長 9.00m 中 3.00m 有効水深 0.90m 有効容量 24.3 m ³	1	文珠興業	
済格	手撮上式 高 2.02m 中 1.4m × 2 目中 30mm	1		
汚水ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 渦巻ポンプ	1	水野組	
雨水ポンプ	電動機直結横軸型固定羽根式軸流ポンプ	2	荏原製作所	

(9) 業平橋ポンプ所

所 在 地 墨田区吾嬬橋3丁目17番地

創 設 昭和4年7月

敷 地 面 積 4,435.2m² (1,344坪)

設 置 目 的 墨田区中部、即ち向島、吾嬬橋、東駒形の地域の汚水、雨水を吸揚し、雨水は北十間川に放流し、汚水は業平橋幹線により、三ノ橋ポンプ所へ送る。

計画排水面積 汚水 302.00ヘクタール
雨水 302.00ヘクタール

計画人口 83,000人

計画排水量 晴天時 0.528m³/S (45,600m³/D)
雨水量 12.228m³/S (733.68m³/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
入 口 阻 水 扉	高巾 2.44m 1.52m 矩 形	8	安治川鉄工所	
沈 砂 池	長巾 18.28m 4.55m 有効水深 3.73m 有効容量 308.5m ³	4		
揚 泥 機	バケツエレベーター式	2	米 井 商 店	
戸 格 機	機械搬上式 高巾 5.44m 1.67m×2 目巾 25mm	4	桜 田 機 械	
汚 水 ポ ン プ	電動機直結横軸型両吸込式 口径 500mm 揚水量 0.5m ³ /S 揚程 6.4m 馬力 60HP	1	日 立 製 作 所	
"	口径 510mm 揚水量 0.45m ³ /S 揚程 5.8m 馬力 55HP	2	"	
"	ディーゼルエンジン直結横軸型両吸込式 口径 300mm 揚水量 0.183m ³ /S 揚程 6.5m 馬力 27HP	1	電 業 社	
雨 水 ポ ン プ	電動歯車掛横軸型両吸込式 口径 1,140mm 揚水量 2.83m ³ /S 揚程 3.2m 馬力 170HP	2	荏 原 製 作 所	
"	電動機直結横軸型両吸込式 口径 1,140mm 揚水量 2.83m ³ /S 揚程 4.0m 馬力 230HP	1	"	
"	電動機直結横軸型固定羽根式軸流ポンプ 口径 1,140mm 揚水量 3.00m ³ /S 揚程 3.0m 馬力 180HP	3	"	
捲 揚 機	傾斜路型	1 ton	内外エレベーター	

(10) 三ノ橋ポンプ所

所 在 地 墨田区豊川町4丁目1番地

創 設 昭和4年7月

敷 地 面 積 4,674.94m² (1,416.65坪)

設 置 目 的 墨田区南部、即ち亀沢町、錦糸町、江東橋他及び、江東区西北部即ち森下町、高橋、猿江町、他の地域の汚水、雨水ならびに業平橋ポンプ所より送られて来る汚水を吸揚し、雨水は豊川へ放流し、汚水は木場ポンプ所へ送る。

計画排水面積 汚水 724.00ヘクタール
雨水 422.00ヘクタール

計画人口 189,000人

計画排水量 晴天時 1.378m³/S (119,000m³/D)
雨水量 21.443m³/S (1,286.58m³/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
入口阻水扉	高巾 3.00m 1.50m 矩 形	8	桜 田 機 械	
沈 砂 池	長巾 18.18m 6.06m 有効水深 2.13m 有効容量 234.6m ³	4		
汙 格 機	機械蓋上式 高巾 6.06m 1.67m × 2 目巾 25mm	4	月 島 機 械	
汚 水 ポンプ	電動機直結横軸型両吸込式 口経 460mm 揚水量 0.35m ³ /S 揚程 5.8m 馬力 45HP	2	日 立 製 作 所	
"	" 口径 610mm 揚水量 0.70m ³ /S 揚程 5.3m 馬力 80HP	2	"	
"	ディーゼルエンジン直結横軸型斜流ポンプ 口径 250mm 揚水量 0.16m ³ /S 揚程 4.5m 馬力 20HP	1	"	
雨 水 ポンプ	電動歯車掛横軸型両吸込式 口径 1,140mm 揚水量 2.83m ³ /S 揚程 3.5m 馬力 180HP	1	荏 原 製 作 所	
"	電動機直結横軸型両吸込式 口径 1,140mm 揚水量 2.83m ³ /S 揚程 5m 馬力 250HP	3	"	
"	電動機直結横軸型可動羽根式軸流ポンプ 口径 1,140mm 揚水量 3.0m ³ /S 揚程 3.5m 馬力 200HP	3	"	
揚 泥 機	門型移動グラブバケット式	2	日本機械貿易	
昇 降 機	荷 物 用 能 力 1 ton	2	内外エレベーター	

(1) 木場ポンプ所

所 在 地	江東区深川豊住町3丁目2番地	
創 設	昭和4年12月	
敷 地 面 積	8,906.7m ² (2,699坪)	
設 置 目 的	江東区南西部即ち白河町, 扇橋, 木場, 平野町, 東陽町他の地域の汚水, 雨水ならびに三ノ橋, 月島各ポンプ所から送られて来る汚水を吸揚し, 雨水は十間川に放流し, 汚水は木場幹線により砂町処理場へ送る。	
計画排水面積	汚水	1,385.00ヘクタール
	雨水	436.30ヘクタール
計画人口	314,000人	
計画排水量	晴天時	2.984m ³ /S (257,800m ³ /D)
	雨水量	17.735m ³ /S (1,064.10m ³ /min)

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
入口阻水扉	高巾	3.00m 1.80m	8	桜田機械	
沈砂池	長巾	18.03m 5.23m	4		
	有効水深	5.91m			
	有効容量	557m ³			
揚泥機	門型移動式		2	日鍛製作所	
汙格機	機械櫃上式	高巾 6.65m 1.82m × 2 目巾 25mm	4	米井商店	
汚水ポンプ	ディーゼルエンジン直結横軸型両吸込式 渦巻ポンプ	口径 250mm 揚水量 0.11m ³ /S 揚程 7.0m 馬力 18HP	1	荏原製作所	
"	電動機直結横軸型両吸込式 渦巻ポンプ	口径 510mm 揚水量 0.42m ³ /S 揚程 7.6m 馬力 60HP	1	日立製作所	
"	"	口径 600mm 揚水量 0.70m ³ /S 揚程 7.8m 馬力 100HP	1	"	
"	"	口径 610mm 揚水量 0.70m ³ /S 揚程 7.5m 馬力 100HP	1	"	
"	電動機直結横軸型両吸込式 渦巻ポンプ	口径 810mm 揚水量 1.4m ³ /S 揚程 7.1m 馬力 180HP	2	"	
雨水ポンプ	電動機直結横軸型可動羽根式2段軸流ポンプ	口径 1,140mm 揚水量 3.0m ³ /S 揚程 6.5m 馬力 400HP	2	荏原製作所	
"	電動機直結横軸型斜流ポンプ	口径 1,140mm 揚水量 3.0m ³ /S 揚程 7.5m 馬力 450HP	4	"	

(2) 吾嬬ポンプ所

所 在 地 墨田区吾嬬町東5丁目35番地

創 設 昭和16年3月

敷地面積 5,890.5m² (1,785坪)

設置目的 墨田区隅田町の一部、寺島町の大部、吾嬬町の全域の汚水、雨水を吸揚し、雨水は中川に放流する。将来は千住、隅田各ポンプ所より送られてくる汚水を吸揚し、砂幹線により大島ポンプ所へ送る。

計画排水面積 汚水 1,005.60ヘクタール

雨水 402.90ヘクタール

計画人口 224,000人

計画排水量 晴天時 1.314m³/S (113,500m³/D)雨水量 23.001m³/S (1,380.06m³/min)

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
入 口 阻 水 扉	高巾	3.50m 2.00m	4	久保田鉄工	雨 水 用
"	高巾	1.20m 2.00m	1	"	污 水 用
沈 砂 池	長巾 有効水深 有効容量	18.00m 5.60m 2.96m 298.0m ³	4		
揚 泥 機	移動式		1	守住土木機械	
渁 格 機	機械撮上式	高巾 目巾	5.267m 2.15m×2 58mm	浦賀船渠	雨 水 用
"	"	高巾 目巾	2.11m 2.1m×2 21mm		污 水 用
"	"	高巾 目巾	5m 2.0m×2 25mm	東興造機	雨 水 用
篩 漬 脱 装 水 置	圧縮式		1	東興造機 五十嵐鉄工所	
汚 水 ポンプ	電動機直結横 軸型両吸込式 渦巻ポンプ	口 径 揚水量 揚程 馬力	650mm 0.5m ³ /S 9m 100HP	荏原製作所	
"	ディーゼルエンジン直結横 軸型両吸込式 渦巻ポンプ	口 径 揚水量 揚程 馬力	350mm 0.27m ³ /S 10m 60HP	"	
雨 水 ポンプ	電動機直結堅 軸型可動羽根 式軸流ポンプ	口 径 揚水量 揚程 馬力	1,600mm 5.5m ³ /S 5.7m 600HP	"	

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
雨水ポンプ	電動機直結堅軸型斜流ポンプ 口径 1,600mm 揚水量 5.5m ³ /S 揚程 7m 馬力 700HP	2	荏原製作所	
"	ディーゼルエンジン直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ 口径 1,000mm 揚水量 2.3m ³ /S 揚程 7m 馬力 340HP	1	"	
送泥ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式渦巻ポンプ 口径 150mm 揚水量 0.024m ³ /S 揚程 26.5m 馬力 27HP	2	"	
ホイスト	荷物用 能力 2 ton	1	日立製作所	

(3) 町屋ポンプ所

所 在 地 荒川区三河島9丁目1,895番地

創 設 昭和30年3月

敷地面積 3,867.6m² (1,172坪)

設置目的 荒川区町屋の大部、尾久町、三河島町等の一部の汚水、雨水および荒川区尾久町の大部、北区昭和町の全部、田端新町、堀船町、上中里町、中里町、田端町等の一部の汚水を吸揚し、雨水は荒川に放流し、汚水は尾久幹線により三河島処理場へ送る。

計画排水面積 汚水 494.80ヘクタール

雨水 142.58ヘクタール

計画人口 140,000人

計画排水量 晴天時 0.817m³/S (70,600m³/D)

雨水量 11.811m³/S (708.66m³/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
入口阻水扉	高巾 2.16m 2.70m	2	安藤鉄工	雨水用
"	高巾 0.98m 1.40m	1	"	污水用
沈砂池	長巾 20.0m 6.0m 有効水深 2.10m 有効容量 252m ³	2		雨水用
"	長巾 10.0m 3.0m 有効水深 0.49m 有効容量 14.7m ³	1		污水用
揚泥機	走行式グラブバケツ型	1	関東鉄工	

種別	形状	其他	数量	製作所名	備考
戸格機	機械搬上式	巾 高 目巾	2.90m 3.55m 25mm	4	関東鉄工
	機械搬上式	巾 高 目巾	3.00m 3.70m 25mm		
雨水ポンプ	電動機直結横 軸型両吸込式	口径 揚水量 揚程 馬力	1,100mm 2.5m ³ /S 6.4m 300HP	2	日立製作所
	ディーゼルエンジン直結横 軸型両吸込式	口径 揚水量 揚程 馬力	1,100mm 2.5m ³ /S 6m 320HP		
汚水ポンプ	電動機直結横 軸型両吸込式	口径 揚水量 揚程 馬力	500mm 0.55m ³ /S 14.5m 150HP	2	〃
	渦巻ポンプ				

(4) 月島ポンプ所

所在地	中央区新佃島東町1丁目13番地		
創設	昭和30年4月		
敷地面積	503.25m ² (152.5坪)		
設置目的	中央区佃島、新佃島西町、西河岸通、西仲通、月島通、東仲通、東河岸通、晴海町他の汚水を吸揚し月島幹線、三ノ橋幹線等により木場ポンプ所へ送る。		
計画排水面積	汚水	188.00ヘクタール	
計画人口	27,000人		
計画排水量	晴天時	0.586m ³ /S (50,600m ³ /D)	

種別	形状	其他	数量	製作所名	備考
戸格機	油圧開閉式	高巾	0.90m 0.80m	1	守住土木機械
	手動開閉式	径	600mm		
沈砂池	長巾		9.0m 1.5m	1	〃
	有効水深		0.78m		
戸格機	有効容量		10m ³	1	土谷製作所
	機械搬上式	巾 高 目巾	1.50m 3.40m 25mm		
汚水ポンプ	電動機直結横 軸型両吸込式	口径 揚水量 揚程 馬力	400mm 0.33m ³ /S 21m 150HP	1	西島製作所
	渦巻ポンプ				

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
汚水ポンプ	電動機直結横軸型両吸込式 揚水量 0.184m ³ /S 揚程 21m 馬力 85HP	2	西島製作所	
揚泥機	バケツトエレベーター式 1KW	1	土谷製作所	
揚泥機	バケツトコンベア式 2KW	1	〃	
昇降機	ローベット懸垂型電動ホイスト付 1ton 3KW	1	日本エレベーター	

(15) 越中島ポンプ所

所 在 地 江東区深川越中島町8番地

創 設 昭和30年10月

敷地面積 808.5m² (245坪)

設置目的 高潮時に江東区深川越中島町一帯の雨水をポンプ吸揚により越中島川に放流する。

計画排水面積 雨水 36.70ヘクタール

計画排水量 雨水量 2.328m³/S (139.68m³/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
入口阻水扉	電動開閉式 高巾 1.40m 1.40m	1	日鍛製作所	
放流阻水扉	〃 高巾 1.40m 1.40m	1	〃	
渋格	手撮上式 高巾 3.40m 4.00m 目巾 30mm	1	〃	
沈砂池	長巾 12.0m 4.0m 有効水深 1.26m 有効容量 60.5m ³	1		
雨水ポンプ	ディーゼルエンジン直結横軸型固定羽根式軸流ポンプ 揚水量 1.4m ³ /S 揚程 4.2m 馬力 130HP	1	荏原製作所	
〃	電動機直結横軸型斜流ポンプ 揚水量 0.78m ³ /S 揚程 4.5m 馬力 75HP	2	〃	

(16) 中洲町ポンプ所

所 在 地 中央区日本橋中洲町2番地

創 設 昭和32年8月

敷 地 面 積 201.65m² (61.0坪)

設 置 目 的 地盤沈下のため高潮時に雨水の自然放流が不可能となつた、中央区日本橋中州一帯の雨水を吸揚し箱崎川に放流する。

計画排水面積 雨水 3.35ヘクタール

計画排水量 雨水量 0.476m³/S (28.56m³/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
渋 格 機	機械櫃上式 巾 高 1.50m 巾 目巾 3.5m 25mm	1	江 戸 川 機 械	
雨 水 ポ ン プ	電動機直結及 口 径 500mm ディーゼルエ 揚水量 0.48m ³ /S ンジン歯車掛 揚 程 3m 堅軸型斜流ボ 電動機馬力 30HP ンプ エンジン馬力 40HP	1	電 業 社	

(17) 箱崎町ポンプ所

所 在 地 中央区日本橋箱崎町4丁目18番地

創 設 昭和32年9月

敷 地 面 積 85.455m² (25.85坪)

設 置 目 的 地盤沈下のため高潮時に雨水の自然放流が不可能となつた、中央区日本橋箱崎町4丁目付近の雨水を吸揚し荒川に放流する。

計画排水面積 雨水 5.02ヘクタール

計画排水量 雨水量 0.640m³/S (38.4m³/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
渋 格 機	機械櫃上式 巾 高 1.80m 巾 目巾 2.3m 25mm	1	江 戸 川 機 械	
雨 水 ポ ン プ	電動機直結及 口 径 550mm びディーゼル 揚水量 0.63m ³ /S エンジン歯車掛 揚 程 3.7m 掛堅軸型斜流 電動機馬力 47HP ボンプ エンジン馬力 60HP	1	電 業 社	

(18) 砂町ポンプ所

所 在 地	江東区南砂町5丁目1番地
創 設	昭和35年4月
敷 地 面 積	8,785m ² (2,657.52坪)
設 置 目 的	砂町系統のうち、砂町排水区（江東区の半分）の汚水、雨水を吸揚し東京湾に放流する。 将来、汚水は大島ポンプ所より来る汚水をあわせ砂町処理場に送る計画である。
計画排水面積	汚水 2,238.57ヘクタール 雨水 488.86ヘクタール
計画人口	462,000人
計画排水量	晴天時 3.573m ³ /S (308,700m ³ /D) 雨水量 25.482m ³ /S (1,528.92m ³ /min)

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
入 口 阻 水 屏	高巾	1.80m 2.00m	1	久保田鉄工	汚 水 用
"	高巾	1.80m 2.95m	4	"	雨 水 用
沈 砂 池	長巾 有効水深 有効容量	20.00m 3.00m 1.80m 108.0m ³	1		汚 水 用
"	長巾 有効水深 有効容量	20.00m 4.50m 2.77m 249.3m ³	4		雨 水 用
汙 格 機	機械揚揚式 高巾 目巾	5.1m 2.0m 25mm	8	桜田機械	雨 水 用
"	" 高巾 目巾	6.1m 3.0m 25mm	1	"	汚 水 用
雨 水 ポンプ	ディーゼルエンジン歯車掛 豎軸型斜流ポンプ	口径 1,200mm 揚水量 3.33m ³ /S 揚程 9m 馬力 600HP	2	荏原製作所	
ス キ ツ プ ホ イ ス ト	電動巻上式	7.5HP	1	桜田機械	
篩渣用脱水機	長巾	2.3m 0.6m	1	"	
揚 泥 機	グラブバケット式		3	"	
砂 洗 機	バケットコンベア式		1	"	
高架ホッパー	油圧開閉式	容量 5.6m ³	1	"	
篩渣用破碎機	スイングハンマー式	処理能力 3m ³ /h	1	"	

(19) 浜町ポンプ所

所 在 地 中央区浜町2丁目 浜町公園内

創 設 昭和36年4月

敷地面積 580m² (176坪)

設置目的 地盤沈下のため、高潮時に雨水の自然放流が不可能となつた中央区浜町付近の雨水を吸揚し荒川に放流する。

計画排水面積 雨水 27.71ヘクタール

計画排水量 雨水量 4.120m³/s (247.2m³/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
雨水ポンプ	電動機ディーゼルエンジン共用 堅軸型軸流ポンプ 口 径 1,000mm 揚水量 2.1m ³ /s 揚程 4.5m 電動機馬力 187HP エンジン馬力 200HP	2	日立製作所	
揚集機	沈砂揚用	2	守 住 土 木	
渕格機	機械揚式 高巾 3.66m 巾巾 1.7m 目巾 25mm	2	"	
沈砂池	長巾 16.00m 1.70m 有効水深 2.60m 有効容量 141m ³	2		

(20) 汐留ポンプ所

所 在 地 中央区銀座東8丁目19番地先

創 設 昭和37年4月

敷地面積 2,396.8m² (725坪)

設置目的 地盤沈下のため高潮時に雨水の自然放流が、不可能となつた千代田区内幸町、有楽町及び中央区銀座西、銀座、銀座東、築地一帯の雨水を吸揚し築地川に放流する。

計画排水面積 雨水 88.47ヘクタール

計画揚水量 雨水量 15.511m³/s (930.7m³/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
入口阻水扉	油圧開閉式 高巾 3.0m 1.6m	2	久 保 田 鉄 工	
"	" 高巾 1.92m 2.4m	1	"	
放流口阻水扉	" 高巾 2.5m 2.45m	2	"	
渕格室 入口阻水扉	" 高巾 2.5m 2.0m	3	"	

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
沢 格 機	機械揚上式 高巾目巾 7.5m 2.4m × 2 40mm	3	日立金属	
雨水ポンプ	ディーゼルエンジン及電動機歯車掛堅軸型斜流ポンプ 口径 1,200mm 揚水量 3.1m³/S 揚程 4.6m 馬力 280HP	3	荏原製作所	
"	ディーゼルエンジン歯車掛堅軸型斜流ポンプ 口径 1,200mm 揚水量 3.1m³/S 揚程 4.6m 馬力 280HP	3	"	

(2) 桜橋ポンプ所

所 在 地	中央区西八丁堀4丁目6番地先
創 設	昭和37年4月
敷 地 面 積	2,512.23m² (760坪)
設 置 目 的	地盤沈下のため高潮時に雨水の自然放流が不可能となつた千代田区有楽町、丸の内および中央区日本橋、京橋、室町、兜町、茅場町、西八丁堀、銀座東、新富町附近一帯の雨水を吸揚し、桜川に放流する。
計画排水面積	雨水 117.61ヘクタール
計画排水量	雨水量 24.989m³/S (1,499.34m³/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
入口阻水扉	油圧開閉式 高巾 3.6m 2.3m	2	荏原製作所	
放流口阻水扉	" 高巾 3.3m 1.6m	2	"	
沢格室 入口阻水扉	" 高巾 3.5m 2.5m	3	"	
沢 格 機	機械揚上式 高巾目巾 7.5m 2.1m 40mm	3	桜田機械	
雨水ポンプ	ディーゼルエンジン及電動機歯車掛堅軸型斜流ポンプ 口径 1,500mm 揚水量 5m³/S 揚程 4.5m 馬力 500HP	3	荏原製作所	
"	ディーゼルエンジン及歯車掛堅軸型斜流ポンプ 口径 1,500mm 揚水量 5m³/S 揚程 4.5m 馬力 500HP	3	"	

② 小松川ポンプ所

所在 地 江戸川区平井1丁目2,185番地

創 設 昭和37年4月

敷地面積 4,662m² (1,410坪)

設置目的 墨田区吾嬬町の一部及び江戸川区平井、逆井、小松川等の汚水、雨水を吸揚し、雨水は中川へ放流する。将来汚水は小松川幹線、砂幹線により大島ポンプ所へ送水する。

計画排水面積 汚水 274.33ヘクタール
雨水 274.33ヘクタール

計画人口 37,000人

計画排水量 晴天時 0.273m³/S (23,600m³/D)
雨水量 21.826m³/S (1,309.56m³/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
入口阻水扉	油圧開閉式 高巾 1.0m 1.0m	1	桜田機械	汚水用
〃	〃 高巾 3.25m 1.6m	4	〃	雨水用
沈砂池	長巾 12.0m 1.8m 有効水深 0.7m 有効容量 15.1m ³	1		汚水用
〃	長巾 20.0m 4.5m 有効水深 2.7m 有効容量 240m ³	4		雨水用
揚泥機	走行ジブクレーン式	1	桜田機械	
汎格機	機械搬上式 高巾 5.8m 1.5m 目巾 25mm	1	〃	汚水用
〃	〃 高巾 5.5m 1.75m×2 目巾 25mm	4	〃	雨水用
高架ホッパー	油圧開閉式 容量 6m ³ ×2	1	〃	
篩渣破碎機	スイングハンマー式 处理能力3m ³ /h	1	三菱化工機	
〃 脱水機	〃 0.04m ³ /m	1	〃	
砂洗機	〃 3m ³ /h	1	〃	
汚水ポンプ	電動機直結型 軸型渦巻ポンプ 口径 350mm 揚水量 0.25m ³ /S 揚程 15m 馬力 80 HP	1	日立製作所	
雨水ポンプ	ディーゼルエンジン歯車掛 堅軸斜流ポンプ 口径 1,400mm 揚水量 4.33m ³ /S 揚程 8m 馬力 700HP	2	〃	

第3節 下水處理場

(1) 芝浦處理場

所 在 地 港区芝高浜町2番地

創設 昭和6年3月

敷地面積 171,976.3m² (51.811坪)

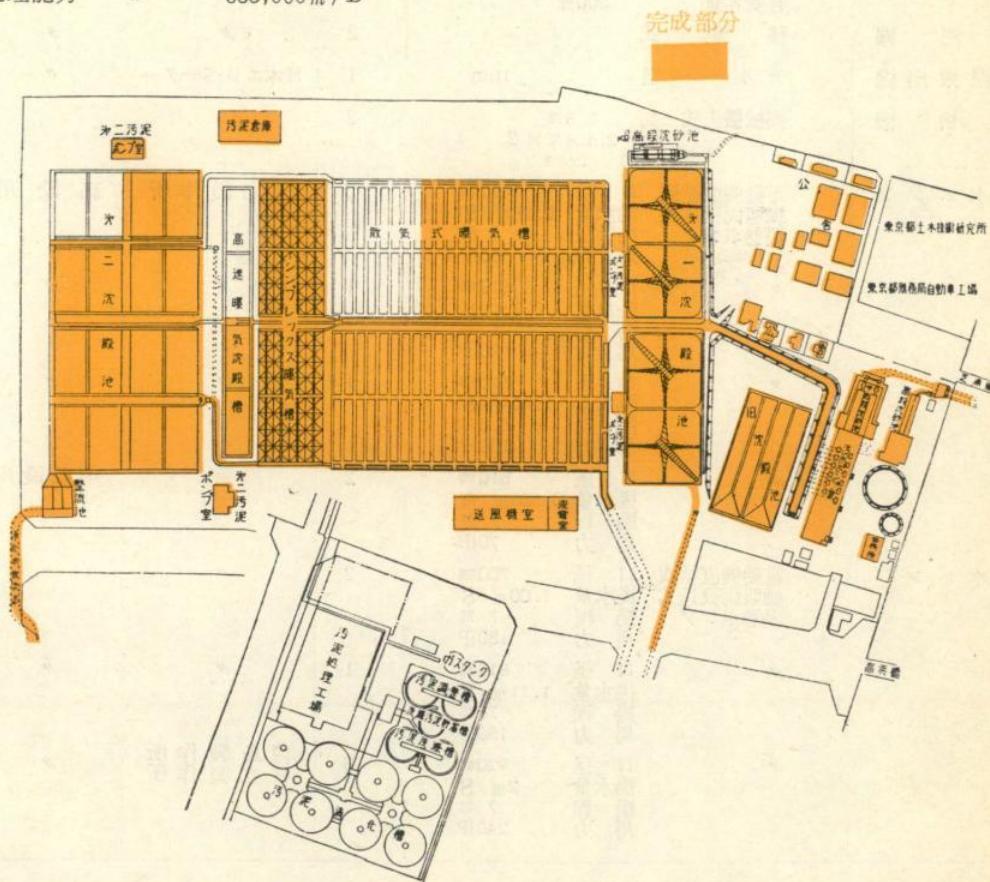
設置目的 本都区部のうち、港区の全部及び千代田、中央、新宿、渋谷の各区の大部ならびに文京、品川、目黒、世田谷、豊島の各区の一部等の地域から集流する下水を処理し、東京湾に放流する。なお発生する汚泥は汚泥処理工場で処理し、将来は一部を森ヶ崎処理場に送つて処理する。

計画処理面積 6,328ヘクタール

計画処理人口 1,030,000人

計画処理水量 晴天時 $1,020,000 m^3/D$

現有處理能力 // 633,000 m^3 / D



36年9月12日汚泥処理工場竣工

種 別	形 状	其 他	數 量	製 作 所 名	備 考
伏 越 阻 水 扉	巾 高	1.67m 1.82m	馬蹄形	3	中山貫一商店
沈 砂 池	長 中	30.00m 2.40m		2	高 段 用
	有 効 水 深	1.85m			
	有 効 容 量	105m ³			
搔 泥 機	リ ン ク ベ ルト 式		2	大 塚 工 場	〃
揚 泥 機	固 定 式		2	〃	〃
戸 格 機	機 械 揚 戻 式	高 4.0m 巾 2.4m × 2 目巾 25mm	2	江 戸 川 機 械	〃
入 口 阻 水 扉	巾 高	2.25m 1.40m	矩 形	1	関 機 械 製 作 所
〃	巾 高	0.95m 1.40m	矩 形	2	江 戸 川 機 械
〃	巾 高	1.83m 2.44m	矩 形	2	日 立 製 作 所
沈 砂 池	長 中	19.08m 6.06m		2	中 低 段 用
	有 効 水 深	1.79m			
	有 効 容 量	200m ³			
揚 泥 機	移 動 式		2	〃	〃
汚 泥 搬 出 機	テ ル ハ 一 型	1ton	1	日本エレベーター	〃
戸 格 機	機 械 揚 上 式	高 3.8m 巾 2.424m × 2 目巾 26mm	2		
汚 水 ポ ン ブ	電 動 機 直 結 橫 軸 型 両 吸 吸 入 式 渦 卷 ポ ン ブ	口 径 410mm 揚 水 量 0.28m ³ /S 揚 程 5m 馬 力 30HP	2	日 立 製 作 所	高 段 用
〃	〃	口 径 610mm 揚 水 量 0.7m ³ /S 揚 程 5m 馬 力 70HP	1	〃	〃
〃	〃	口 径 810mm 揚 水 量 1.40m ³ /S 揚 程 5.0m 馬 力 130HP	1	〃	〃
〃	〃	口 径 610mm 揚 水 量 0.555m ³ /m 揚 程 7m 馬 力 70HP	2	〃	中 低 段 用
汚 水 ポ ン ブ	電 動 機 直 結 橫 軸 型 両 吸 吸 入 式 渦 卷 ポ ン ブ	口 径 700mm 揚 水 量 1.00m ³ /S 揚 程 7m 馬 力 130HP	2	〃	〃
〃	〃	口 径 810mm 揚 水 量 1.11m ³ /S 揚 程 7m 馬 力 130HP	1	〃	〃
〃	〃	口 径 920mm 揚 水 量 2m ³ /S 揚 程 7m 馬 力 240HP	3	西 島 製 作 所 日 立 製 作 所	〃

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
第 1 沈澱池	長 中 有効水深 有効容量	45.72m 45.72m 3.66m 7,650m ³	4	
擗集機	ドル式	45.72m	4	東洋バブコツクアンドリユース商会
汚泥ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口径 200mm 揚水量 0.035m ³ /S 揚程 37m 馬力 47HP	6	日立製作所
曝 気 槽 (シンプレックス式)	長 中 有効水深 有効容量	81.20m 9.80m 5.60m 4,150m ³	8	
曝 気 機 曝 気 槽 (散気式)	シンプレックス式		8	関機械製作所
送 風 機	長 中 有効水深 有効容量	80.00m × 4回路 6.70m 4.10m 8,000m ³	10	三井物産機械部 三井建設
第 2 沈澱池	電動機直結横軸型ターボブロワー	口径 450mm 風量 4.17m ³ /S 段圧 5 馬力 5.3m 450HP	10	荏原製作所
採 泥 機	長 中 有効水深 有効容量	40.00m 20.00m 4.40m 3,520m ³	14	
汚泥ポンプ	電動機直結横軸型両吸込式 渦巻ポンプ	口径 500mm 揚水量 0.53m ³ /S 揚程 6m 馬力 60HP	3	日立製作所
〃	電動機直結堅軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口径 500mm 揚水量 0.55m ³ /S 揚程 7.6m 馬力 78HP	3	久保田鉄工
高速曝気沈澱槽	長 中 有効水深	40.00m 16.00m 4.9m	2	エバライン フィルコ
高速曝気槽用 汚泥ポンプ	電動機直結堅型	口径 160mm 揚水量 0.033m ³ /S 揚程 15m 馬力 20HP	2	荏原製作所
汚 泥 槽	径 有効水深 有効容量	22.00m 4.56m 1,540m ³	2	
〃	径 有効水深 有効容量	14.55m 3.64m 500m ³	1	
滅 菌 機	機械式MS V型真空滅菌機	5.6kg/h	8	磯村産業
〃	D.V.G型真空滅菌機	6kg/h	1	水道機工
濃 縮 槽	内径 有効水深 有効容量	20.00m 4.2m 1,530m ³	2	
濃縮槽ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口径 160mm 揚水量 0.042m ³ /S 揚程 20m 馬力 28HP	2	荏原製作所

第1沈澱池用

第2沈澱池用

〃

汚泥処理工場用

〃

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
貯 留 槽	内 経 15m 有効深さ 3.5m 有効容量 630m ³	1		汚泥処理工場用
貯留槽ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 揚水量 0.06m ³ /S 揚程 14m 馬力 28HP	2	荏原製作所	〃
洗 滌 槽	内 経 20m 有効深さ 3m 有効容量 940m ³	2		〃
洗滌槽ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 揚水量 0.03m ³ /S 揚程 6m 馬力 28HP	2	荏原製作所	〃
消 化 槽	内 経 25m 有効深さ 9m 有効容量 4,500m ³	8		
汚泥循環ポンプ	電動機直結横軸型ブレードレスポンプ 揚水量 0.042m ³ /S 揚程 12m 馬力 20HP	8	荏原製作所	〃
ボ イ ラ ー	三胴水管式 圧 力 25m Aq 出 力 1,583,000kcal/h 伝熱面積 140m ²	3	安藤鉄工所	〃
温水循環ポンプ	電動機直結横軸型渦巻ポンプ 揚水量 0.052m ³ /S 揚程 14.5m 馬力 15HP	3	荏原製作所	〃
熱 交 換 器	二重管式 出 力 920,000 kcal/h 圧 力 1.5 g/cm ²	8	安藤鉄工所	〃
薬品溶解槽	辺 2.5×2.5m 有効深さ 3m 有効容量 20m ³	2		〃
汚泥混和槽	辺 2.0×2.0m 有効深さ 2m 有効容量 8m ³	2		〃
消石灰ホツバー 真 空 湟 過 機	容 量 4m ³ 連続回転式円筒型 湧過面積 32m ² 馬 力 3HP	1 12	大成鉄工 エバラインファイルコ	〃
ケーキホツバー 真 空 ポンプ	手動開口式 容量 5m ³ 電動機ベルト 容量 1.09m ³ /S 掛横型水冷ブ 真空度 600mmHg レート弁式 馬力 100HP	4 6	大成鉄工 三國重工	〃
空 気 圧 縮 機	電動機ベルト掛 堅型1段式 容量 0.27m ³ /S 圧 力 2kg/cm ² 馬 力 100HP	3	〃	〃
ガスプロワー	電動機直結片吸込式2段ターボプロワー 口径 160mm 容量 24m ³ /m 圧 力 550mmAq 馬 力 7.5HP	2	荏原製作所	〃
ガスコンプレッサー	電動機ベルト掛 横型水冷單氣筒 容量 16.1m ³ /m 圧 力 5kg/cm ² 複動1段式 馬力 100HP	2	大都工業	〃
脱 硫 器 ガ ス タ ン ク	乾 式 容量 30,000m ³ /D 球 形 直径 13.15m 容 量 1,300m ³ 圧 力 5kg/cm ²	1 1	石井鉄工 〃	〃

(2) 三河島處理場

所在地 荒川区荒川8丁目25番地

創設 大正12年3月

敷地面積 184,571.64m² (55,932.25坪)

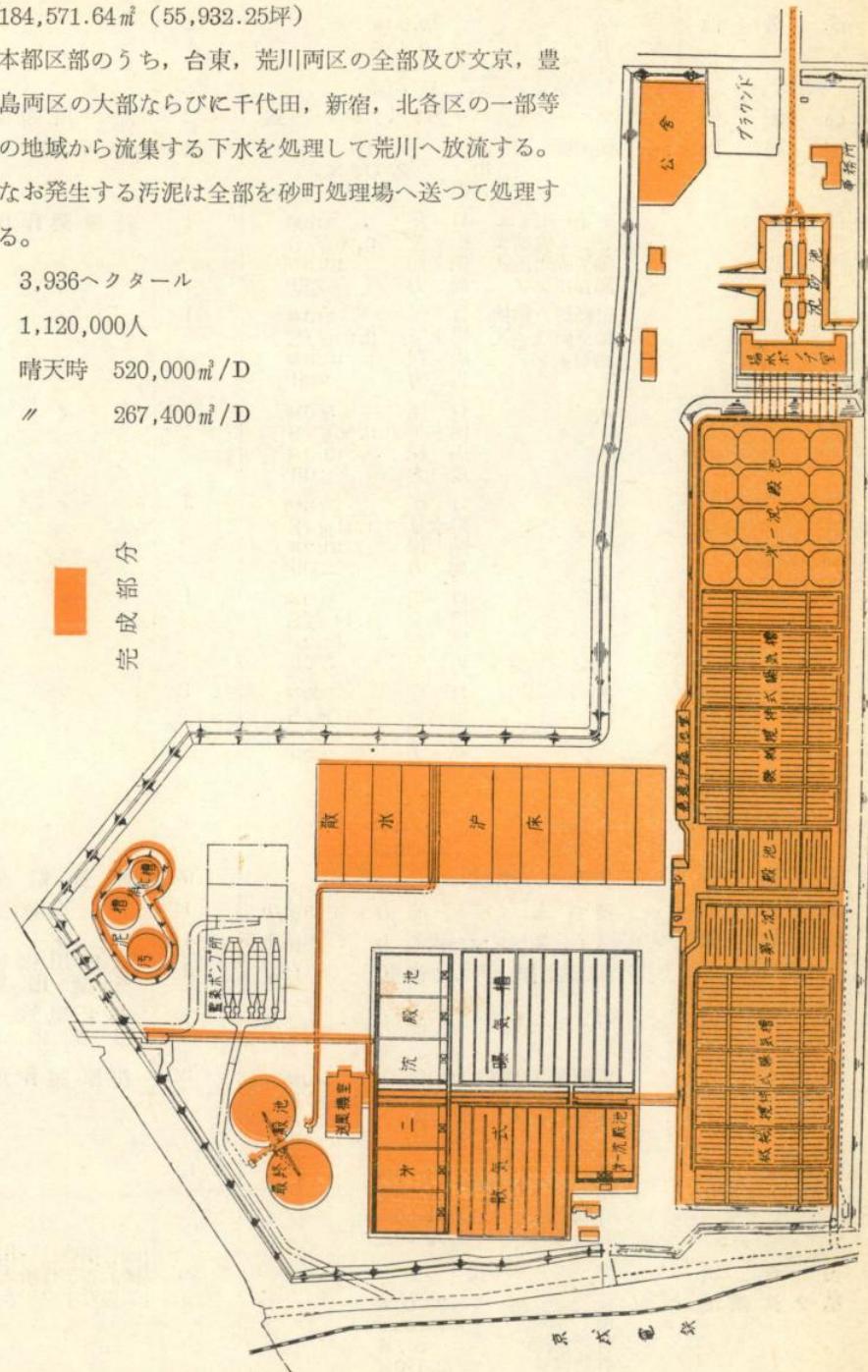
設置目的 本都区部のうち、台東、荒川両区の全部及び文京、豊島両区の大部ならびに千代田、新宿、北各区の一部等の地域から流集する下水を処理して荒川へ放流する。なお発生する汚泥は全部を砂町処理場へ送つて処理す

計画処理面積 3,936ヘクタール

計画処理人口 1,120,000人

計画処理水量 晴天時 $520,000 m^3/D$

現有処理能力 // 267,400 m^3 / D



種別	形状	其他	数量	製作所名	備考	
入口阻水扉	巾高	2.10m 1.80m	2	みのくち式機械事務所		
沈砂池	長巾	19.70m 5.45m	2			
	有効水深	1.21m				
	有効容量	117.3m ³				
揚泥機	チエーン走行バケツスクレッパー式		2	江戸川機械		
沪格機	機械搔上式	高巾	3.64m 2.00m × 2 25mm	4	東興造機	
汚水ポンプ	ディーゼルエンジン直結横軸型両吸込式	口径 揚水量 揚程 馬力	410mm 0.28m ³ /S 10.5m 75HP	1	荏原製作所	
"	電動機直結横軸型両吸込式	口径 揚水量 揚程 馬力	410mm 0.28m ³ /S 10.5m 60HP	1	"	
"	"	口径 揚水量 揚程 馬力	560mm 0.56m ³ /S 10.3m 120HP	3	"	
"	"	口径 揚水量 揚程 馬力	760mm 1.11m ³ /S 10.2m 230HP	3	"	
"	"	口径 揚水量 揚程 馬力	800mm 1.14m ³ /S 10.2m 230HP	1	"	
"	"	口径 揚水量 揚程 馬力	800mm 1.41m ³ /S 10.5m 250HP	1	"	
第1沈澱池	長巾	84.00m 21.21m	4			
	有効水深	2.90m				
	有効容量	4,440m ³				
掲集機	星型中心運転式		16	浦賀船渠		
洗砂機	攪拌式	能力	3-5m ³ /h	五十嵐鐵工		
破碎機	スイングハンマー式	能力	3m ³ /h	"		
ホツバ一	油圧開閉式	能力	12m ³	江戸川機械 三菱化 工		
脱水機	ローラー式	能力	2-3m ³ /h	五十嵐鐵工 三菱化 工		
汚泥ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式	口径 揚水量 揚程 馬力	300mm 0.056m ³ /S 22m 50HP	荏原製作所	第1沈澱池用	
曝氣槽 (パドル式)	長巾	84.75m 21.20m	12			
	有効水深	1.50m				
	有効容限	2,400m ³				
攪拌機	パドル式		24	岡谷鋼機江戸川機 械油谷工作所大塚 工場青木ロール		
第2沈澱池	長巾	33.00m 18.00m	8			
	有効水深	3.7m				
	有効容量	2,190m ³				

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
採 泥 機	走行横軸型サイホン式	8	油 谷 工 作 所	
汚 泥 ポ ン ブ	電動機直結横軸型片吸込式 揚水量 0.2m ³ /S 揚程 4.5m 馬力 20HP	4	荏 原 製 作 所	第2沈澱池用
汙 泥 ポ ン ブ	長巾 66.67m 30.30m 汙材深さ 1.49~1.60m 汙床面積 2,020m ²	12		
汙 泥 ポ ン ブ	ハートレー式	24		散水汙床用
最 終 沈 澱 池	内径 36.0m	2		
	有効深さ 3.2m			
	有効容量 3,260m ³			
採 集 機	星型中心運転式 2本アーム	2	桜 田 機 械	
汚 泥 ポ ン ブ	電動機直結横軸型片吸込式 揚水量 0.04m ³ /S 揚程 15m 馬力 20HP	2	荏 原 製 作 所	最終沈澱池用
減 菌 機 槽	D. V. G 真空式 6kg/h	3	水 道 機 工	
汚 泥 槽	径 21.82m	2		
	有効深さ 4.09m			
	有効容量 1,000m ³			
消 化 槽	内径 15m	1		
	有効深さ 4.5m			
	有効容量 1,000m ³			
ガ ス タ ン ク	直 径 10m	1		
	高 4.0m			
	容 量 310m ³			
吐 口 ポ ン ブ	電動機直結横軸固定羽根式 揚水量 1.38m ³ /S 揚程 3m 馬力 100HP	1	荏 原 製 作 所	
"	電動機直結横軸型斜流ポンプ 揚水量 1.07m ³ /S 揚程 4m 馬力 80HP	1	"	
"	電動機直結横軸固定羽根式 揚水量 0.5m ³ /S 揚程 3m 馬力 40HP	1	"	
送 泥 ポ ン ブ	電動機直結横軸型片吸込式 揚水量 0.024m ³ /S 揚程 26.5m 馬力 27HP	2	"	
第 1 沈 澱 池	長巾 40m 16m 有効水深 3m 有効容量 1,920m ³	2		尾久幹線用
採 集 機	リンクベルト式 主コレクター 長 83.6m グロスコレクター 長 32.5m	2	日 立 金 属	"
汚 泥 ポ ン ブ	電動機直結堅型ブレードレスポンプ 揚水量 0.033m ³ /S 揚程 7m 馬力 10HP	2	電 業 社	"
曝 気 槽 (散 気 式)	長巾 75m × 4回路 7.35m 有効水深 4.20m 有効容量 9,260m ³	2		"

種別	形状	其他	数量	製作所名	備考
送風機	電動機直結横軸型ターボブロアー	口径 450mm 風量 4.17m³/S 段数 5段 圧力 5.2m Aq 馬力 440HP	3	日立製作所	尾久幹線用
第2沈澱池	長巾	40m 24m	3		"
	有効水深	3.5m			
	有効容量	3,360m³			
掘泥機	リングベルト式		3	日立金属機械	"
	主コレクター	長 78m		住友	
	クロスコレクター	長 27m			
汚泥ポンプ	電動機直結堅軸型片吸込式	口径 300mm 揚水量 0.2m³/S 馬力 40HP	3	電業社	"
	渦巻ポンプ	揚程 8m 馬力 0.0			

(3) 砂町処理場

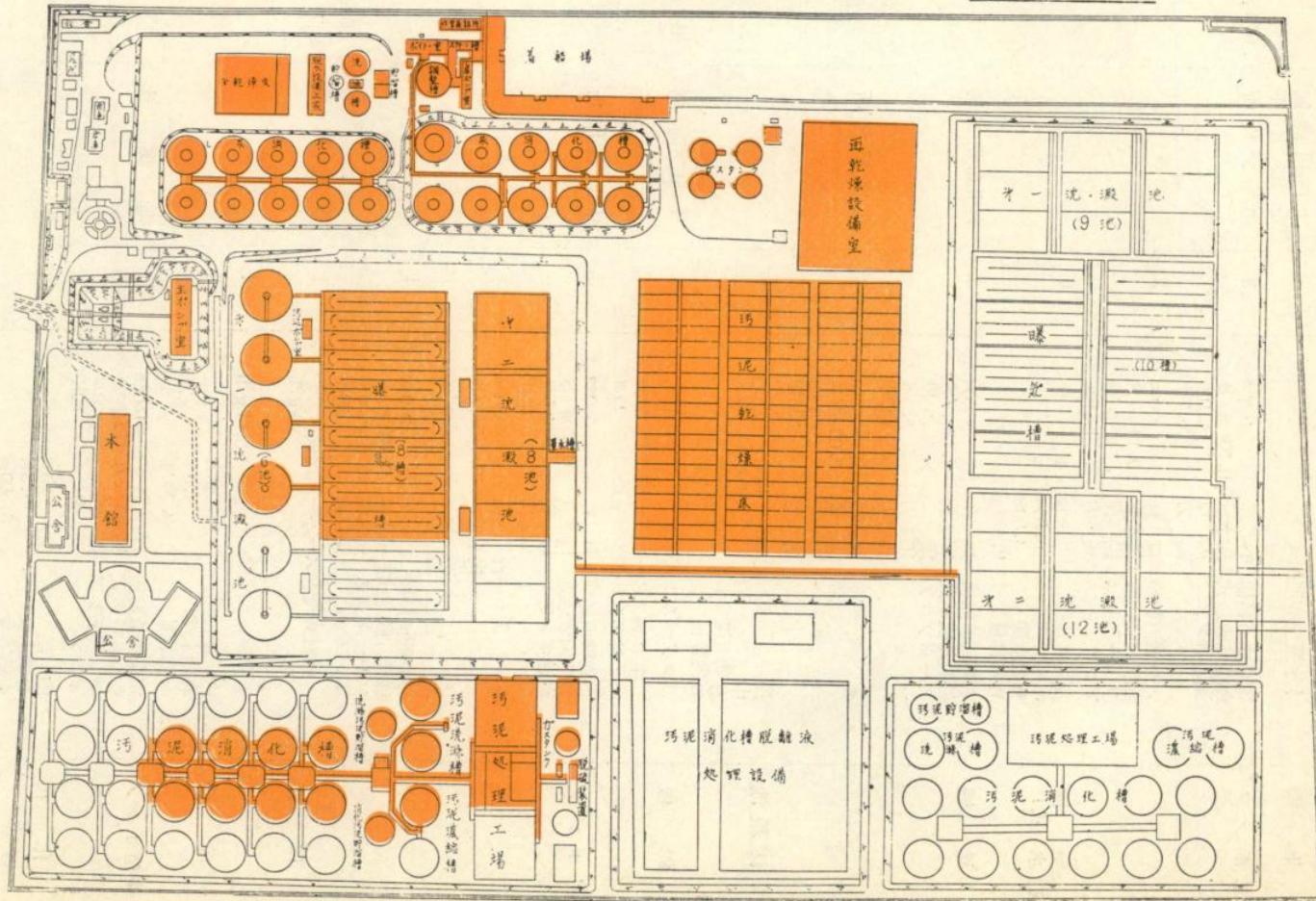
所在地	江東区南砂町9丁目2,473番地		
創設	昭和5年2月		
敷地面積	247,500m² (75,00坪)		
設置目的	本都区部のうち、墨田、江東両区の全部及び中央、足立、江戸川各区の一部等の地域から流集する下水を処理して東京湾に放流する。なお発生する汚泥は三河島処理場より送られて来る汚泥と併せて処理する。		
計画処理面積	3,977ヘクタール		
計画処理人口	840,000人		
計画処理水量	晴天時 630,000m³/D		
現有処理能力	〃 225,000m³/D		

種別	形状	其他	数量	製作所名	備考
入口阻水扉	巾高	1.80m 1.80m 馬蹄形	2	電業社原動機	
戸格	手撮上式 高巾目巾	3.1m 2.42m 40mm	2		
汚水ポンプ	ディーゼルエンジン直結横軸型両吸込式	口径 410mm 揚水量 0.27m³/S 揚程 13m 馬力 70HP	1	西島製作所	
"	渦巻ポンプ "	口径 800mm 揚水量 1.40m³/S 揚程 13m 馬力 335HP	4	"	"
第1沈澱池	直径 有効水深 有効容量	36.0m 3.7m 3,766m³	4		

完成部分

砂町処理場計画一般図

37. 3. 31 現在



種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考	
搔 集 機	十字型中心運転式	4	江戸川機械木守住土莊原製作所		
汚泥ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 渦巻ポンプ	揚水量 0.035m ³ /S 揚程 5.0m 馬力 6.7HP	160mm 160mm 5.0m 6.7HP	3	第1沈澱池用
"	電動機直結横軸型片吸込式 ブレードレスポンプ	揚水量 0.14m ³ /S 揚程 5m 馬力 14.8HP	200mm 200mm 5m 14.8HP	3	"
曝 気 槽 (散 水 式)	長 巾 有効水深 有効容量	80m × 4 6.30m 4.80m 9,677m ³		6	
送 風 機	電動機直結横軸型片吸込式 ターボプロア	揚水量 4.17m ³ /S 揚程 5段 馬力 5.3m 440HP	口径 400mm 400mm 5段 440HP	3	石川島重工業
"	"	揚水量 5.00m ³ /S 揚程 5段 馬力 533HP	口径 450mm 450mm 5段 533HP	2	莊原製作所
第 2 沈 澱 池	長 巾 有効水深 有効容量	45m 25m 3.80m 4,275m ³		6	
搔 泥 機	リングベルト式 主コレクター クロスコレクター	長 長	83m 25m	6	日立金属
汚泥ポンプ	電動機直結横軸型両吸込式 渦巻ポンプ	揚水量 0.25m ³ /S 揚程 4.5m 馬力 25HP	口径 350mm 350mm 4.5m 25HP	3	日立製作所
"	"	揚水量 0.375m ³ /S 揚程 4.5m 馬力 34HP	口径 350mm 350mm 4.5m 34HP	1	"
"	電動機直結横軸型片吸込式 ブレードレスポンプ	揚水量 0.125m ³ /S 揚程 4.5m 馬力 20HP	口径 250mm 250mm 4.5m 20HP	1	"
減 菌 機	磯村式真空スーパー減菌機	20kg/h		1	磯村産業
"	"	5.6kg/h		4	"
濃 縮 槽	内 径 有効水深 有効容量	25m 4.5m 2,200m ³		2	汚泥処理工場用
濃縮槽ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 ブレードレスポンプ	揚水量 0.042m ³ /S 揚程 20m 馬力 30HP	口径 160mm 160mm 20m 30HP	3	電業社
消 化 槽	内 径 有効水深 有効容量	25m 9.5m 3,300m ³		8	"
汚泥循環ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 ブレードレスポンプ	揚水量 0.028m ³ /S 揚程 14m 馬力 15HP	口径 130mm 130mm 14m 15HP	8	安藤鉄工

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
貯 留 槽	内径 有効水深 有効容量	18m 3.7m 910m ³	1		汚泥処理工場用
貯留槽ポンプ	電動機直結横 軸型片吸込式 ブレードレス ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	160mm 0.042m ³ /S 16m 25HP	3	電 業 社
洗 滌 槽	内径 有効水深 有効容量	25m 3.5m 1,720m ³	2		"
洗滌槽ポンプ	電動機直結横 軸型片吸込式 ブレードレス ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	160mm 0.042m ³ /S 7.5m 10HP	3	電 業 社
ボ イ ラ 一	三胴水管式	圧力 出力 伝熱面積	2.5kg/cm ² 5.5t/h 170m ²	1	安 藤 鉄 工
温水循環ポンプ	電動機直結横 軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	150mm 0.05m ³ /S 14m 15HP	1	日 立 製 作 所
熱 交 換 器	二重管式	出力 圧力	400,000kcal/h 1.5kg/cm ²	8	安 藤 鉄 工
薬品溶解槽	有効容量	22m ³	2		
汚泥混和槽	"	16m ³	1		
真 空 液 過 機	連続回転式多 室型	液過面積 馬力	32m ² 5 HP	12	三 菱 化 工 機
真 空 ポンプ	電動機ベルト 掛横型往復式	容量 真空度 馬力	1.08m ³ /S 600mmHg 100HP	6	宇野沢鉄工所
空 気 圧 縮 機	電動機ベルト 掛横型水冷式	容量 圧力 馬力	0.3m ³ /S 3kg/cm ² 100HP	3	"
ガスプロワー	電動機直結タ ーボプロワー	口径 容量 圧力 馬力	160mm 0.6m ³ /S 600mmAq 7.4HP	2	荏 原 製 作 所
ガス圧縮機	電動機ベルト 掛横型水冷式	容量 圧力 馬力	0.2m ³ /S 5kg/cm ² 80HP	2	大 都 工 業
脱 硫 器	乾 式	60m ³	1	石川島重工業	"
ガスタンク	球 形	直 径 容 量 圧 力	15m 1,770m ³ 5kg/cm ²	1	"

(4) 小台処理場

所在地 足立区宮城町24番地

創設 昭和37年4月

敷地面積 84,610m² (25,640坪)

設置目的 本都区部のうち、北、板橋両区の大部分及び新宿、豊島、練馬、足立の各区の一部等の地域から流集する下水を処理して荒川へ放流する。

なお、発生する汚泥は、落合処理場より送られて来る汚泥と併せて処理する。

計画処理面積

4,552ヘクタール

計画処理人口

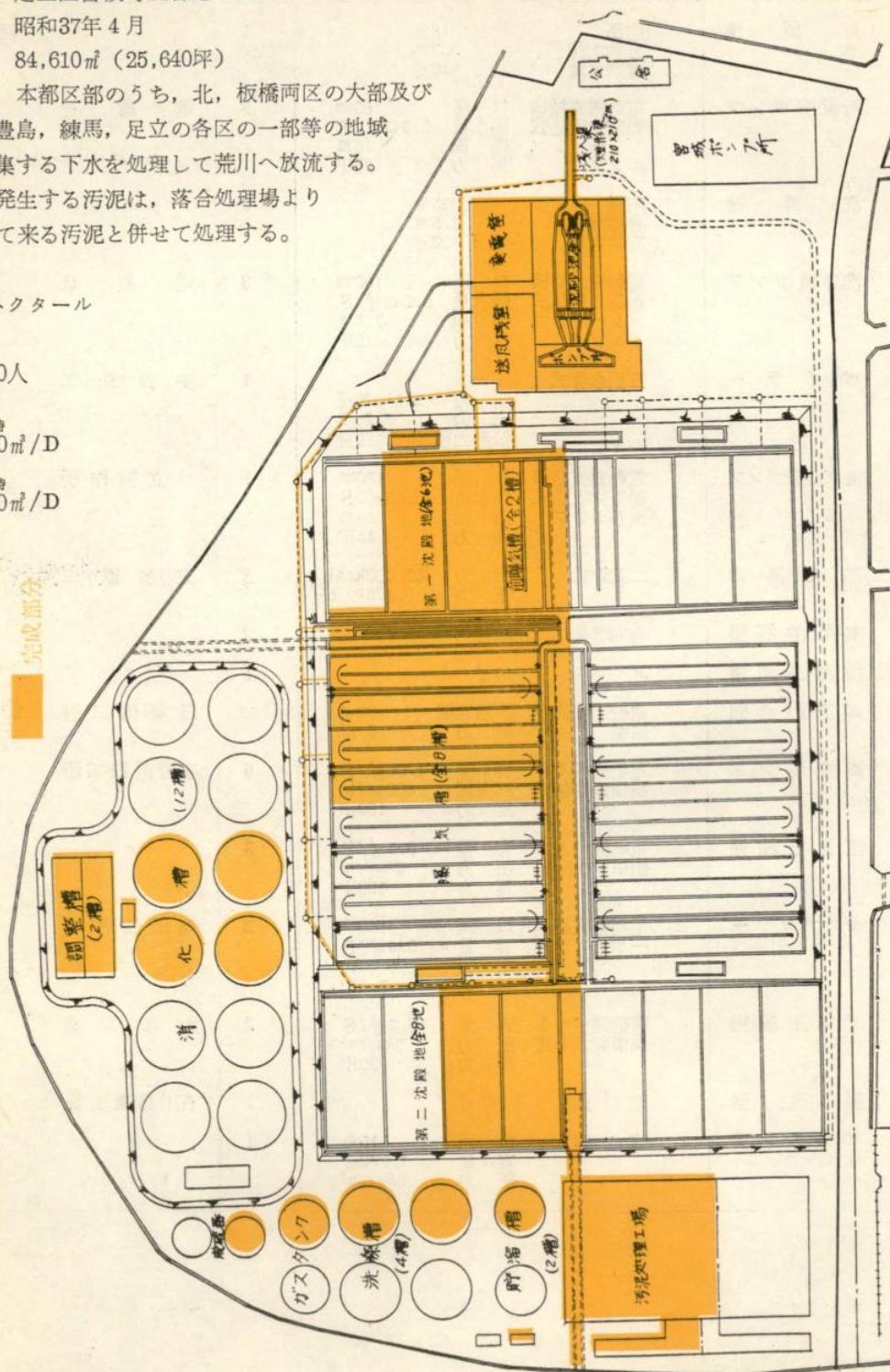
970,000人

計画処理水量

晴天時 420,000m³/D

現有処理能力

晴天時

100,000m³/D

種 別	形 状 其 他	數 量	製 作 所 名	備 考
入口阻水扉	油圧開閉式 矩形型 高巾 2.0m 1.8m	3	桜田機械	
沈砂池	辺有効深さ 高 20.0m ×巾4.0m 2.9m 有効容量 232m ³	3		
揚泥機	固定式	3	桜田機械	
洗砂機	處理能力 3m ³ /h	1	五十嵐鉄工	
高架ホッパー	油圧開閉式 容量 3.5m ³	2	桜田機械	
汙格機	機械搬上式 高巾 2.9m 1.5m × 2 目巾 25mm	3	〃	
篩渣破碎機	スイングハンマー式 處理能力 3m ³ /h	1	五十嵐鉄工	
〃 脱水機	〃 3m ³ /h	1	住友機械	
汚水ポンプ	電動機直結式 軸型片吸込式 渦巻ポンプ 口径 700mm 揚水量 1.25m ³ /S 揚程 13m 馬力 300HP	2	荏原製作所	
前曝氣槽	長巾 51.5m 6.0m 4.5m 有効容量 2,700m ³	1		
第一沈澱池	長巾 50.0m 20.0m 3.6m 有効容量 3,500m ³	2		
攝集機	リングベルト式 主コレクター 長さ 96m グロスコレクター〃 24m	2	日立金属	第一沈澱池用
汚泥ポンプ	電動機直結片吸込式ブレードレスポンプ 口径 160mm 揚水量 0.033m ³ /S 揚程 6m 馬力 10HP	3	電業社	〃
曝氣槽	長巾 70.0m 6.3m 4.2m 有効容量 7,410m ³	2		
送風機	電動機直結横軸型ターボプロア 口径 500mm 風量 6m ³ /S 段数 4 馬力 5.3mAq 533HP	3	荏原製作所	
第二沈澱池	長巾 50.0m 20.0m 4.0m 有効容量 3,900m ³	2		
攝泥機	リンクベルト式 主コレクター 長さ 97.5m グロス〃〃 23.5m	2	日立金属	

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
汚泥ポンプ	電動機直結型 斜流ポンプ	口 径 350mm 揚水量 0.217m ³ /S 揚程 4m 馬力 20HP	2	電 業 社	第二沈澱池用
滅菌機	DV型真空滅菌	30kg/h	1	水道機工	"
濃縮槽	辺 有効深さ 巾 10m × 長40m 4m	2			汚泥処理工場用
濃縮槽ポンプ	電動機直結型 片吸込式渦巻 ポンプ	口 径 160mm 揚水量 0.035m ³ /S 揚程 18m 馬力 25HP	2	電 業 社	"
消化槽	内径 有効深さ 有効容量	23.0m 12.0m 5,000m ³	4		"
汚泥循環ポンプ	電動機直結横 軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口 径 150mm 揚水量 0.047m ³ /S 揚程 12m 馬力 20HP	4	電 業 社	"
貯留槽	内径 有効深さ 有効容量	17.0m 3.0m 680m ³	1		"
貯留槽ポンプ	電動機直結横 軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口 径 160mm 揚水量 0.042m ³ /S 揚程 18m 馬力 25HP	1	電 業 社	"
洗滌槽	内径 有効深さ 有効容量	19.0m 3.0m 850m ³	2		"
洗滌槽ポンプ	電動機直結横 軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口 径 130mm 揚水量 0.02m ³ /S 揚程 5m 馬力 7.5HP	2	電 業 社	"
ボイラー	三胴水管式	圧 力 25m Aq 出 力 3,000,000kcal/h	1	安藤鉄工	"
		伝熱面積 170m ²			
温水循環ポンプ	電動機直結横 軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口 径 180mm 揚水量 0.06m ³ /S 揚程 14m 馬力 20HP	1	電 業 社	"
熱交換器	二重管式	出 力 680,000kcal/h 圧 力 1.5kg/cm ²	4	安藤鉄工	"
薬品溶解槽	有効容量	17m ³	2		"
汚泥混和槽	"	20m ³	1		"
消石灰ホツバー	容 量	5 m ³	1		"
真空汎過機	連続回転式円筒型	汎過面積 32m ² 馬力 2 HP	6	三機工業	"
ケーキホツバー	油圧開口式	容 量 5 m ³	2	三機工業	"

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
真空ポンプ	電動機ベルト 掛横形一段ブ レート弁式	容 量 1.09m ³ /S 真 空 度 600mmHg 馬 力 100HP	3	三 国 重 工	汚泥処理工場用
空気圧縮機	電動機ベルト 掛横型水冷式	容 量 0.5m ³ /S 压 力 3kg/cm ² 馬 力 145HP	1	"	"
ガスプロワー	電動機直結タ ーボプロワー	口 径 160mm 容 量 0.42m ³ /S 压 力 700mmAq 馬 力 7.5HP	2	荏 原 製 作 所	"
ガス圧縮機	電動機ベルト 掛横型水冷單 気筒複動1段 式	容 量 11.9m ³ /m 压 力 5.2kg/cm ² 馬 力 72HP	2	大 都 工 業	"
脱 硫 器	乾 式	30,000m ³ /D	1	石 井 鉄 工	"
ガスタンク	球 形	直 径 15.6m 容 量 2,000m ³ 压 力 5kg/cm ²	1	"	"

第4節 尿尿消化槽 (清掃局委託)

所 在 地 江東区南砂町9丁目2,473番地 砂町処理場内

建設開始 昭和24年9月1日

建設完了 昭和35年3月31日

尿尿消化処理量 計画 2,700m³/D (ほかに種汚泥として下水汚泥20%を混入)

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
尿尿ポンプ	電動機直結横 軸型片吸込式 特殊渦巻ポン プ	口 径 200mm 揚 水 量 0.09m ³ /S 揚 程 8.0m 馬 力 30HP	1	荏 原 製 作 所	
"	"	口 径 200mm 揚 水 量 0.09m ³ /S 揚 程 12.0m 馬 力 40HP	3	"	
尿尿沈砂槽	長巾 有効水深 有効容量	9.9m 11.3m 1.79m 200m ³	1		
汙 格 機	ドル型機械 捲上式	巾 高 2.0m 巾 目巾 35mm	3	三 機 工 業	
汙 格 機	"	巾 高 2.0m 巾 目巾 19mm	3	"	
シサ脱水装置	ロール式圧縮		3	五十嵐鉄工所	

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
調整槽	内径 22.0m 有効深さ 4.75m 有効容量 1,800m ³	1		
攪拌機	翼車式	1	三機工業	
調整槽ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 特殊渦巻ポンプ	揚水量 200m ³ /S 揚程 0.09m 馬力 25HP	2	荏原製作所
"	電動機直結横軸型片吸込式 特殊渦巻ポンプ	揚水量 200m ³ /S 揚程 0.09m 馬力 25HP	1	"
消化槽ポンプ	"	揚水量 200m ³ /S 揚程 0.09m 馬力 21.0m 60HP	3	"
消化槽	内径 25.0m 有効深さ 6.0m 有効容量 3,250m ³	20		
汚泥ポンプ	電動機直結横軸型渦巻ポンプ	揚水量 80m ³ /S 揚程 5m 馬力 3HP	2	三菱化工機 酒井製作所
"	"	揚水量 130m ³ /S 揚程 15m 馬力 1.5HP	1	"
真空脱水機	廻転式		4	三菱化工機
真空ポンプ	電動機ベルト掛横軸型真空ポンプ	口径 760mm×300mm 揚水量 1.13m ³ /S 真空度 500mm/Hg 馬力 100HP	4	ウノサワ組鉄工所
再乾燥床			1,440m ²	
乾燥床			30,000m ²	
乾燥汚泥搔取装置	軌間 10m 横幅自走式	走行速度 4.08m/min	1	浦賀ドック
ガスタンク	内径 {14.8m, 15.25m} 容量 {1,200m ³ , 2,000m ³ }		4	石井鉄工 石川島重工
乾式脱硫機	乾式 5,000m ³ /D		2	石井鉄工
ガス洗滌塔	湿式 5,000m ³ /D		2	"
"	" 21,600m ³ /D		1	岡谷鋼機
洗滌ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式渦巻ポンプ	揚水量 250m ³ /S 揚程 12m 馬力 30HP	1	荏原製作所
"	"	揚水量 0.125m ³ /S 揚程 16m 馬力 30HP	1	日立製作所
攝集機	廻転式		2	住友機械
ボイラー	三胴水管式 出力 {常用=700,000kcal/h, 最大=900,000 "}	2.5kg/cm ²	5	岡谷鋼機 大阪ボイラー
				第1, 第2洗滌槽用

第7章 作業

第1節 管渠

管渠掃除実績表

(昭和36年度)

管理事務所名	中部	北部	東部	
所管区域種別	千代田区(外神田を除く), 中央区(月島を除く), 港区, 品川区の一部, 目黒区の一部, 渋谷区の一部, 新宿区の大部分, 文京区(日本郷区の一部を除く), 台東区(日本下谷区の一部), 東区(日本下谷区の一部), 豊島区の一部, 北区の一部, 豊島区(旧滝野川区の一部)	千代田区(外神田の大部分), 台東区(旧下谷区の一部を除く), 文京区(日本郷区の一部), 荒川区, 北区の一部, 足立区の一部, 豊島区の一部	江東区(旧深川区), 中央区の一部(月島), 墨田区	合計
修理延長(m)	190.60	116.00	73.00	379.60
補修個数(個)	2,275	1,048	519	3,842
掃除延長(m)	442,182	263,269	255,837	961,288
汚泥量(m ³)	10,391.63	9,116.00	6,528.02	26,035.65
掃除個数(個)	9,644	6,647	4,807	21,098
汚泥量(m ³)	239.83	333.58	312.90	886.31
管渠掃除延人員(人)	32,695	16,107	17,839	66,641
〃補修〃(人)	5,563	3,525	1,512	10,600
修理延長(m)	1,624,831	755,763	387,288	2,767,882
修理個数(個)	213,342	103,151	50,385	366,878

作業費実績累年比較表

(過去5年間)

年 度	分 類 管渠 人孔井	管 球 延長 (m)	掃 除 延長 (m)	汚 泥 量 (m ³)	修 繕 員 数 (人)	作 業 費 (直接費のみ)
		同 個 数 (個)	同 個 数 (個)			(円)
昭和 32 年度	管 渠 人孔井	2,396,948	921,416	26,712	55,700	110,120,455
		297,476	29,786	2,195.15	2,053	
昭和 33 年度	管 渠 人孔井	2,489,519	958,919	25,415.68	293.20	122,261,367
		311,370	34,246	2,143.40	3,036	
昭和 34 年度	管 渠 人孔井	2,580,907	976,979	26,836.30	280.00	123,707,299
		328,366	29,587	1,759.45	3,683	
昭和 35 年度	管 渠 人孔井	2,681,332	815,930	22,787.96	654.00	104,920,367
		348,071	26,148	1,434.65	3,805	
昭和 36 年度	管 渠 人孔井	2,767,882	961,288	26,035.65	379.60	154,312,002
		366,878	21,098	886.31	3,842	

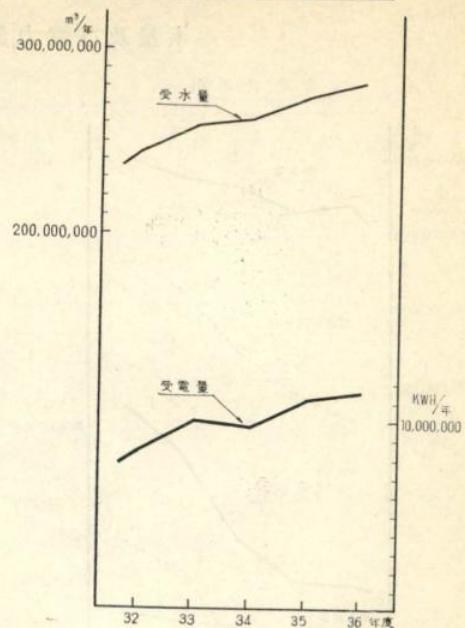
第 2 節 ポンプ所

ポンプ作業状況

(昭和36年度)

ポンプ所	揚水量	揚水量内訳		シサ量	沈砂量	受電量	受電量内訳	
		送水量	放水量				ポンプ運転	諸機械明
錢箱町	100,701,750	100,701,750		1,073.7	1,296.4	4,162,800	3,912,041	250,759
瓶崎町	25,118	25,118		0.6		1,302.9	381	912.9
中洲町	4,774	4,774		0.6		445.9	58	387.9
浜南町	49,925	49,925		1.0		28,729.15	748.3	27,980.85
千住町	4,307,109	4,069,124	237,985	71.35	74.0	105,062.55	67,630	37,432.55
田中町	602,732	602,732		7.6		12,192	7,353	4,839
和地町	4,178,678	4,178,678		82.8		113,093	96,512	16,581
橋場町	623,861	406,678	217,183	76.5		28,212	16,084	12,128
橋場町	6,841,412	4,262,162	2,579,250	125.7	145.25	366,036	353,039	12,997
橋場町	964,089	796,284	167,805	15.4		38,153	25,129	13,024
汐入町	1,953,565	1,722,830	230,735	3.2		48,474	41,286	7,188
山木町	328,850	328,850		12.5		10,408	6,085	4,323
越中町	70,652,009	65,693,389	4,958,620	316.0	782.0	2,171,424	1,706,080	465,344
月島町	89,540	89,540		1.9		8.0	20,628	1,300
月島町	8,063,654	8,063,654		63.4	134.1	554,893	516,480	38,413
砂町	640,200	640,200				21.0	35,322.34	35,322.34
三業町	36,373,565	33,472,190	2,901,375	210.65	207.0	1,139,580	838,535	301,045
吾平橋	16,442,620	14,566,800	1,875,820	151.1	44.0	656,080	413,274	242,806
吾平橋	29,861,474	27,404,134	2,457,340	262.05	268.0	1,234,584	1,053,870	180,714
合 計	282,704,925	265,666,523	17,038,402	2,476.05	2,979.75	10,727,419.84	9,055,885.31	1,671,534.54

水量及電力量較近5年間の推移(ポンプ所)



ポンプ所経常費

過去5年間の比較

年 度	作 業 費	揚 水 量	揚水量 100m³ 当り作業費
32	円 70,882,988	m³ 243,630,749	円 29.09
33	72,254,634	258,268,809	27.98
34	69,665,705	262,752,707	26.62
35	73,209,092	274,571,669	26.66
36	85,167,314	282,709,165	33.19

第3節 下水処理場

処理作業状況

処理 場名	処理水量	処理水量内訳			シサ量	沈砂量	薬品 使用量	受電量	受電量内訳	
		簡易 処理水量	高級 処理水量	汚泥量					付属ポンプ所 ポンプ運転	処理用
芝浦	m³ 251,813,272	m³ 131,785,648	m³ 119,333,774	m³ 693,850	m³ 2,752,33	m³ 294,9249	kg 700,16,393,089	kWh 7,987,198	kWh 8,405,891	
三河島	86,631,310	4,033,395	82,161,864	436,051	876,55	2,167	16,260	12,729,968,6	4,077,076,6	8,652,892
砂町	70,303,763	14,250,999	55,258,467	794,297	153,8	0	48,314	12,704,440	4,609,654	8,094,786
合計	408,748,345	150,070,042	256,754,105	1,924,198	3,782,655,461,9	314,274	41,827,497,6	16,673,928,6	25,153,569	

汚泥処理作業状況

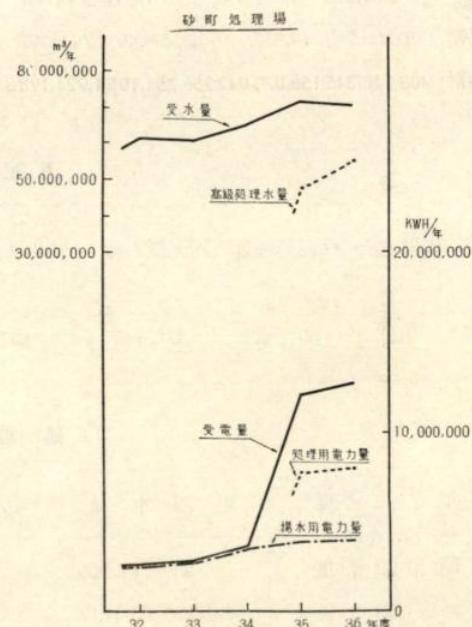
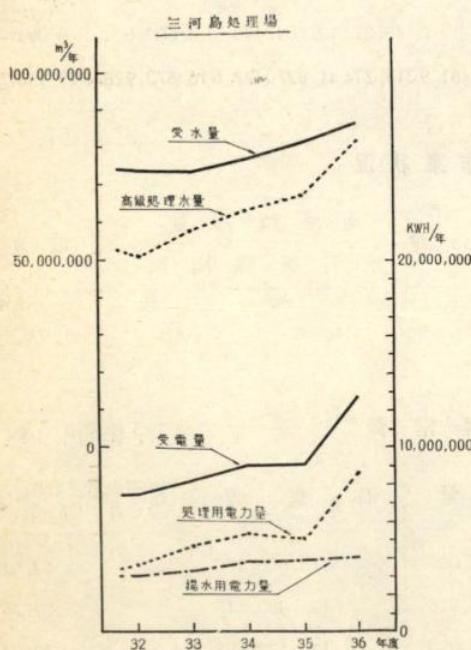
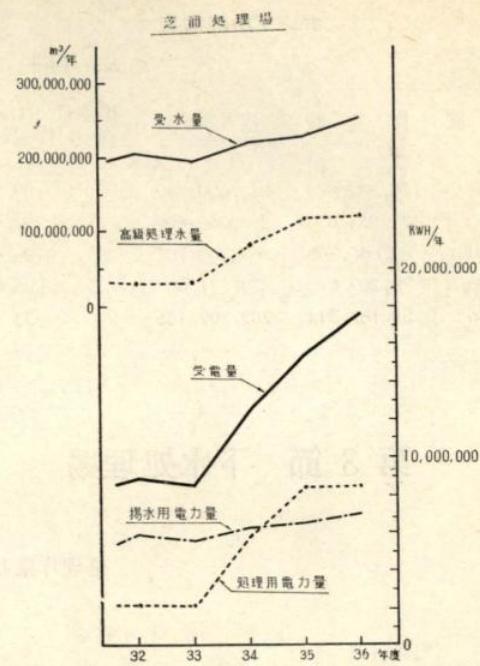
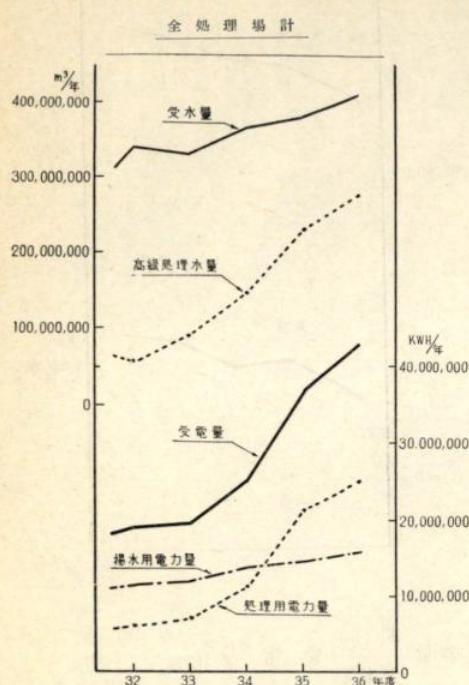
処理場名	汚泥処理量	汚泥投入量	消化汚泥量	脱水汚泥量	薬品使用量		受電量
					消石灰	鉄塩剤	
芝浦	m³ 391,448	m³ 391,448	m³ 172,633	m³ 1,766.5	kg 111,942	kg 67,008	kWh 1,092,631

処理場経常費

過去5年間の比較

年 度	処理水量	汚泥量	作業費	処理水量 100m³ 当り作業費
昭和32年度	m³ 339,714,909	m³ 1,284,005	円 118,605,100	円 34.91
〃 33 〃	328,051,617	1,396,016	123,832,115	37.75
〃 34 〃	364,175,547	1,373,030	142,172,508	39.04
〃 35 〃	380,583,785	2,043,041	180,781,094	47.50
〃 36 〃	408,748,345	1,924,198	226,507,385	55.41

水量及び電力量最近5年間の推移



第4節 水質試験

(1) 芝浦処理場

(昭和36年度平均)

試料名	生下水	〃	活性汚泥法 処理水
採取箇所	第一沈澱池入口	第一沈澱池出口	第二沈澱池出口
水温	19.76	19.8	19.76
水温	17.75	17.7	17.85
透視度	3.4	4.8	64.8
色相			
臭氣			
P.H. 値	7.1	7.1	7.0
蒸発残留物	1,034	710	930
熱灼残留物	691.2	554.3	694.8
熱灼減量	418	306	235
溶解性物質	755	802	918
浮遊物質	233	108	14
溶存酸素 (D.O.)	1.71	1.71	4.60
酸素飽和百分率	16.23	16.66	54.77
B.O.D.	197.83	117.84	9.25
C.O.D. (高温法)	191.35	113.90	15.08
総窒素	38.75	27.97	11.56
アンモニア性窒素	17.38	11.65	8.37
アルブミノイド窒素	6.91	4.20	0.59
亜硝酸性窒素	0.27	0.24	0.25
硝酸性窒素	0.39	0.21	0.27
有機性窒素	20.78	13.35	2.74
塩素イオン	284	323	408
硫化物 (ヨウ素消費量)	29.26	22.75	5.6
油類	12.83	9.17	2.00
一般細菌数	4,075,000	4,145,000	26,500
遠藤赤変菌数	80,000	49,800	1,088

(2) 三河島処理場

(昭和36年度平均)

試 料 名	生 下 水	〃	〃	活性汚泥法 バドル式 処理 水	活性汚泥法 散 気 式 処理 水	散水ろ床法 処理 水	河 水
採 取 個 所	沈 砂 池	第一沈澱池 入 口	第一沈澱池 出 口	第二沈澱池 出 口	第二沈澱池 出 口	最終沈澱池 出 口	荒 川
氣 温	18.8	18.8	18.8	18.8	18.8	18.8	18.8
水 温	17.4	17.5	17.6	18.0	18.0	17.8	18.1
透 視 度	3.6	2.2	3.9	31.3	36.5	10.7	7.7
色 相							
臭 気							
P H 値	6.9	6.9	6.8	7.1	7.0	7.0	6.7
蒸 発 残 留 物	1,398	1,644	1,533	1,404	1,193	1,607	2,090
熱 灼 残 留 物	843	965	1,014	974	810	1,101	1,479
熱 灼 減 量	555	679	519	430	383	506	611
溶 解 性 物 質	1,093	1,158	1,378	1,371	1,178	1,544	1,970
浮 遊 物 質	303	486	155	33	15	63	120
溶存酸素 (D.O.)	4.43	3.99	3.23	2.89	3.42	4.36	1.58
酸 素 鮑 和 百 分 率	42.6	38.8	31.0	29.6	35.7	42.6	16.2
B. O. D.	207.7	229	170.6	11.4	16.4	19.5	61.3
C.O.D. (高温法)	170.1	186.1	138.2	21.6	16.70	35.0	73.0
總 窒 素	36.21	42.77	34.53	18.55	17.10	24.64	10.77
アンモニア性 窒 素	16.60	17.71	18.08	14.11	10.18	12.77	5.03
アルブミノイド 窒 素	6.45	8.65	5.38	0.94	0.92	1.56	1.71
亜 硝 酸 性 窒 素	0.18	0.22	0.23	0.26	0.42	0.41	0.05
硝 酸 性 窒 素	2.15	2.14	2.00	0.59	3.38	6.24	0.49
有 機 性 窒 素	17.28	22.70	14.22	3.59	3.12	5.22	5.20
塩 素 イ オ ン	381	422	537	560	436	665	897
硫化物 (ヨウ素消費量)	29.1	41.0	22.9	3.6	2.5	8.3	17.1
油 類	13.7	14.9	9.4	2.8	2.9	5.7	6.0
一 般 細 菌 数	5,100,000	4,810,000	6,750,000	134,000	117,000	2,070,000	5,030,000
遠 藤 赤 変 菌 数	37,000	37,800	37,900	850	890	10,150	186,000

(3) 砂町処理場

(昭和36年度平均)

試 料 名	生 下 水	〃	〃	活性汚泥法 散気式処理水
採 取 個 所	マンホール	第一沈澱池入口	第一沈澱池出口	第二沈澱池出口
水温	19.0	19.2	19.1	19.0
水温	18.2	18.2	17.9	19.2
透視度	6.0	3.8	4.8	32.4
色相				
臭氣				
P H 値	7.1	7.3	7.2	7.4
蒸発残留物	2,954	3,192	2,965	2,492
熱灼残留物	2,222	2,320	2,255	1,932
熱灼減量	732	872	710	560
溶解性物質	2,764	2,856	2,773	2,449
浮遊物質	190	336	192	43
溶存酸素 (D.O.)	2.53	1.71	1.48	4.10
酸素飽和百分率	24.38	16.41	16.65	42.62
B. O. D.	144.05	217.20	135.10	19.30
C. O. D. ()	86.05	127.50	99.87	20.50
総窒素	24.62	49.68	42.89	46.06
アンモニア性窒素	11.18	30.44	29.50	37.29
アルブミノイド窒素	4.18	6.28	5.09	3.07
亜硝酸性窒素	0.11	0.13	0.12	0.08
硝酸性窒素				
有機性窒素				
塩素イオン	1,223	1,266	1,229	1,099
硫化物 (ヨウ素消費量)	33.07	59.26	46.79	17.75
油類	7.1	10.6	8.9	6.5
一般細菌数	2,871,000	1,015,000	2,780,000	87,000
遠藤赤変菌数	263,000	476,000	197,000	2,900

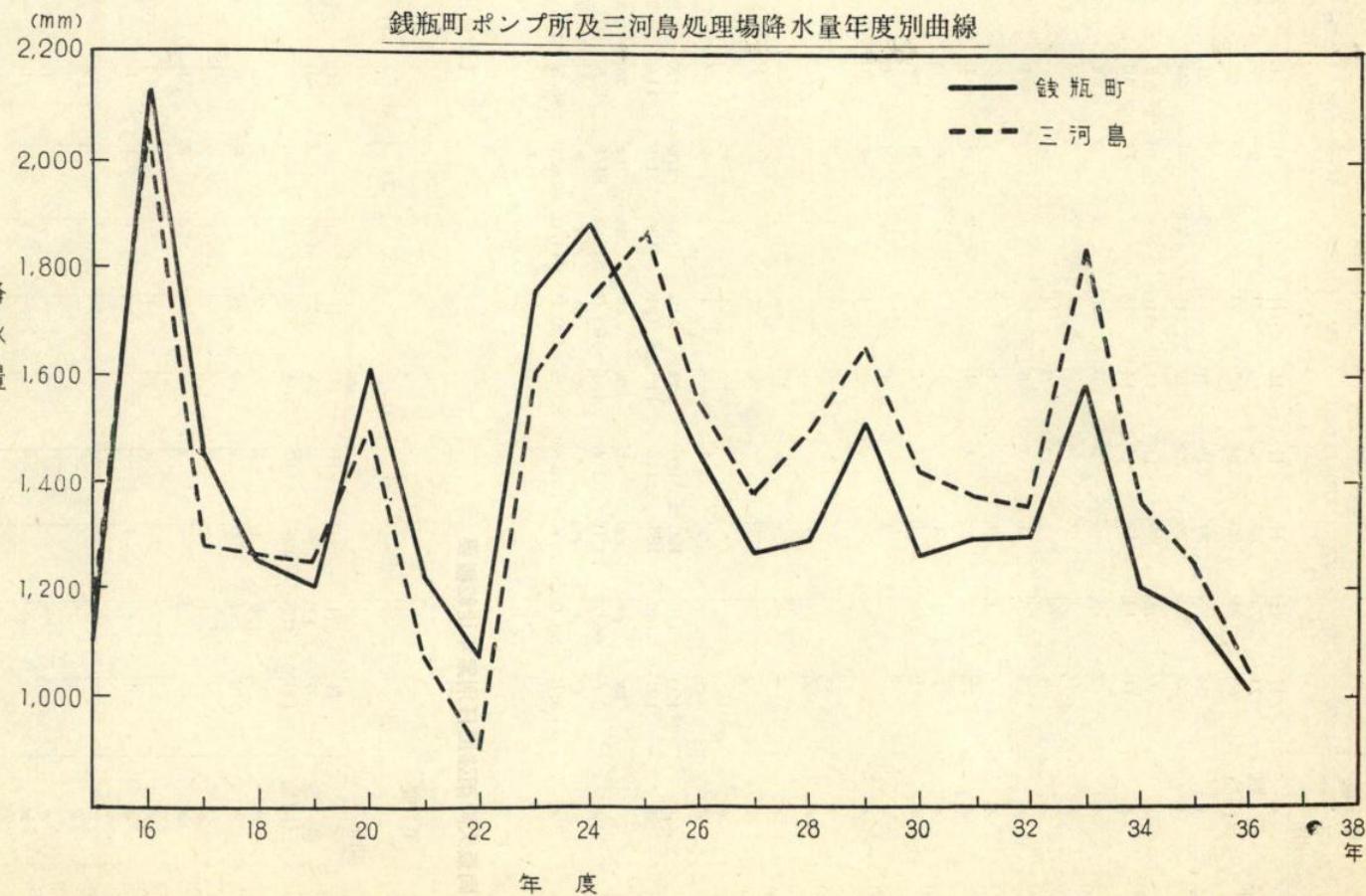
第5節 降水量

(1) 錢瓶町ポンプ所及び三河島処理場降水量月別累年比較概要

(最近10年間)

月別 場所	年度		27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	10カ年 平均
	月	年	mm	mm									
4月	錢瓶	179.4	39.6	137.4	75.6	116.1	99.8	▲ 24.6	124.1	143.9	175.7	111.62	
	三河島	188.8	44.4	170.4	77.8	122.8	108.7	▲ 26.8	135.4	155.9	148.1	117.91	
5月	同	121.7	140.4	111.6	131.7	● 279.6	133.1	65.0	162.0	99.9	42.6	128.76	
	同	118.3	152.9	125.0	144.7	● 306.4	145.9	69.5	186.5	112.2	47.8	140.92	
6月	同	● 206.9	177.8	● 253.6	71.5	95.4	● 274.1	55.0	95.6	69.5	● 271.1	157.05	
	同	● 228.1	179.3	● 275.2	62.6	96.2	● 287.3	56.2	126.6	62.3	272.8	164.67	
7月	同	189.0	164.9	92.8	55.2	78.5	128.9	168.3	54.1	▲ 27.2	25.8	98.47	
	同	219.3	171.9	125.0	68.5	89.0	108.7	226.1	66.0	▲ 29.3	29.5	113.33	
8月	同	64.8	192.3	111.3	178.0	96.4	▲ 30.3	69.2	113.2	● 196.1	23.7	107.53	
	同	49.7	232.8	115.3	178.8	91.2	▲ 34.5	72.8	135.0	● 226.8	24.1	116.10	
9月	同	128.3	● 206.8	222.4	156.4	169.1	215.8	● 574.3	139.2	143.7	28.1	● 198.41	
	同	132.7	● 245.4	234.3	183.1	176.2	214.1	● 687.8	163.8	135.6	35.2	● 220.82	
10月	同	92.6	128.7	117.9	● 252.4	259.3	105.3	286.3	● 176.5	150.5	263.7	183.32	
	同	101.2	135.4	147.8	● 316.3	267.9	117.1	267.0	● 199.4	182.3	● 302.6	203.70	
11月	同	102.7	▲ 13.2	122.2	86.6	56.4	43.3	65.0	99.1	102.9	43.8	73.52	
	同	114.1	▲ 20.5	133.0	102.3	65.4	57.1	82.8	97.8	110.2	47.0	83.02	
12月	同	17.6	35.7	73.2	▲ 20.1	1.9	109.9	86.3	131.2	63.2	32.4	57.15	
	同	▲ 16.2	43.1	68.2	▲ 22.9	2.9	109.6	93.3	139.0	72.7	33.0	60.09	
1月	同	34.0	62.9	▲ 37.6	74.9	▲ 0.5	59.2	30.3	50.7	31.1	36.2	▲ 41.74	
	同	31.4	91.2	▲ 38.0	88.0	▲ 0.3	56.8	54.0	49.5	30.0	33.0	▲ 47.22	
2月	同	▲ 17.2	35.9	71.4	35.8	74.3	54.4	89.3	▲ 5.2	34.9	▲ 8.8	42.72	
	同	34.6	43.8	74.2	44.9	80.8	62.0	107.7	▲ 3.6	37.7	▲ 12.0	50.13	
3月	同	109.2	90.6	166.1	118.5	62.7	48.1	67.9	51.7	79.5	54.0	84.83	
	同	139.2	118.6	149.2	128.8	67.7	50.7	86.6	49.4	83.6	48.5	92.23	
合計	同	1,263.4	1,288.8	1,517.5	1,256.7	1,290.2	1,302.2	1,581.5	1,202.6	1,142.4	1,005.9	1,285.12	
	同	1,373.6	1,479.3	1,655.6	1,418.7	1,366.8	1,352.5	1,830.6	1,352.0	1,238.6	1,033.6	1,410.13	

(注) ●……最大降水量、▲……最小降水量



第6節 汚泥処理

(1) 概要

処理場において、汚水処理過程に発生する汚泥の処分方法としては、戦前まで海中投棄によつていたが、戦時のため汚泥運搬船の運行は不能となり、他方資源活用の見地から汚泥の肥料化が得策であるため処理場内に汚泥乾燥床を設け、天日乾燥のうえ売却していた。汚泥処理工場の完成後は、機械力を利用して脱水乾燥し大半は肥料として販売している。

沈澱汚泥の大部分は全購連及び東那有機肥料株式会社へ売却、また三河島処理場の汚泥消化槽から排出する消化汚泥も同様日本有機肥料株式会社に売却していた。

また、砂町し尿消化槽から排出するし尿消化汚泥は真空脱水機または乾燥床で脱水乾燥し、清掃局において売却している。

(2) 汚泥処分状況

(単位 m^3)

年度	沈 澱 汚 泥						消 化 汚 泥						し尿消化汚泥		計	
	芝 浦		三 河 島		砂 町		芝 浦		三 河 島		砂町(消化槽)					
	乾燥量	売却量	乾燥量	売却量	乾燥量	売却量	乾燥量	売却量	乾燥量	売却量	乾燥量	売却量	乾燥量	売却量		
27	2,895.1	1,343.5	1,560.3	1,070.5					251.7	215.3			4,707.1	2,629.3		
28	2,132.4	1,394.8	1,303.0	934.2					214.4	252.3	595.7	17.0	4,245.5	2,598.3		
29	2,664.9	1,638.4	1,845.2	1,786.1					232.0	241.2	2,421.6	3,411.8	7,163.7	7,077.5		
30	2,676.5	1,698.6	1,622.6	1,429.4					287.2	243.3	5,743.0	5,743.0	10,329.3	9,114.3		
31	2,816.0	1,770.6	1,463.0	1,454.6					246.3	324.2	10,858.0	10,858.0	15,383.3	14,407.4		
32	2,054.0	1,669.8	1,104.4	873.0	1,665.0	1,520.0			127.1	97.1	10,222.0	10,222.0	15,172.5	14,381.9		
33	1,737.0	1,731.0	855.3	314.1	1,973.0	1,800.0			222.1	137.6	13,015.0	13,015.0	17,802.4	16,997.7		
34	3,125.0	1,881.33	106.3	01,642.0	1,544.0				226.7	131.7	15,479.0	15,479.0	20,579.0	19,036.03		
35	2,520.0	1,744.09	—	—	2,305.0	1,393.0	—	—	198.38	119.38	20,057.0	20,057.0	25,080.38	23,313.47		
36	584.0	404.4	—	—	1,602.5	1,516.5	1,766.5	—	158.0	120.0	21,601.5	21,601.5	25,712.5	23,642.4		

第7節 処理水の利用

処理水は、従来そのまま河海に放流していたが、これら未利用資源を活用して事業運営の効果をあげるために、処理水の工業用水化を実施している。

すなわち、三河島処理場においては、汚泥活性法による処理下水を、急速濾過施設により更に濾過して供給するもので、昭和30年2月から千住製紙工場と供給契約を結び送水中であるが、逐次拡大する計画である。

三河島処理場急速砂濾過施設

濾過池 6池その他一式

当初施設	3池
昭28-12 起工	昭29-8 竣工
工事費	25,462,171円
増設施設	3池
昭34-6 起工	昭34-11 竣工
工事費	25,121,725円

	送水 量 (m³)	収入金額 (円)
29 年 度	472,650	936,476
30 //	3,879,140	7,582,452
31 //	4,399,090	8,513,362
32 //	4,815,270	9,267,486
33 //	5,320,460	10,176,828
34 //	5,948,860	11,307,948
35 //	6,642,880	13,037,184
36 年 度	7,392,020	15,778,519

第8節 尿尿消化槽

昭和36年度作業実績

尿尿量	投入汚泥量	篩渣量	脱離水	消化汚泥量	乾燥量	ガス発生量	軽油消費量	電力量
810,729	805,364	5,365	747,858	144,867	21,601.5	4,540,300	3,831	2,805,896

第8章 工事施行状況

第1節 拡張工事

総括表

種別	施行内容
管渠敷設 2,731,523,120円	幹線延長 5,123.25 m 枝線〃 50,683.59 m 側溝〃 20,607.39 m 設計委託 8件 試堀 6件 1,527個所
ポンプ所 587,715,981円	構築物 大島ポンプ放流渠 構築物及び建物基礎 藍染, 日本堤ポンプ所上家 千住ポンプ所, 流入渠門牌 建物 千住, 隅田, 上家新築 日本堤仮事務所 機械装置 小松川ポンプ所 污水ポンプ 1台 〃 雨水ポンプ 2台 電気設備 小松川ポンプ所 配電盤 設計委託, その他 6件
処理場 4,308,636,659円	構築物 砂町処理場 消化槽 8槽, 曝気槽 4槽 沈殿池 4池, 散気板取付 6,048枚 小台処理場 ガスタンク 1基 洗滌槽 2槽 貯留槽 1槽, 消化槽 4槽, 前曝氣槽 1槽 沈殿池 3池 芝浦処理場 散気板取付 6,048枚 第2沈殿池 8池 落合処理場 曝気槽 4槽 建物 落合, 小台, 砂町処理場上家 ポンプ 小台処理場 汚泥ポンプ 2台, 排水ポンプ 2台 砂町処理場 汚泥ポンプ 2台, 排水ポンプ 1台 芝浦処理場 汚泥ポンプ 3台, 給水ポンプ 2台, 排水 ポンプ 2台 機械装置 小台処理場 ボイラー 1罐, 循環ポンプ 5台, 真空汎 過機 6台, 汚泥ポンプ 14台, 真空ポンプ 3台 芝浦処理場 ターボプロワー 4台, 採泥機 6台

種 別		施 行 内 容
施 設 拡 張	処 理 場	砂町処理場 汚過機 4 台, 真空ポンプ 2 台, 熱交換器 4 基, 循環ポンプ 4 台 電気設備 芝浦, 小台, 砂町処理場, 配電盤配線各 1 式 付帯工事 9 件 設計監理委託 10 件
	用 地 買 収 672,834,948円	管渠用地 2 件 ポンプ所用地 3 件 処理場用地 3 件
	そ の 他 504,485,379円	事務費, 補償費, 鋼矢板, I 型鋼, 計算器, 乗貨自動車購入 その他
失 業 対 策 管 渠 施 設 90,758,632円	枝 線 延 長 就労人員延	6,547.07m 65,746人
特 別 失 業 対 策 管 渠 施 設 215,683,756円	枝 線 延 長 就労人員延	14,344.9m 70,365人

(1) 管 渠 敷 設

種 別	工 事 名	数 量	金 領	着 竣	手 功	備 考
幹 線	尾久幹線その 5 工事	幹 468.15 枝 66.25	円 80,104,094	36. 37.	4. 1 3. 31	
	岩渕幹線その 3 工事	幹 170.23 枝 65.70	32,683,980	36. 36.	4. 1 10. 11	
	石神井川下幹線その 7 工事	幹 95.10	13,689,069	36. 37.	5. 19 2. 15	
	戸越幹線その 3 工事	幹 198.93	26,743,953	36. 36.	5. 1 11. 7	
	神田川幹線その 5 工事	幹 28.00	10,341,489			日本国有鉄道委託
	桃園川幹線その 5 工事	幹 228.21	25,848,299	36. 36.	6. 5 12. 11	
	石神井川下幹線その 6 工事	幹 79.00	9,679,560	36. 37.	6. 16 1. 20	
	神田川幹線その 7 工事	幹 91.93 枝 520.99	19,678,068	36. 37.	6. 14 1. 31	
	砂幹線その 9 工事	幹 278.61	96,727,689	36. 37.	7. 12 3. 30	
	宇田川幹線その 2 工事	幹 360.00 枝 7.60	112,312,980	36. 37.	7. 12 3. 30	

種 別	工 事 名	數 量	金 額	着 手 功	備 考
幹 線	宇田川幹線その3工事	幹 352.00 枝 11.50	円 105,392,533	36. 7. 12 37. 3. 30	
	王子幹線工事	幹 752.54 枝 162.31	63,120,238	36. 7. 12 継続施工	継続額 61,159,762円
	神田川幹線その8工事	幹 412.03 枝 65.40	75,282,670	36. 6. 15 37. 2. 12	
	渋谷川幹線その12工事	幹 73.05	16,565,127	36. 11. 6 継続施工	継続額 31,584,873円
	岩渕幹線その4工事幹	幹 14.90	1,350,000	37. 2. 6 37. 3. 24	
	神田川幹線その9工事	幹 194.65	39,484,473	36. 10. 16 37. 3. 31	
	戸塚西幹線その1工事	幹 182.90	13,471,014	36. 10. 9 37. 3. 6	
	渋谷川幹線その13工事	幹 98.66 枝 3.94	26,090,855	37. 1. 20 継続施工	継続額 49,909,145円
	桃園川幹線その6工事	幹 124.73	16,954,202	36. 11. 6 37. 3. 31	
	渋谷川幹線その14工事	幹 55.95	11,127,175	37. 1. 20 37. 3. 31	
	岩渕幹線その5工事	幹 213.17 枝 40.25	45,750,624	36. 11. 18 37. 3. 31	
	岩渕幹線その6工事	幹 229.25	52,446,891	36. 11. 18 37. 7. 31	
	岩渕幹線その7工事	幹 264.85	47,744,729	36. 11. 22 継続施工	継続額 4,805,271円
	戸越幹線その4工事	幹 14.40	2,143,484		東京急行電鉄委託
	千駄ヶ谷幹線その1工事	幹 114.11 枝 5.90	35,505,804	36. 10. 6 継続施工	継続額 36,694,196円
	神田川幹線その6工事	幹 27.90	11,672,280	36. 5. 23 36. 10. 31	
	岩渕幹線危険防止工事		1,377,681	36. 10. 12 36. 11. 30	
	渋谷川幹線その12工事に伴う擁壁築造工事		1,530,000		西武電鉄委託
枝 線	江東区木場3, 4丁目付近枝線工事	498.13	26,712,912	36. 10. 30 37. 3. 31	
	板橋区志村本蓮沼町付近 //	345.90	5,475,534	36. 11. 4 37. 2. 23	
	墨田区吾嬬町東7丁目付近 //	103.67	11,686,670	36. 10. 30 継続施工	継続額 21,273,330円
	墨田区隅田町1丁目付近枝線その1工事	185.95	51,736,048	36. 11. 6 37. 3. 31	

種別	工事名	数量	金額	着工 着手	備考
枝線	墨田区吾嬬町東6丁目付近枝線工事	57.06 m	円 7,289,406	36. 12. 5 継続施工	継続額 29,400,594円
	墨田区吾嬬町東5丁目付近 //	912.75	16,968,048	36. 12. 1 37. 3. 19	
	墨田区吾嬬町東1丁目付近 //	738.11	13,090,427	36. 12. 15 37. 3. 31	
	墨田区隅田町1丁目付近枝線その2工事	37.75	13,615,326	37. 1. 11 継続施工	継続額 40,884,674円
	北区田端町付近枝線その2工事	273.10	4,086,987	36. 12. 25 37. 3. 15	
	江東区越中島町付近枝線工事	196.27	2,126,090	36. 12. 22 37. 3. 9	
	豊島区目白3丁目、雑司ヶ谷1,6,7丁目付近 //	792.60	6,944,500	37. 1. 4 37. 3. 16	
	渋谷区原宿2丁目付近枝線その1工事	780.85	9,549,928	37. 1. 6 37. 3. 26	
	新宿区西大久保1丁目中里町付近枝線工事	347.60	3,067,982	37. 1. 8 37. 3. 17	
	北区王子本町1, 2丁目付近 //	160.61	6,140,986	37. 1. 16 継続施工	継続額 15,309,014円
	新宿区戸山町付近枝線その5工事	422.90	3,609,654	37. 2. 13 37. 3. 31	
	文京区関口町付近枝線工事	87.60	1,258,297	37. 2. 26 37. 3. 20	
	豊島区西巣鴨2丁目付近枝線その2工事	419.59	4,101,460	37. 2. 10 37. 3. 31	
	港区芝白金三光町付近枝線その8工事	187.35	2,367,052	37. 2. 6 37. 3. 22	
	豊島区堀の内町付近枝線その4工事	488.30	4,291,190	37. 2. 24 37. 3. 31	
	北区豊島3丁目付近枝線工事	135.5	2,511,864	37. 2. 24 37. 3. 30	
	墨田区吾嬬町西2丁目付近枝線その4工事	681.03	11,147,817	36. 5. 18 36. 8. 8	
	江東区南砂町5, 6丁目付近枝線工事に伴う電話線人孔仮設工事		3,744,676		東京電気通信局委託
	江東区南砂町5丁目付近 迂回路築造並びに撤去工事		2,678,378	36. 5. 24 36. 11. 30	
	江東区南砂町元八幡通り 道路仮復旧工事		1,500,000	36. 12. 20 37. 1. 30	
	江東区南砂町5, 6丁目付近枝線その1工事	453.45	89,441,219	35. 10. 29 36. 11. 30	35年度より繰越 81,765,549円
	江東区南砂町5, 6丁目付近枝線その2工事	351.60	102,914,854	35. 10. 29 36. 11. 17	

種別	工事名	数量	金額	着手	備考
枝線	江東区南砂町2, 3丁目付近枝線工事	m 269.50	円 78,120,563	35. 10. 29 36. 10. 30	35年度より繰越 71,067,899円
	港区高浜町付近枝線工事	164.00	1,860,000	35. 10. 12 36. 4. 30	建設局へ委託
	江東区大島町6丁目付近枝線その1 工事外3件に伴う地質調査工事		280,000	37. 2. 26 37. 3. 20	
	江東区南砂町2～6丁目付近 セメント乳液注入工事		14,850,000	36. 4. 10 36. 10. 31	
	渋谷区下通1, 2丁目付近枝線工事	1,809.30	52,599,561	36. 9. 20 37. 3. 20	
	江戸川区平井町1丁目付近 //	242.37	69,532,319	36. 9. 21 37. 3. 20	
	渋谷区中通1, 2丁目, 氷川町付近//	2,029.35	57,803,032	36. 9. 30 37. 3. 24	
	渋谷区千駄ヶ谷1, 3, 4丁目付近//	2,252.92	30,073,857	36. 9. 11 37. 2. 19	
	渋谷区中通1, 2丁目付近 //	63.40	5,123,392	36. 9. 19 37. 3. 20	
	渋谷区常盤松町中通2丁目付近枝線 その2工事	1,372.95	45,754,363	36. 10. 20 37. 2. 6	
	新宿区西落合2丁目付近枝線工事	1,565.40	27,429,286	36. 10. 2 37. 3. 10	
	北区西ヶ原3, 4丁目付近 //	1,662.62	19,544,687	36. 10. 9 37. 2. 10	
	新宿区戸塚町3丁目下落合1, 2丁 目付近枝線工事その2工事	1,308.28	19,270,505	36. 10. 9 37. 2. 22	
	足立区宮城町付近枝線工事	264.05	30,718,906	36. 10. 2 37. 3. 31	
	中野区上高田1, 2丁目付近 //	1,477.61	31,194,544	36. 10. 2 37. 3. 19	
	中野区神明町, 本郷通3丁目付近//	615.06	33,281,875	36. 10. 19 37. 3. 8	
	渋谷区下通2, 3丁目付近 //	1,229.05	28,152,312	36. 9. 30 37. 3. 17	
	渋谷区代官山町付近 //	485.07	17,999,309	36. 10. 3 37. 3. 30	
	台東区上野桜木町付近 //	103.00	1,079,478	36. 10. 2 36. 11. 6	
	渋谷区緑ヶ丘町羽沢町付近 //	1,656.45	22,687,652	36. 10. 9 37. 3. 6	
	渋谷区千駄ヶ谷2丁目付近 //	95.50	13,001,540	36. 10. 3 継続施工	継続額 18,688,460円
	新宿区早稲田鶴巣町馬場下町付近//	725.75	6,944,458	36. 10. 9 36. 12. 27	

種 別	工 事 名	数 量	金 領	着 竣 手 功	備 考
枝 線	足立区千住緑町2, 3丁目千住柳町付近 //	819.58 m	9,363,272 円	36. 10. 21 37. 2. 19	
	品川区大井伊藤町, 大井森前町付近 //	988.10	30,495,445	36. 10. 20 37. 3. 31	
	港区麻布笄町付近 //	138.15	1,421,996	36. 11. 2 36. 12. 7	
	江東区南砂町5, 8丁目付近 //	135.80	12,811,185	36. 10. 24 継続 施行	継続額 41,988,815円
	杉並区馬橋2丁目付近 //	433.04	15,515,115	36. 10. 21 37. 3. 31	
	豊島区池袋5, 6丁目付近 //	1,383.56	17,437,024	36. 10. 25 37. 3. 31	
	目黒区下目黒2, 3丁目付近 //	135.55	24,497,120	36. 11. 24 37. 3. 31	
	中野区八島町新山通2, 3丁目付近 //	1,449.31	27,408,025	36. 10. 25 37. 3. 31	
	港区芝白金三光町付近枝線その7工事	594.45	5,887,784	36. 10. 30 36. 2. 20	
	杉並区和田本町付近枝線工事	414.80	41,075,694	36. 11. 10 37. 3. 31	
幹 線	神田川幹線その8工事外1件に伴う地質調査工事		285,000	36. 5. 8 36. 7. 8	
	石神井川下幹線その8工事に伴う地質調査工事		400,000	36. 12. 1 37. 2. 1	
	神田川幹線その10工事外1件に伴う地質調査工事		320,000	36. 12. 1 37. 1. 17	
	石神井川下幹線その8工事		0	37. 4. 2 37. 8. 15	継続額 11,000,000円
枝 線	杉並区高円寺4丁目付近枝線工事	596.50	21,278,892	36. 7. 25 37. 3. 31	
	板橋区熊野町付近枝線その2工事	338.55	37,960,163	36. 5. 4 36. 10. 16	
	北区赤羽町2丁目付近枝線その3工事	97.75	16,941,830	36. 5. 19 36. 10. 6	
	墨田区吾嬬町西7, 8丁目付近枝線工事	654.12	39,106,688	36. 5. 22 36. 12. 8	
	新宿区西落合2, 3丁目付近 //	581.30	16,007,228	36. 5. 19 36. 8. 1	
	板橋区大山金井町, 大山町付近 //	585.05	24,518,255	36. 6. 5 36. 10. 17	
	中野区江古田4丁目付近 //	355.60	6,915,356	36. 6. 23 36. 8. 19	
	中野区向台町, 本郷通1丁目付近 //	935.95	16,311,131	36. 6. 19 36. 10. 27	

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 端	手 功	備 考
枝 線	中野区千光町, 宮園通3丁目付近 枝線工事	836.26	円 19,179,015	36. 6. 19 36. 11. 30		
	豊島区高松町1, 2丁目付近 //	992.29	38,627,542	36. 6. 19 36. 12. 15		
	港区芝白金三光町芝白金志田町付近 枝線工事	1,160.46	27,766,204	36. 7. 21 36. 12. 4		
	豊島区白町3丁目付近枝線工事	341.20	2,531,741	36. 7. 11 36. 9. 25		
	北区田端町付近枝線工事	1,016.72	11,506,916	36. 7. 20 36. 11. 9		
	渋谷区本町2, 3丁目付近枝線その 2工事	1,847.50	17,355,368	36. 7. 22 36. 11. 30		
	新宿区西落合1丁目付近枝線工事	548.50	27,589,486	36. 8. 16 37. 3. 31		
	豊島区長崎1, 2, 3丁目, 千早町1 丁目付近枝線工事	912.84	32,854,160	36. 8. 17 37. 2. 6		
	中野区本町通1丁目, 小淀町付近//	543.80	11,930,820	36. 8. 23 36. 12. 8		
	品川区平塚町2, 3丁目付近 //	603.36	36,075,252	36. 9. 20 37. 3. 30		
	中野区前原町, 栄町通2丁目付近//	845.91	28,535,235	36. 8. 28 37. 3. 12		
	渋谷区富ヶ谷町, 神山町付近 //	633.90	21,872,362	36. 9. 11 37. 1. 13		
	渋谷区竹下町穂田3丁目付近枝線そ の1工事	33.95	5,544,227	36. 9. 20 37. 1. 11		
	北区豊島7, 8丁目付近枝線工事	694.10	38,254,507	36. 9. 6 37. 3. 31		
	北区栄町付近枝線その3工事	31.50	2,131,426	36. 2. 2 36. 9. 29	日本国有鉄道へ委託	
	豊島区池袋1丁目, 椎名町1丁目付 近枝線工事		0	37. 3. 19 継続 施行	継続額 8,360,000円	
側 溝	北区十条仲原3, 4丁目付近側溝工 事外10件	20,670.39	22,186,642			
設 計 委 託	新宿区下落合1, 2丁目付近 枝線工事外1カ所設計委託		1,000,000	37. 12. 29 37. 3. 31		
	江東区南砂町1, 2丁目付近 枝線工事設計委託		266,388		日本国有鉄道へ移託	
	江戸川区平井1丁目付近 枝線その2工事設計委託		331,585		//	
	杉並区馬橋3, 4丁目付近 枝線工事外1カ所設計委託		780,000	36. 2. 23 36. 6. 23		
	江東区大島町6丁目付近 枝線工事外1カ所設計委託		805,000	36. 2. 23 36. 6. 23		

種 別	工 事 名	数 量	金 領	着 竣 手 功	備 考
設 計 委 託	墨田区隅田町1丁目付近 枝線工事外1カ所設計委託		円 750,000	36. 2. 23 36. 6. 23	
	江東区南砂町7,8丁目付近 枝線工事外1カ所設計委託		1,090,000	36. 2. 23 36. 6. 23	
	中野区上高田1,2丁目付近 枝線工事外1カ所設計委託		770,000	36. 2. 23 36. 6. 23	
	渋谷区青葉町穂田2丁目付近 枝線工事外4カ所設計委託		0	37. 1. 17 継続 施行	継続額 2,100,000円
	渋谷区代々木深町付近 枝線工事外4カ所設計委託		0	37. 1. 13 継続 施行	継続額 3,243,000円
	品川区大金子町付近 枝線工事外4カ所設計委託		0	37. 1. 17 継続 施行	継続額 2,621,450円
	渋谷区恵比寿1丁目伊達町付近 枝線工事外4カ所設計委託		0	37. 2. 8 継続 施行	継続額 2,100,000円
試 堀		6 件	4,654,126		

(2) ポンプ所建設

種 別	工 事 名	数 量	金 領	着 竣 手 功	備 考
築 造 物	大島ポンプ所放流渠工事	放流渠 117m その他	円 17,461,057	36. 11. 30 継続 施行	継続額 58,043,943円
	江東区大島6丁目住宅公団下 水管渠移設その他工事		0	37. 3. 9 継続 施行	継続額 2,440,000円
築造物及び 建物基礎	藍染ポンプ所ポンプ井 放流渠及び上家下部工事	上家基礎 1,545.57m ² その他	125,139,609	36. 7. 12 37. 3. 12	
	日本堤ポンプ所建設その2工事	上家鉄骨鉄筋コン クリート造り 延 1,706m ² その他	41,940,000	36. 7. 12 継続 施行	継続額 88,876,415円
	千住ポンプ所流入渠門扉その他 工事	流入渠 9.3m その他	11,650,000	36. 9. 4 37. 2. 28	
建 物	千住ポンプ所上家及び付帯設備 工事	上家鉄筋コンクリ ート造り 延 2,045m ² その他	73,369,426	36. 4. 1 37. 1. 31	
	隅田ポンプ所上家及び付帯設備 工事	上家鉄筋コンクリ ート造り 延 5,590m ² その他	72,877,241	36. 4. 1 37. 1. 31	
	日本堤出張所仮事務所新築工事	事務所延面積 259.2m ² その他	4,910,000	36. 9. 25 36. 11. 22	
	小松川ポンプ所上半期維持管理		276,599		
機 械 装 置	小松川ポンプ所雨水ポンプその 1工事	ポンプ 2台 ディゼル機関2台	99,700,000	36. 4. 1 37. 3. 15	
	小松川ポンプ所沈砂池機械設備 工事	渦格機 9台 その他	63,400,000	36. 4. 1 37. 3. 31	

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣	手 功	備 考
機 械 装 置	小松川ポンプ所汚水ポンプ設備工事	ポンプ 1台 その他	円 6,960,000	36. 5. 15 37. 2. 28		
	日本堤ポンプ所雨水ポンプ設備 その1工事		0	36. 7. 12 継続 施行		継続額 98,300,000円
電 気 設 备	小松川ポンプ所電気設備工事	配電盤 その他	51,500,000	36. 5. 31 37. 3. 31		
	千住ポンプ所仮受電設備工事	屋内外の照明他	240,000	37. 3. 5 37. 3. 31		
	隅田ポンプ所仮受電設備工事	屋外照明40W10灯 その他	190,000	37. 3. 5 37. 3. 28		
設 計 管 理 委 託	千住ポンプ所上家及び 付帯設備工事監理委託		990,000	36. 4. 1 37. 1. 31		
	隅田ポンプ所上家及び 付帯設備工事監理委託		930,000	36. 4. 1 37. 1. 31		
	日本堤出張所仮事務所 新築に伴う設計委託	事務所, 倉庫, 車庫各 1式	165,000	36. 7. 19 36. 8. 4		
	日本堤ポンプ所上家 新築工事の設計及監理委託	ポンプ所延面積 4,600m ²	6,000,000	36. 5. 7 継続 施行		継続額 1,960,000円
	宮城ポンプ所上家新築工事 設計委託		0	37. 1. 29 継続 施行		継続額 3,000,000円
そ の 他	隅田ポンプ所締切撤去工事	締切撤去1,020m	9,700,000	36. 4. 1 36. 6. 13		
	大島ポンプ所仮人止柵工事	有刺鉄線人止柵 189.2m その他	280,000	36. 6. 7 36. 6. 23		

(3) 処 理 場 建 設

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣	手 功	備 考
構 築 物	砂町下水処理場汚泥消化槽その 2工事	汚泥消化槽4槽 その他	円 182,412,607	36. 4. 1 37. 3. 23		
	砂町下水処理場曝気槽及び第二 沈殿池その他工事	曝気槽 4槽 第二沈殿池4池	418,007,898	36. 4. 1 37. 3. 31		
	小台下水処理場ガスタンクその 他工事	球形ガスタンク 1基 その他	64,200,000	36. 4. 1 37. 3. 31		
	芝浦下水処理場曝気槽空気本管 工事	空気本管 230m その他	35,900,000	36. 6. 9 37. 3. 15		
	小台下水処理場建設その5工事	汚泥洗滌槽2槽 その他	83,881,858	36. 7. 12 37. 3. 12		
	砂町下水処理場曝気槽散気設備 その2工事	散気板取付 6,048枚 その他	87,547,319	36. 7. 12 37. 3. 31		
	芝浦下水処理場曝気槽散気設備 その2工事	散気板取付 10,368枚 その他	89,025,888	36. 7. 12 37. 3. 15		
	芝浦下水処理場高速曝気沈殿槽 工事	高速曝気沈殿裝 置 2槽 その他	134,032,000	36. 7. 12 37. 3. 31		

種 別	工 事 名	数 量	金 領	着 端	手 功	備 考
構 築 物	芝浦下水処理場第二沈殿池その他工事	第二沈殿池8池 第二汚泥ポンプ室 1棟	円 326,953,639	36. 7. 12 37. 3. 31		
	落合下水処理場建設その他2工事	曝気槽 4槽 その他	110,333,963	36. 7. 12 継続 施行		継続額 313,610,172円
	小台下水処理場建設その他6工事	前曝気槽 1槽 第一沈殿池3池 その他	232,696,478	36. 10. 6 継続 施行		継続額 230,522,082円
	芝浦下水処理場超高段沈砂池流入渠工事	矩形渠 62.5m その他	4,524,070	36. 10. 19 37. 3. 16		
	落合下水処理場送泥管その他1工事	鋼管 107.2m	2,430,000	36. 11. 28 37. 3. 24		
	落合下水処理場送泥管その他2工事	ダクタイル鉄管 2,014m	22,268,487	36. 12. 8 37. 3. 31		
	砂町下水処理場汚泥消化槽その他工事	汚泥消化槽 4槽 汚泥ポンプ室1棟 その他	121,611,671	35. 10. 4 36. 7. 5		
	芝浦下水処理場曝気槽散気設備その他3工事	散気板取付 5,184枚 その他	0			継続施工 24,034,800円
	砂町下水処理場曝気槽散気設備その他3工事	散気板取付 5,184枚 その他	0			継続施工 37,884,800円
建 物	落合下水処理場建設その他1工事	本館延面積15,080m ² 高低段沈砂池6池 その他	450,062,811	35. 7. 1 37. 3. 31		35年度より繰越 385,177,058円
	小台下水処理場その他4工事	汚泥処理工場延面積 5,917m ² その他	131,340,611	35. 10. 4 36. 10. 31		
	砂町下水処理場汚泥処理工場新築工事	上家延面積 5,899m ² その他	118,979,474	35. 10. 4 36. 8. 3		
	小台下水処理場公舎新築工事	公舎延面積 713.16m ² その他	0			継続施工 28,560,000円
ポンプ	小台下水処理場第二沈殿池汚泥ポンプ設備工事	汚泥ポンプ2台 排水ポンプ4台	5,800,000	36. 5. 15 37. 2. 5		
	砂町下水処理場第二沈殿池汚泥ポンプ設備その他2工事	汚泥ポンプ2台 その他	24,150,000	36. 9. 6 37. 3. 31		
	芝浦下水処理場第二沈殿池汚泥ポンプ設備工事	汚泥ポンプ3台 給水ポンプ2台	17,350,000	36. 8. 25 37. 3. 31		
機 械 設 備	芝浦下水処理場送風機その他2工事	電動機 4台 その他	62,600,000	36. 4. 1 37. 3. 15		
	小台下水処理場ボイラー設備その他工事	ボイラー 1罐 熱交換器 4基 その他	71,950,000	36. 4. 1 37. 1. 31		
	小台下水処理場汚泥脱水設備その他1工事	真空汎過機 6台 真空ポンプ 3台	96,000,000	36. 4. 1 37. 3. 30		
	砂町下水処理場汚泥脱水設備その他2工事	真空汎過機 4台 真空ポンプ 2台	53,190,000	36. 6. 7 37. 3. 31		
	小台下水処理場第2沈殿池機械設備工事	汚泥叢集機 2池分 その他	43,400,000	36. 6. 1 37. 2. 8		
	砂町下水処理場汚泥消化槽熱交換器設備工事	熱交換器 4基 その他	21,200,000	36. 6. 10 37. 2. 8		

種別	工事名	数量	金額	着工	竣工	備考
機械設備	芝浦下水処理場 第2沈殿池機械設備工事	採泥機 6台 阻水扉44組その他	円 50,650,000	36. 37.	6. 15 3. 31	
	小台下水処理場消化槽 調整槽等機械設備及び管弁工事	汚泥ポンプ 14台 その他	103,800,000	36. 37.	7. 12 3. 31	
	砂町下水処理場 送風機その2工事	400 KWターボ プロワー 2台 その他	81,281,603	36. 37.	7. 12 3. 31	
	小台下水処理場消毒設備工事	真空式塩素滅菌器 1台 その他	10,250,000	36. 37.	8. 26 3. 31	
	砂町下水処理場第二沈殿池 機械設備その2工事	汚泥収集機 2池分 その他	50,500,000	36. 37.	9. 21 3. 31	
	芝浦下水処理場送風機その3工事	多段ターボプロワー 2台 その他	0	36. 37.	12. 19 継続施工	継続額 41,400,000円
	芝浦下水処理場 第二沈殿池機械設備その2工事	採泥機 2台 その他	0	36. 37.	12. 19 継続施工	継続額 16,480,000円
	砂町下水処理場 第二沈殿池機械設備その3工事	汚泥収集機 2池分 その他	0	36. 37.	12. 19 継続施工	継続額 45,700,000円
	砂町下水処理場 送風機その3工事	400 KWターボプロワー 1台 その他	0	36. 37.	12. 19 継続施工	継続額 23,600,000円
電気設備	芝浦下水処理場電気設備工事	配電盤 その他	円 96,500,000	36. 37.	6. 13 3. 31	
	小台下水処理場電気設備工事	配電盤 その他	411,000,000	36. 37.	6. 13 3. 31	
	砂町下水処理場電気設備工事	配電盤 その他	139,000,000	36. 37.	7. 12 3. 31	
	小台下水処理場受電線路新設工事	SLケーブル 2回線 2,770m	45,000,000	36. 37.	12. 19 継続施工	東京電力委託 継続額 7,194,800円
	砂町下水処理場特高受電線路引替工事	引替 3.12km その他	46,000,000	36. 37.	12. 19 継続施工	東京電力委託 継続額 6,224,000円
	砂町下水処理場汚泥消化槽電気設備工事	配電盤 その他	130,000,000	35. 36.	10. 4 8. 26	
	落合下水処理場曝気槽電気設備 配管工事	配線管 11,297m その他	0	37. 36.	3. 8 12. 19	継続額 4,800,000円
	芝浦下水処理場電気設備その2工事	配電盤 その他	0	36. 37.	12. 19 継続施工	継続額 18,800,000円
付帯工事	落合下水処理場付替道路工事	巾11.0m 延長364.6m アスファルト コンクリート舗装	15,800,000	36. 37.	6. 20 2. 28	
	落合下水処理場用 地内都道付替に伴う水道本管移設工事	配水本管 297.0m 配水小管 306.0m	31,563,783	36. 37.	5. 4 3. 31	
	砂町下水処理場給水管新設工事	給水管 814.9m その他	10,698,378	36. 37.	8. 9 12. 23	
	落合下水処理場 用地の除草ならびに柵埋工事	面積 20,000m ² その他	200,300	36. 37.	8. 16 9. 30	
	小台下水処理場建設その7工事	杭打 261本 その他	16,400,000	36. 37.	9. 25 12. 26	

種 別	工 事 名	数 量	金 領	着 端	手 功	備 考
付 帯 工 事	落合下水処理場用地内 都道付替に伴うガス管移設工事		円 1,585,884			東京ガス委託
	落合下水処理場用地内 都道付替に伴う電柱及び電線移設工事		765,464			東京電力委託
	落合下水処理場用地内 都道付替に伴う電柱及び電話線移設工事		872,473			日本電信電話公社委託
	砂町下水処理場埋立用地深浅測量工事	深浅測量面積 43,283m ²	100,000	37. 2. 15 37. 3. 17		
設 計 監 理 委 託	小台下水処理場構内管理委託	本館床面積 9,666m ² ガラス掃除 1,185m ²	620,000	36. 4. 1 36. 9. 30		
	森ヶ崎西処理場本館新築工事設計委託	本館建築面積 7,700m ² 延床面積13,300m ²	9,650,000	36. 6. 17 37. 3. 31		
	落合下水処理場曝気槽上家工事 設計委託	上家建築面積 約10,000m ² その他	8,980,000	36. 4. 15 36. 8. 11		
	芝浦下水処理場汚泥処理工事 上家増築その他設計委託	工場上家 約1,600m ² その他	5,150,000	36. 4. 16 36. 12. 12		
	小台下水処理場公舎新築に伴う 設計委託	3階建12戸 延594m ² その他	700,000	36. 8. 15 36. 9. 12		
	小台下水処理場構内管理委託	本館 9,666m ² その他	900,000	36. 10. 1 37. 3. 31		
	砂町下水処理場汚泥処理工場 新築工事設計管理委託	汚泥処理場 延7,300m ² その他	2,882,000	35. 5. 21 36. 8. 3		
	小台下水処理場汚泥処理工場 新築工事設計管理委託		2,360,000	35. 10. 4 36. 10. 31		
	落合下水処理場汚泥消化槽その他工事		3,578,000	35. 7. 1 36. 10. 31		
	落合下水処理場建設その2工事 監理委託		0			継続施行 2,850,000円

(4) 失業対策管渠敷設

種 別	工 事 名	数 量	金 領	着 端	手 功	備 考
枝 線	渋谷区原宿1, 2, 3丁目付近 枝線工事	m 1,560.34	円 22,848,237	36. 4. 1 37. 3. 31		
	文京区駒込神明町駒込西片町付 近枝線工事	1,866.60	19,953,215	36. 4. 1 37. 3. 31		
	荒川区尾久10丁目付近枝線工事	1,622.77	30,338,901	36. 4. 1 37. 3. 31		
	北区東十条1, 2目丁付近枝線 工事	1,497.36	17,495,589	36. 4. 1 37. 3. 31		
試 堀		31カ所	122,690			

(5) 特別失業対策管渠敷設費

種 別	工 事 名	数 量	金 領	着 竣 手 功	備 考
枝 線	北区十条仲原3, 4丁目付近 枝線工事	1,472.61 <i>m</i>	20,794,211 円	36. 8. 1 37. 2. 8	
	北区滝野川2, 3丁目付近 枝線工事	1,368.45	12,639,146	36. 8. 17 36. 12. 13	
	渋谷区羽沢町永住町付近枝線そ の3工事	1,721.90	16,768,863	36. 8. 18 36. 12. 15	
	北区豊島2, 3, 8丁目付近枝線 工事	1,428.10	29,102,283	36. 10. 24 37. 3. 31	
	豊島区目白町4丁目池袋3丁目 付近枝線工事	1,457.60	13,806,538	36. 8. 17 37. 2. 6	
	墨田区吾嬬町西7, 8丁目付近 枝線その2工事	1,212.15	26,742,542	36. 9. 15 37. 3. 19	
	豊島区池袋2, 4丁目付近枝線 工事	1,893.82	28,004,079	36. 9. 5 37. 1. 25	
	新宿区柏木2, 4丁目付近 枝線工事	679.52	31,323,328	36. 9. 12 37. 3. 28	
	豊島区池袋3丁目付近枝線工事	1,704.40	21,164,663	36. 9. 19 37. 3. 23	
	板橋区熊野町, 中丸町付近枝線 工事	1,406.35	15,338,103	36. 10. 19 37. 3. 16	

第三章 第二節 改良工事

第2節 改良工事

総括表

種 別	施 行 内 容
管渠施設 158,890,483円	枝線延長 2,203.13 <i>m</i> 人止柵 1,298 <i>m</i> 人孔 100 カ所 その他 污水栓 419 カ所
ポンプ所施設 33,939,400円	中洲町, 箱崎町ポンプ所 汽格機 2台 蝶型弁電動装置 2組 木場ポンプ所 油入開閉器取付 1組 蓄電器移設 2台 20KVSLN60°/回線 新設工事 取替工事

種別	施工内容
処理場施設 195,777,973円	構造物 砂町処理場 沈澱池 1池 " " 流入渠 58.00m " " 流出管 16.60m " " 水槽 1基 " " 給水ポンプ 2台 三河島 " グリトコレクター 2組 " " 砂洗機 1組 機械及装置 砂町 " 汚水ポンプ 2台 " " 塩素滅菌機 1台 " " 振集機 1台 " " 高圧変圧器 4台 " " 蓄電池 1式 芝浦 " 湧巻ポンプ 2台 " " 雜工事 1式
諸設備 78,913,700円	

(1) 管渠施設

種別	工事名	数量	金額	着手	備考
管渠敷設	台東区蔵前2丁目付近枝線工事	369.16m	4,263,940円	36. 6. 20 36. 8. 28	
	荒川区日暮里町7丁目付近枝線工事	177.70	1,321,601	36. 10. 2 36. 12. 12	
人孔	台東区内人孔増設工事	33カ所	2,492,664	36. 10. 30 36. 12. 14	
	荒川区尾久町地内人孔改造工事	25カ所	1,341,709	36. 11. 16 36. 12. 18	
	東部下水道管理事務所管内人孔上部改造工事	23カ所	1,708,128	36. 11. 27 36. 12. 18	
	" 人孔増設工事	8カ所	1,925,480	36. 11. 27 37. 1. 13	
	中部下水道管理事務所管内人孔新設工事	11カ所	1,368,547	37. 2. 24 37. 3. 31	
污水樹並 同取付管	北部下水道管理事務所 三河島出張所管内 污水樹新設工事	200カ所	2,998,428	36. 10. 2 36. 11. 30	
	新宿区山吹町付近 污水樹新設工事	44カ所	431,126	36. 12. 15 37. 1. 12	

種別	工事名	数量	金額	着手	備考
汚水樹並 同取付管	中部下水道管理事務所 中之橋出張所管内 汚水樹新設工事	105カ所	円 1,217,022	37. 1. 5 37. 1. 27	
	〃 柳町出張所管内汚水樹新設工事	70カ所	745,800	37. 1. 5 37. 2. 3	
その他	谷端川幹線改良その3工事	120.00m	8,900,000	36. 11. 1 37. 2. 3	
	中央区月島通4,5丁目付近 管渠改良工事	360.72m	5,698,293	36. 7. 1 36. 10. 5	
	中央区日本橋本石町4丁目付近 管渠改良その2工事	298.00m	(33,022,534)	36. 7. 25 36. 12. 14	
	中央区月島通7,8,9,10丁目 付近管渠改良その1工事	653.50m	12,793,562	36. 8. 5 36. 11. 20	
	谷端川人止柵工事	1,298.00m	2,115,000	36. 8. 28 36. 11. 7	
	千代田区内幸町2丁目付近 管渠改良工事	146.25m	(7,813,719)	36. 11. 7 37. 2. 27	
	中央区日本橋江戸橋3丁目付近 管渠改良工事	77.80m	(10,818,013)	37. 2. 27 37. 3. 31	
	外 12 件		50,918,101		
試堀費			275,583		
事務費			6,721,233		
合計			158,890,483		

車工専用機器 延長率

(2) ポンプ施設

種別	工事名	数量	金額	着手	備考
ポンプ	中州町箱崎町ポンプ所 自動運転備設工事	渦格機 2台 蝶型弁電動装置 2組	円 8,500,000	36. 9. 20 37. 3. 31	
	木場ポンプ所 蓄電器配電箱改良工事	油入開閉器取付 1組 蓄電器移設 2台	439,400	36. 11. 1 37. 2. 28	
	木場ポンプ所 特高受電線路引替工事	20KV S LN 60°/回線 新設工事取替工事	25,000,000	36. 12. 26 37. 5. 10	
事務費			392,838		
合計			34,332,238		

(3) 处理場施設

種別	工事名	数量	金額	着工	竣工	備考
構造物	砂町下水処理場第一沈澱池及び導水渠改良その4工事	沈澱池 1池 流入渠 58.00m 流出管 16.60m	円 56,041,905	36. 6. 7 37. 2. 28		
	〃 給水設備改良工事	水槽 1基 給水ポンプ 2台	9,210,000	36. 9. 6 37. 3. 9		
	三河島下水処理場沈砂篩渣処理設備改良その他工事	グリトコレクター 2組 砂洗機 1組	48,956,049	36. 9. 20 37. 3. 31		
	外 3 件		23,145,000			
機械及装置	砂町下水処理場汚水ポンプ設備その3改良工事	汚水ポンプ 2台	22,300,000	36. 7. 3 37. 3. 27		
	〃 塩素滅菌機設備改良工事	塩素滅菌機 1台	3,300,000	36. 10. 2 37. 3. 15		
	〃 摂集機改良その4工事	摂集機 1台	6,450,000	36. 8. 29 37. 3. 31		
	芝浦下水処理場第2汚泥ポンプ改良その他工事	渦巻ポンプ 2台 雑工事 1式	10,750,000	35. 10. 22 36. 6. 24		
電気設備	砂町下水処理場汚水ポンプ室電気設備改良工事	高圧変圧器 4台 蓄電池 1式	6,780,000	36. 6. 9 37. 3. 2		
事務費			8,845,019			
合計			195,777,973			

第3節 設備補修工事

総括表

種別	工費		雜補修	計
	件数	金額		
管渠設備補修	件 37	円 53,609,193	円 17,585,266	円 71,194,459
ポンプ設備補修	15	17,676,000	3,595,716	21,271,716
処理場設備補修	17	28,137,309	12,180,575	40,317,884
計	69	99,422,502	33,361,557	132,784,059

(1) 管渠設備補修

種別	工事名	数量	金額	着工 竣 手功	備考
管渠工事	江東区古石場3丁目付近 管渠補修工事	108.65m	円 1,128,307	36. 7. 14 36. 8. 23	
	墨田区横川橋1,2丁目付近 外1カ所管渠補修工事	190.05m	3,454,967	36. 8. 25 36. 12. 20	
	中央区銀座4丁目1番地 管渠補修工事	110.65m	3,733,948	36. 8. 10 36. 8. 31	
	港区赤坂田町2丁目付近 管渠補修工事	26.00m	1,640,142	37. 2. 20 37. 3. 14	
	中央区銀座8丁目2番地先 管渠補修工事	149.40m	2,927,992	37. 2. 24 37. 3. 31	
	新宿区新宿2丁目～四谷4丁目 付近管渠補修工事	50.30m	1,616,370	37. 3. 10 37. 3. 31	
	足立区千住元町付近 管渠補修工事	73.00m	875,414	36. 6. 5 36. 6. 27	
	荒川区日暮里町9丁目 1,040番地先管渠補修工事	30.45m	925,446	36. 9. 11 36. 10. 10	
	その他工事	892.80m	12,651,856		
損傷負担工事	文京区柳町22番地先 管渠補修工事	92.70m	1,031,568	36. 10. 12 36. 11. 16	
	墨田区吾嬬橋1.2.3丁目及業平橋 1.2丁目付近管渠補修工事	1,008.05m	13,111,892	36. 12. 15 37. 3. 24	
人孔補修	東部下水道管理事務所管内 人孔鉄蓋補修工事	193カ所	2,069,330	36. 7. 17 36. 9. 22	
	中部下水道管理事務所 中之橋出張所管内人孔補修工事	50カ所	1,067,520	36. 9. 7 36. 10. 12	
	〃 大手町出張所管内 人孔補修工事	33カ所	1,032,970	37. 2. 24 37. 3. 31	
	その他工事	113カ所	2,511,638		
污水井補修	東部下水道管理事務所管内 污水井補修工事	100カ所	541,674	36. 7. 25 36. 9. 14	
	中部下水道管理事務所 大手町出張所管内污水井補修工事	103カ所	505,924	37. 2. 5 37. 2. 27	
	〃 上落合出張所管内 污水井補修工事	50カ所	298,686	37. 2. 6 37. 2. 23	
	その他工事	138カ所	726,013		
防潮扉補修	藍染川排水路吐口 防潮扉補修工事	1カ所	433,536	36. 6. 2 36. 7. 6	
	中部下水道管理事務所管内 防潮扉補修工事	12カ所	1,324,000	37. 1. 6 37. 2. 5	

種別	工事名	数量	金額	着工	備考
雜補修	管渠補修	380.00m	997,711		
	人孔補修	762カ所	2,625,475		
	人孔蓋補修	822 //	4,195,081		
	防潮扉 //	4 //	113,336		
	雨水吐口 //	2 //	8,540		
	汚水栓並取付管補修	2,250 //	6,931,887		
	その他		2,713,236		
合計			71,194,459		

(2) ポンプ所設備補修

種別	工事名	数量	金額	着工	備考
機械および装置	錢瓶町ポンプ所 汚水ポンプ補修工事	渦巻ポンプ 1台 制水弁 1台	1,170,000	36. 5. 15 36. 12. 13	
	吾嬬ポンプ所 雨水ポンプ補修その2工事	堅軸型軸流ポンプ 1台	1,600,000	36. 5. 25 36. 9. 6	
機電気設備工事	南千住ポンプ所 汚水ポンプ補修工事	汚水ポンプ 1台	497,000	36. 7. 5 37. 1. 4	
	木場,三ノ橋,業平橋ポンプ所間 高圧線連絡補修工事	高圧動力取替 310.0m	1,432,000	36. 7. 20 36. 7. 31	
	木場ポンプ所 汚水ポンプ補修工事	羽根車取替 1式 電動機補修 1式	2,250,000	36. 8. 24 37. 2. 24	
	三ノ橋ポンプ所汎格機補修工事	汎格子取替 4面	2,940,000	36. 9. 5 37. 2. 1	
	業平橋ポンプ所揚泥機補修工事	揚泥機 2台	1,463,000	36. 10. 9 37. 1. 20	
	橋場ポンプ所汎格補修工事	雨水,汚水用汎格 各1組	650,000	36. 10. 17 37. 2. 28	
	木場ポンプ所揚泥機補修工事	走行駆動軸台手摺 2台 ガーター 2台	790,000	36. 12. 1 37. 2. 27	
	田町ポンプ所 高圧ケーブル補修工事	高圧ケーブル 64.0m	287,000	36. 11. 30 37. 2. 2	
	錢瓶町ポンプ所 汚水ポンプ補修其の2工事	渦巻ポンプ 2台	1,380,000	36. 12. 26 37. 3. 31	

種別	工事名	数量	金額	着工	竣工	備考
機械及び備修工事	木場, 三ノ橋, 業平橋ポンプ所 高圧連絡線補修工事	高圧電力 151m	円 757,000	36. 11. 22		
	和泉町ポンプ所 汚水ポンプ補修工事	羽根車 制水弁 1台 2組	285,000	37. 1. 29	37. 3. 31	
建物及第物	砂町ポンプ所放流渠補修工事	セメント乳液注入 19,800l	495,000	36. 12. 19		
	木場ポンプ所汚水ポンプ室 屋根補修工事	木造長尺鉄板葺 594m ²	1,680,000	36. 10. 27	37. 1. 12	
主工事計		15件	17,676,000			
雜補修	作業用營造物補修	194ヶ	675,421			
	諸機械補修	836ヶ	2,599,573			
	構築物補修	60ヶ	23,462			
	その他		297,260			
雜工事計		1,090件	3,595,716			
合計		1,105件	21,271,716			

(3) 処理場設備補修

種別	工事名	数量	金額	着工	竣工	備考
建物及第物の他	砂町下水特約1番線 事故復旧工事	鋼帶錫装紙ケーブル mm ² 22KV 3×60	円 120,997	36. 5. 22		
	三河島下水処理場 周囲築堤補修工事	周囲築堤 180.0m 金網柵 180.0m	490,000	36. 8. 2		
	砂町下水処理場 汚水ポンプ補修工事	羽根車取替 2台 マウスリング その他 2台	680,000	36. 9. 15	37. 3. 31	
	芝浦下水処理場高置水槽 圧力ポンプその他補修工事	揚水ポンプ羽根車 1台分 給水ポンプ軸受 2台分	1,520,000	36. 10. 17	37. 3. 5	
	芝浦下水処理場 汚水ポンプ補修工事	羽根車取替 2台分	2,320,000	36. 10. 10	37. 3. 31	
	砂町下水処理場汚水ポンプ室 補修その他工事	窓枠補修 162.25m ² 外壁色モルタル 吹付 1,700m ²	5,030,000	36. 11. 1	37. 3. 15	
	三河島下水処理場 急速汎過集水管並排水樋補修工事	排水扉塗装 1式 (3池分) 配水管床モルタル 塗 1式	497,000	36. 11. 28	37. 3. 7	

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 緊 手 功	備 考
建構そ 物築の 及物他	三河島下水処理場 給水タンク補修工事	給水タンク 2基	円 139,000	36. 12. 26 37. 1. 29	
	木場(砂町)下水特約1番線 (小名木川線)の事故復旧工事	赤相接地 10m	245,406	竣功 36. 7. 7	
	芝浦下水処理場散気板補修工事	散 気 板 441枚	899,176	37. 1. 16 37. 3. 27	
	砂町下水処理場汚水ポンプ室 周囲排水溝補修その他工事	排水溝工事 130m 雜 工 事 1式	1,080,000	37. 2. 16 37. 3. 21	
	砂町下水処理場 沈砂仮置場整備工事	95.2m	980,000	37. 2. 28 37. 3. 29	
	芝浦下水処理場 放流渠人孔補修工事	3カ所	42,730	37. 3. 7 37. 3. 17	
機 械 補 修	三河島下水処理場 搅拌機補修工事	搅 拌 機 12組	5,350,000	36. 11. 25 37. 3. 31	
	〃 摂集機補修工事	摂集機減速装置 8台	3,590,000	36. 10. 9 37. 3. 6	
	〃 撒水機補修工事	車輪軸受ケーシング 32個 車 輪 軸 24本	1,965,000	36. 10. 20 37. 3. 3	
	芝浦下水処理場探泥機補修工事	探泥機トロリー線 防護金網取付 8台分 その 他	3,188,000	37. 1. 12 37. 3. 31	
主工事計		17件	28,137,309		
雜 補 修	作業用營造物補修	1,045件	2,133,049		
	諸機械補修	1,602〃	6,141,138		
	構築物補修	375〃	3,424,599		
	その 他		481,789		
雜工事計		3,022件	12,180,575		
合 計		3,039件	40,317,884		

第4節 その他の工事

総括表

種別及び工事費	施設内容
管渠移設工事 68,212,515円	建設局の委託による区画整理に伴なう移設 27件 延長 8,067.83m 汚水栓 18カ所
管渠改造工事 96,002,238円	新設 375.22m 移設 439.07m 人孔移設 1カ所 栓排水管 5カ所 栓工事 2,710カ所
消化槽工事 50,859,269円	清掃局よりの委託による砂町下水処理場消化槽補修工事 工事件数 16件

(1) 管渠移設工事

種別	工事名	数量	金額	着手	手功	備考
枝線	第24地区 文京区駒込駒込坂町駒込 神明町付近 管渠移設工事	310.95m	2,521,977円	36. 6. 28 36. 9. 7		
	第13地区 豊島区西巣鴨2丁目付近 管渠移設その2工事	317.95	2,862,324	36. 8. 1 36. 9. 10		
	第34地区 荒川区日暮里町3,8丁目 付近 管渠移設その4工事	759.64	6,838,822	36. 8. 5 36. 11. 6		
	第10地区 豊島区池袋2丁目付近 管渠移設その2工事	595.50	5,872,765	36. 9. 26 36. 12. 11		
	第13地区 豊島区西巣鴨2丁目付近 管渠移設その8工事	244.25	1,617,570	37. 1. 4 37. 3. 3		
	第31地区 豊島区豊島5丁目付近 管渠移設工事	222.57	1,775,709	36. 6. 22 36. 7. 31		
	第9地区 新宿区角筈1丁目付近 管渠移設その5工事	88.27	886,595	36. 6. 29 36. 8. 14		
	第40地区 新宿区柏木5丁目付近 管渠移設工事	127.00	952,268	36. 7. 10 36. 8. 11		
	第8地区 渋谷区宇田川町付近 管渠移設工事	396.80	2,423,893	36. 8. 3 36. 10. 30		
	第25地区 墨田区吾嬬町西2丁目向島 押上町付近 管渠移設その3工事	421.19	4,251,622	36. 7. 25 36. 9. 29		

種 別	工 事 名	数 量	金 領	着 端	手 効	備 考
枝 線	第24地区 文京区駒込駒坂町付近 管渠移設その2工事	418.20 ^m	円 2,525,879	36. 8. 15 36. 10. 25		
	第8地区 渋谷区大和田町付近 管渠移設その3工事	516.45	7,357,333	36. 10. 21 37. 2. 12		
	第21地区 新宿区山吹町付近 管渠移設工事	177.20	1,220,669	36. 10. 11 36. 11. 28		
	第30地区 杉並区高円寺7丁目付近 管渠移設工事	92.30	721,540	36. 11. 1 36. 12. 7		
	第5地区 品川区五反田1,3丁目付近 管渠移設工事	96.80	1,019,411	36. 12. 6 37. 1. 16		
	墨田区向島請地町30番地先 污水樹新設工事	汚水樹 1カ所	11,514	36. 12. 20 36. 12. 22		
	第8地区 渋谷区北谷町宇田川町付近 管渠移設工事	277.40 ^m	1,929,477	36. 12. 18 37. 3. 3		
	第31地区 豊島区巣鴨2丁目付近 管渠移設工事	241.53	2,019,319	37. 1. 4 37. 3. 5		
	第13地区 豊島区巣鴨7丁目, 西巣鴨 2丁目付近 管渠移設工事	373.25	2,417,726	36. 12. 18 37. 2. 13		
	文京区駒込神明町, 駒込 駒坂町付近 管渠移設その4工事	389.95	2,702,699	36. 12. 18 37. 2. 9		
	荒川区日暮里3,4,8丁目 付近 管渠移設工事	1,087.83	9,812,815	36. 12. 15 37. 2. 28		
	墨田区押上町189番地付近 污水樹並取管工事	汚水樹 10カ所	105,331	36. 12. 21 37. 1. 12		
	品川区五反田2丁目313番地先 污水樹新設工事	汚水樹 5カ所	59,745	37. 1. 5 37. 1. 12		
	第2地区 新宿区新宿1丁目付近 管渠移設工事	123.20 ^m	1,003,965	37. 2. 1 37. 2. 28		
	品川区五反田1丁目270番地先 污水樹新設工事	汚水樹 2カ所	23,032	37. 3. 22 37. 3. 23		
	組合地区 北区田端町付近 管渠移設その14工事	432.75 ^m	2,659,625			
	〃 その15工事	356.85	2,532,666			
工事費計			68,126,291			
試堀費			86,224			
合 計			68,212,515			

(2) 管渠改造工事

区分	種別	数量又は件数	金額	着工	手功	備考
管渠改造工事費	新設	m 375.22	円 3,588,147			
	移設	439.07	33,642,892			
	その他		92,500			人孔移設 1カ所
污水桝並に排水管工事	污水桝管	5件	1,483,773			
その他受託工事	桝工事	2,710件	57,194,926			
合計			96,002,238			

(3) 消化槽設備補修

工事名	事業内容	執行額	着工	手功
砂町処理場し尿消化槽ボイラー補修工事	三胴水管型温水ボイラー 取替 1基 補修 1基	円 7,700,000	36. 8. 15 37. 2. 15	
〃 温水管補修工事	既設配管の取替及び補修 2槽分	3,653,000	36. 8. 2 36. 11. 29	
墨田区吾嬬町東6丁目5番地先 送泥管補修工事	鋳鉄接手取替 8K圧管 4カ所 4.0m	76,408	36. 7. 29 36. 8. 9	
〃 7丁目72番地先 送泥管補修工事	鋳鉄接手取替 8K圧管 2カ所 2.0m	33,680	36. 9. 11 36. 9. 16	
砂町処理場し尿消化槽渋格機改良工事	渋格機工事 排水桝工事 その他 1式	18,400,000	36. 9. 7 37. 3. 31	
江東区亀戸町1丁目130番地先 送泥管補修工事	8K圧管 3.5m	563,838	36. 8. 15 36. 8. 31	
砂町処理場し尿消化槽排水管補修工事	敷設替 32.0m	545,972	36. 10. 5 36. 11. 28	
墨田区吾嬬町西3丁目8番地及22番地先 送泥管補修工事	鋳鉄接手取替 4カ所	100,504	36. 11. 9 36. 11. 16	
砂町処理場し尿消化槽 ボイラー増設その1工事	温水主管 590m 1式	9,800,000	36. 11. 29 37. 3. 31	
〃 洗滌槽給水設備工事	給水ポンプ 鋳鉄配管 1台 400.0m	4,430,000	36. 12. 25 37. 3. 31	
墨田区吾嬬町西3丁目23番地先 送泥管補修工事	鋳鉄接手取替 l 200cm 3カ所 2本	77,242	37. 1. 4 37. 1. 17	
〃 8丁目25番地先外2カ所 送泥管補修工事	鋳鉄接手 6カ所	128,434	37. 2. 8 37. 2. 14	

工 事 名	事 業 内 容	執 行 額	着 緒	手 功
砂町処理場し尿消化槽 脱離液排水管補修その他工事	排水ポンプ 電気設備	1 台式 1 台式	円 4,900,000	37. 2. 23 37. 3. 31
三河島処理場送泥管補修工事	補修個所	1 カ所	35,401	37. 1. 18 37. 1. 25
墨田区吾嬬町東7丁目72番地先 送泥管補修工事	鋳鉄接手取替 補修	2 カ所 2 ヶ	37,640	37. 3. 10 37. 3. 17
江東区南砂町3丁目1番地先外7カ所 〃	鋳鉄接手 8K圧	16カ所 16m	377,150	37. 3. 13 37. 3. 28
計	16 件		50,859,269	

昭和36年度主要事業年誌

月日	項目	月日	項目
36. 4. 1	出先機関の一部機構改革実施	11. 1	砂町処理場に2係新設(処理第3係、補修係)
14	全職員会議開催(水道局)	6	事務能率向上運動実施(11日まで)
16	第21回六大城市下水道会議(17日まで)	9	第22回六大城市下水道会議(10日まで)
5. 17	職員共済組合創立10周年記念行事実施	22	六大城市下水道主管者下水道促進を国に要望
22	三河島処理場高級処理施設増設工事竣工式	30	下水道促進全国大会
26	排水設備工事事務取扱改正で委員会設置	12. 4	全国上下水道大会
28	亨本部長海外出張(6月26日まで)	18	臨時東京都水道料金及び下水道料金制度調査会
6. 1	荒川工業用水利用協同組合へ送水開始	19	上下水道事業会計追加予算可決
1	日本水道協会関東地方支部総会(2日まで)	25	下水道局設置準備室の設置
21	浜町ポンプ所竣工式	3. 1	高令職員の希望退職者募集(24日まで)
7. 12	水道及び下水道料金改正可決(8月より実施)	18	野中技術海外研修(9月15日まで)
12	上下水道事業会計追加予算可決	20	上下水道ハンドブック刊行
25	第1回下水道促進全国婦人代表者会議(26日まで)	22	中部管理事務所城山町出張所開設
8. 5	昭和37年度首都整備事業計画庁議決定(下水道整備事業計160億)	31	「東京都市計画下水道」及び「東京都市計画下水道事業及びその執行年度割」の変更告示
9. 3	吏員昇任試験実施(受験申込合計763名)		
10	第1回下水道促進デーの実施		
12	芝浦処理場汚泥処理工場竣工式		
10. 5	臨時東京都水道料金及び下水道料金制度調査会設置		
13	職員文化祭実施		

昭和38年2月20日 印刷 規格表第1類
昭和38年2月25日 発行 登録第50号

東京都下水道局

東京都千代田区丸ノ内三丁目五番地

印刷者 先川道三

東京都中央区西八丁堀四ノ一

印刷所 先川印刷株式会社

東京都中央区西八丁堀四ノ一